

Scanner Central Admin 4.6 ユーザーズガイド

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)

Scanner Central Admin の特長、主な機能、システム構成などについて説明しています。

[Scanner Central Admin の概要](#)

Scanner Central Admin の導入について説明しています。

[Scanner Central Admin の導入](#)

Scanner Central Admin Server を利用した運用について説明しています。

[Scanner Central Admin Server を利用した運用](#)

メール通知を利用した運用について説明しています。

[メール通知を利用した運用](#)

統合システムと連携した運用について説明しています。


[統合管理システムと連携した運用](#)

Scanner Central Admin の保守について説明しています。

[Scanner Central Admin の保守](#)[付録](#)[用語集](#)

本書の使い方

本書の使い方について説明します。

- 本書を表示 / 印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。
- 本文中の検索は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® の検索機能が使えます。
詳細は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。
- キーボードを使う場合は、「PageUp」キーで前ページ、「PageDown」キーで次ページに移動します。
- 本文中の青字 / ツメ / 目次 / 索引など（マウスがリンク選択時の形状  など）に変わる箇所をクリックすると、参照先に移動します。

- 共通ページ

各章の先頭ページに移動します。
このツメは全ページにあります。



TOP : 表紙ページに移動します。
目次 : 目次ページに移動します。
索引 : 索引ページに移動します。
このツメは全ページにあります。

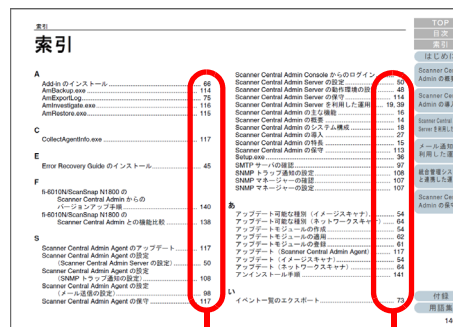
本書の使い方ページに移動します。
本文中の青字をクリックすると、参照先に移動します。

- 目次ページ



クリックしたタイトルのページに移動します。

- 索引ページ



クリックした索引のページに移動します。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 本製品は、複数台の当社スキャナを集中管理して、スキャナの設定情報やドライバなどをアップデートしたり、スキャナの稼働状況を監視したりできるアプリケーションです。

本書の内容は、本製品のアップデートに伴い、変更になる場合があります。

最新の Scanner Central Admin ユーザーズガイドおよび Scanner Central Admin Console ヘルプは、次のどちらのホームページからもダウンロードできます。

ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。

● <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/brochures/>
 ● <http://scansnap.fujitsu.com/jp/brochures/>

● <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/brochures/>

● <http://scansnap.fujitsu.com/jp/brochures/>

なお、本書は、次の製品を対象に説明しています。

- Scanner Central Admin Server 4.6
- Scanner Central Admin Console 3.4
- Scanner Central Admin Agent 1.4

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
Scanner Central Admin 4.6 ユーザーズガイド (本書) (PDF)	Scanner Central Admin の概要、導入、運用、保守などを説明しています。ホームページからダウンロードできます。
Scanner Central Admin Console ヘルプ (HTML)	Scanner Central Admin Console の画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。必要に応じてお読みください。Scanner Central Admin Console の画面にある「ヘルプ」から参照できます。
Scanner Central Admin Agent ヘルプ (HTML)	Scanner Central Admin Agent の画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。必要に応じてお読みください。Scanner Central Admin Agent の画面にある「ヘルプ」から参照できます。
SCAModuleCreator ヘルプ (HTML)	SCAModuleCreator の画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。必要に応じてお読みください。SCAModuleCreator の画面にある「ヘルプ」から参照できます。

商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SharePoint、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ISIS は、EMC Corporation の米国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Intel、Pentium、および Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。

VRS は、Kofax, Inc. の登録商標または商標です。

ScanSnap、ScanSnap Manager、および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5

(横浜アイマークプレイス)

© PFU LIMITED 2015

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

コピーライト

NetAdvantage

Copyright© 2000-2010 Infragistics, Inc.

Secure iNetSuite

Copyright© 2008-2013 Dart Communications

本書をお読みになる前に

本書で使用している記号

本書では、説明中に次の記号を使用しています。

<p>イメージ スキャナ</p>	<p>イメージスキャナ固有の説明であることを表しています。 イメージスキャナとは、大量の原稿を高速で読み取って電子化できる、コンピュータに接続したスキャナです。集中管理可能なイメージスキャナについては、Scanner Central Admin Agent の readme を参照してください。</p>
<p>ネットワーク スキャナ</p>	<p>ネットワークスキャナ固有の説明であることを表しています。 ネットワークスキャナとは、ネットワークでつながるオフィスのワークグループで使用できる、オフィス業務に最適な機能をやさしい操作性で実現したネットワーク接続型スキャナです。 集中管理可能なネットワークスキャナについては、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。</p>

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® XP Home Edition	Windows XP (*1)
Windows® XP Professional	
Windows® XP Professional x64 Edition	
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	Windows Server 2003 (*1) (*2)
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Windows Vista® Home Basic (32/64 ビット)	Windows Vista (*1)
Windows Vista® Home Premium (32/64 ビット)	
Windows Vista® Business (32/64 ビット)	
Windows Vista® Enterprise (32/64 ビット)	
Windows Vista® Ultimate (32/64 ビット)	
Windows Server® 2008 Standard (32/64 ビット)	Windows Server 2008 (*1) (*2)
Windows Server® 2008 Enterprise (32 ビット)	
Windows Server® 2008 R2 Standard (64 ビット)	
Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64 ビット)	

名称	本文中の表記
Windows Server® 2012 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 (*1) (*2)
Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 R2 (*1) (*2)
Windows® 7 Home Premium (32/64 ビット)	Windows 7 (*1)
Windows® 7 Professional (32/64 ビット)	
Windows® 7 Enterprise (32/64 ビット)	
Windows® 7 Ultimate (32/64 ビット)	
Windows® 8 (32/64 ビット)	
Windows® 8 Pro (32/64 ビット)	Windows 8 (*1)
Windows® 8 Enterprise (32/64 ビット)	
Windows® 8.1 (32/64 ビット)	
Windows® 8.1 Pro (32/64 ビット)	Windows 8.1 (*1)
Windows® 8.1 Enterprise (32/64 ビット)	
Windows® 10 Home (32/64 ビット)	
Windows® 10 Pro (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット)	
Windows® 10 Education (32/64 ビット)	
Microsoft® Office SharePoint® Server 2007	
Microsoft® SharePoint® Server 2010	SharePoint

名称	本文中の表記
Microsoft® .NET Framework	.NET Framework
Microsoft® Internet Explorer®	Internet Explorer
Windows® Internet Explorer®	
Microsoft® Internet Information Services	IIS
Microsoft® SQL Server™ 2008 R2 Express Edition	SQL Server 2008 R2 Express Edition
Network Scanner Admin Tool	Admin Tool
FUJITSU Image Scanner N7100	N7100 (*3)
ScanSnap N1800	N1800 (*3)
FUJITSU Image Scanner iScanner fi-6010N	fi-6010N (*3)

*1 : すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

*2 : Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012、および Windows Server 2012 R2 を区別しないで使用する場合は、「Windows Server」と表記しています。

*3 : N7100、N1800、および fi-6010N を区別しないで使用する場合は、「ネットワークスキャナ」と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例 : 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Server」 → 「Scanner Central Admin Console」を選択します。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

本書では、Windows 7 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。

Windows Server 2012/Windows 8 をお使いの方へ



本製品の各アプリケーションの起動およびコントロールパネルの表示は、すべてのアプリ画面から行います。すべてのアプリ画面は、以下の手順で表示できます。

- 1 スタート画面を右クリックします。
- 2 アプリバーから「すべてのアプリ」をクリックします。
例：Windows 8 の画面の場合



Windows Server 2012 R2/Windows 8.1 をお使いの方へ

本製品の各アプリケーションの起動およびコントロールパネルの表示は、すべてのアプリ画面から行います。すべてのアプリ画面は、以下の手順で表示できます。

- 1 スタート画面左下にあるをクリックします。
はマウスを動かすと表示されます。

Windows 10 をお使いの方へ

本製品の各アプリケーションの起動およびコントロールパネルの表示は、以下の手順で行います。

アプリケーションの起動方法

- 1 「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」をクリックします。
- 2 起動するアプリケーションを選択します。

コントロールパネルの表示方法

- 1 「スタート」メニューを右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

本書に記載されているスキャナの各部名称

本書に記載されているスキャナのボタン、およびオペレーターパネル部のディスプレイは、お使いのスキャナによっては名称が異なります。

本書に記載されている名称が実際の名称と異なる場合は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

目次

本書の使い方	2
はじめに	3
本書をお読みになる前に	5
第 1 章 Scanner Central Admin の概要	14
1.1 Scanner Central Admin の特長	15
1.2 Scanner Central Admin の主な機能	16
スキャナアップデート機能	16
スキャナ監視機能	16
スキャナ管理機能	17
1.3 Scanner Central Admin のシステム構成	18
1.4 運用形態	19
Scanner Central Admin Server を利用した運用	19
メール通知を利用した運用	20
統合管理システムと連携した運用	20
1.5 動作環境	21
Scanner Central Admin Server の動作環境	21
Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator の動作環境	22
Scanner Central Admin Agent の動作環境	24
Scanner Central Admin のためのネットワーク条件	26
集中管理可能なスキャナ台数	26
使用するポート番号一覧	27
第 2 章 Scanner Central Admin の導入	29
2.1 運用形態ごとに必要なアプリケーション	30
2.2 Scanner Central Admin Server のインストール	31

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

2.3	Scanner Central Admin Console のインストール	34
2.4	Scanner Central Admin Agent のインストール	36
	通常インストール.....	36
	自動設定 / 登録処理インストール	37
	統合管理システムと連携した運用でのサイレントインストール.....	38
第 3 章	Scanner Central Admin Server を利用した運用	40
3.1	作業の流れ	41
3.2	事前設定 (Scanner Central Admin Server)	44
	Scanner Central Admin Server のインストール.....	44
	証明書のインポート (HTTPS の場合)	44
	ファイアウォールの設定	45
3.3	事前設定 (Scanner Central Admin Console)	47
	Scanner Central Admin Console のインストール	47
	Error Recovery Guide のインストール.....	47
3.4	Scanner Central Admin Console からのログイン	48
3.5	Scanner Central Admin Server の動作環境の設定	51
	共通設定	51
	ネットワークスキャナ設定	52
3.6	事前設定 (Scanner Central Admin Agent)	53
	Scanner Central Admin Agent のインストール.....	53
	Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定	53
3.7	事前設定 (ネットワークスキャナ)	55
	ネットワークスキャナの Scanner Central Admin Server の設定	55
3.8	スキャナの登録	56
3.9	最新アップデートの確認	57
	アップデートモジュールを確認するための設定	57
	アップデートモジュールの確認	57
3.10	イメージスキャナのアップデート	59

	アップデート可能な種別	59
	アップデートモジュールの作成	60
	アップデートモジュールの登録	65
	アップデートモジュールの適用	67
	適用状況の確認	68
3.11	ネットワークスキャナのアップデート	69
	アップデート可能な種別	69
	システムのアップデート	69
	Add-in のインストール	71
	システム環境設定の更新	74
	共有ジョブの設定	76
	適用状況の確認	77
3.12	スキャナの監視	78
	スキャナの各種状態の監視	78
	スキャナの稼働状況の監視	78
	統計情報の参照	79
	イベント一覧の参照	80
	監査ログの収集 / 取り出し	81
3.13	スキャナの管理	84
	スキャナの情報	85
	スキャナ構成情報の追加	97
	スキャナ構成情報の編集	98
	スキャナ構成情報の削除	98
	グループの編集	99
	スキャナ構成情報のエクスポート	100
	スキャナ構成情報のインポート	100
	ネットワークスキャナの自動探索 / 登録	101
	スキャナ一覧に表示する項目の編集	103

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

	スキャナ詳細情報の確認.....	104
3.14	スキャナの保守	105
3.15	運用パターン例	106
	スキャナを監視する運用.....	106
	スキャナをアップデートする運用	107
第 4 章	メール通知を利用した運用	109
4.1	作業の流れ	110
4.2	事前設定 (SMTP サーバ)	111
	SMTP サーバの確認.....	111
4.3	事前設定 (Scanner Central Admin Agent)	112
	Scanner Central Admin Agent のインストール.....	112
	Scanner Central Admin Agent のメール送信の設定.....	112
4.4	事前設定 (ネットワークスキャナ)	114
	ネットワークスキャナのメール送信の設定	114
4.5	メールの確認	115
4.6	スキャナの保守	120
第 5 章	統合管理システムと連携した運用	121
5.1	作業の流れ	122
5.2	事前設定 (統合管理システム)	123
	統合管理システム (SNMP マネージャー) の設定.....	123
	統合管理システム (SNMP マネージャー) の確認.....	123
	統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するための設定	123
5.3	事前設定 (Scanner Central Admin Agent)	125
	Scanner Central Admin Agent のインストール.....	125
	Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定.....	125
5.4	事前設定 (ネットワークスキャナ)	127
	ネットワークスキャナの SNMP 連携の設定.....	127

5.5	SNMP トラップの確認	128
5.6	スキャナの保守	130
第 6 章	Scanner Central Admin の保守	131
6.1	Scanner Central Admin Server の保守	132
	Scanner Central Admin Server に関する情報の退避	132
	Scanner Central Admin Server に関する情報の復元	133
	Scanner Central Admin Server の保守情報の採取	134
6.2	Scanner Central Admin Agent の保守	135
	Scanner Central Admin Agent のアップデート	135
	Scanner Central Admin Agent の保守情報の採取	135
6.3	SCAModuleCreator の保守情報の採取	137
6.4	ネットワークスキャナの保守	138
付録	139
付 .1	メッセージ一覧	140
	Windows Server のイベントログのメッセージ (Scanner Central Admin Server)	140
	退避・復元コマンドのメッセージ (Scanner Central Admin Server)	141
	監査ログの取り出しコマンドのメッセージ (Scanner Central Admin Server)	144
	Scanner Central Admin Console 画面のメッセージ (Scanner Central Admin Console)	145
付 .2	外部入出力ファイルの形式	146
	スキャナ構成情報ファイルの形式	146
	イベントログファイルの形式	156
	統計情報ファイルの形式	157
付 .3	異なる Scanner Central Admin Server への移行手順	158
付 .4	退避・復元	159
	Scanner Central Admin に関する情報の退避・復元	159
	Central Admin Server が出力するイベントソース名	160
付 .5	ネットワークスキャナとイメージスキャナの機能比較	161

付 .6 Scanner Central Admin のバージョンアップ	163
Scanner Central Admin のバージョンアップ手順	163
Scanner Central Admin Server のバージョンアップに伴うデータ移行手順	164
付 .7 アプリケーションのアンインストール	166
Scanner Central Admin Server をアンインストールする場合の注意事項	166
Scanner Central Admin Console をアンインストールする場合の注意事項	166
アプリケーションのアンインストール手順	166
付 .8 任意のファイルのアップデート手順	168
付 .9 Scanner Central Admin のアプリケーション構成	170
付 .10 Scanner Central Admin Server の接続可否	171
付 .11 SNMP トラップで通知するメッセージコード	172
用語集	175
索引	179

第 1 章 Scanner Central Admin の概要

この章では、Scanner Central Admin の特長、主な機能、システム構成などについて説明します。

1.1 Scanner Central Admin の特長.....	15
1.2 Scanner Central Admin の主な機能	16
1.3 Scanner Central Admin のシステム構成	18
1.4 運用形態	19
1.5 動作環境	21

1.1 Scanner Central Admin の特長

Scanner Central Admin の特長について説明します。
Scanner Central Admin には、次のような特長があります。

スキャナを短時間で大量導入

複数台のスキャナを一括で設定できるため、スキャナごとの設定作業が不要となり、大量のスキャナを導入するときや設定を変更するときの作業時間を大幅に短縮できます。

スキャナに適用可能な最新アップデートモジュールを自動で確認

管理しているスキャナに適用可能な最新のアップデートモジュールが Web サイトに公開されているかを、自動で定期的に確認します。適用可能なアップデートモジュールが公開されている場合、管理者に通知できます。

スキャナの一括アップデートを実現

スキャナ導入後、Web サイト上で公開されている最新のドライバにアップデートしたいとき、複数台のスキャナを一括でアップデートできます。
スキャナを接続したコンピュータごとのアップデート作業が不要となり、短時間で大量のスキャナを最新のドライバにアップデートできます。
そのほか、ファームウェアやアプリケーションなどもアップデートできます。

スキャナを自動探索して一括登録

指定したネットワーク範囲から集中管理するネットワークスキャナを自動で探索し、登録できます。

スキャナの稼働状況をリアルタイムで監視

稼働しているスキャナの台数、消耗品交換が必要なスキャナ、エラーが発生しているスキャナ、およびメンテナンスが必要な要確認状態のスキャナなど、スキャナの稼働状況をリアルタイムで監視できます。

スキャナを集中管理

複数台のスキャナの情報（スキャナの機種名、システム/ファームウェア/ドライバの版数など）を一覧で確認できます。
スキャナ情報は、スキャナから自動的に登録されるため、大量のスキャナを簡単に集中管理できます。

スキャナの消耗品交換やエラーをメールで通知

スキャナの消耗品交換やエラーを、管理者にメールで通知できます。管理者は通知されたメールを確認することで、各拠点に点在するスキャナに対して迅速に対応できます。
このメール通知を利用した運用は、既存のメールシステムを利用できるため、簡単に導入できます。

統合管理システムとの連携を実現

スキャナの消耗品交換やエラーを、統合管理システムに SNMP トラップで通知できます。管理者は統合管理システムに通知された SNMP トラップを確認することで、各拠点に点在するスキャナに対して迅速に対応できます。
この統合管理システムと連携した運用は、既存の統合管理システムを利用できるため、簡単に導入できます。

1.2 Scanner Central Admin の主な機能

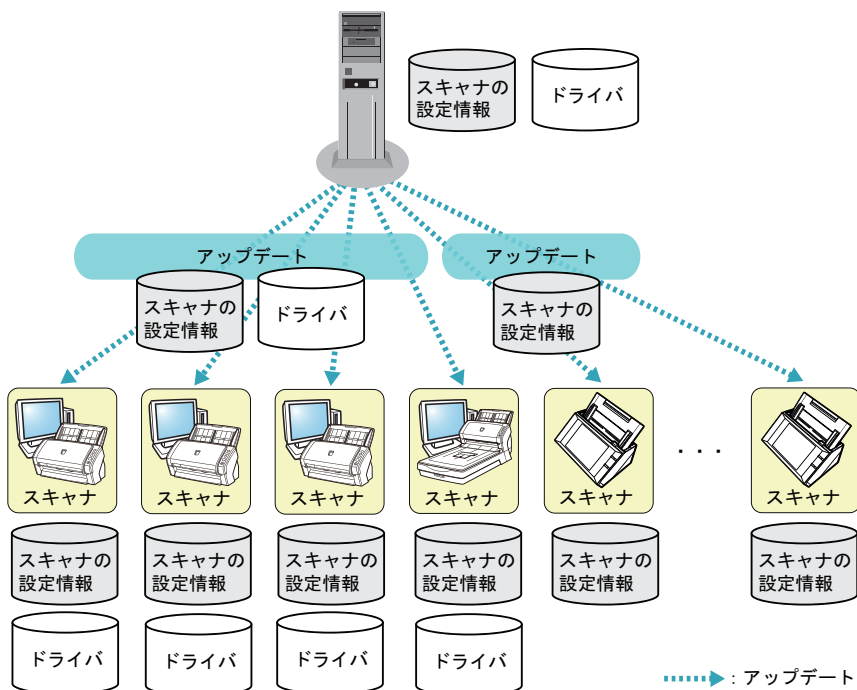
Scanner Central Admin の主な機能について説明します。

ヒント

ネットワークスキャナ、イメージスキャナの機能差については、「付 5 ネットワークスキャナとイメージスキャナの機能比較」(P.161) を参照してください。

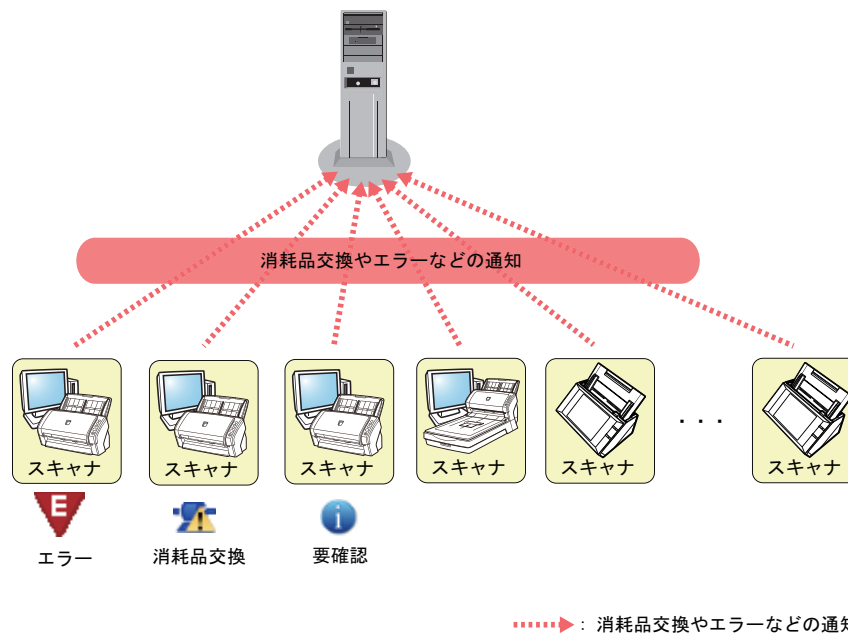
スキャナアップデート機能

複数台のスキャナの設定情報やドライバなどを、一括してアップデートする機能です。
スキャナごとのアップデートが不要となり、大量のスキャナをアップデートするための作業時間を大幅に短縮できます。



スキャナ監視機能

消耗品交換が必要なスキャナ、エラーが発生しているスキャナ、およびメンテナンスが必要な要確認状態のスキャナがないかを監視する機能です。
スキャナの稼働状況を簡単に確認できます。



はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

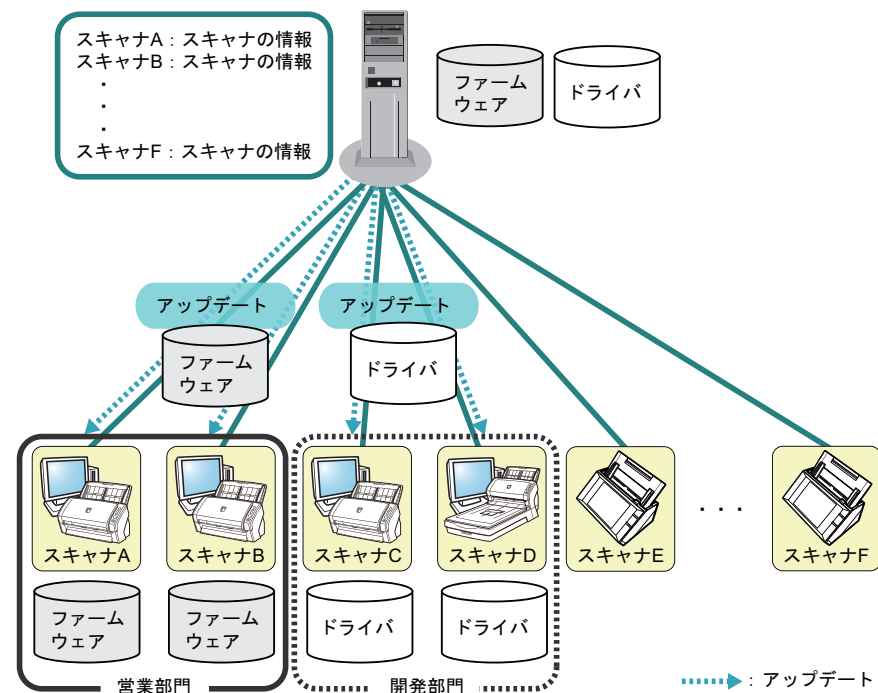
Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

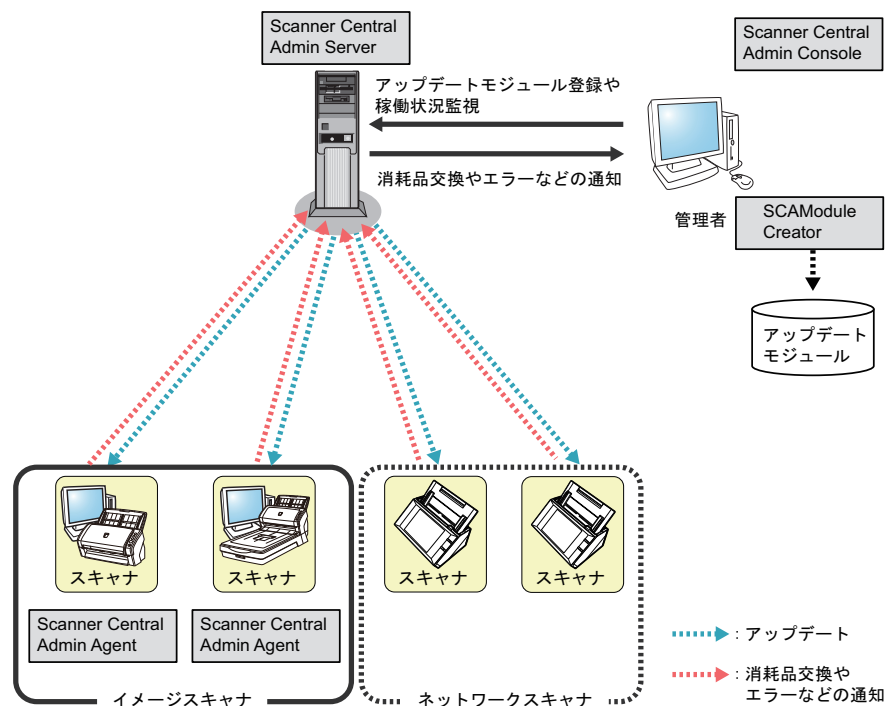
スキャナ管理機能

スキャナの情報（スキャナの機種名、システム/ファームウェア/ドライバの版数など）を確認したり、スキャナをグループ分けしたりして、スキャナを管理する機能です。スキャナを部門単位などでグループ分けすることで、部門ごとにアップデートできるようになります。



1.3 Scanner Central Admin のシステム構成

Scanner Central Admin のシステム構成について説明します。



Scanner Central Admin は、4つのアプリケーションから構成されています。

- **Scanner Central Admin Server**
 スキャナを集中管理するコンピュータにインストールするアプリケーションです。
 スキャナを Scanner Central Admin Server に登録して、一元管理を行う集中管理システムを構築できます。
- **Scanner Central Admin Console**
 アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピュータにインストールするアプリケーションです。
 管理者は Scanner Central Admin Console の画面から、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行えます。
 また、スキャナから通知された消耗品交換、エラー、およびメンテナンスが必要な要確認状態を、画面上で確認できます。
- **Scanner Central Admin Agent**
 スキャナを接続しているコンピュータにインストールするアプリケーションです。
 イメージスキャナの場合、スキャナが Scanner Central Admin Server と連携するために必要となります。
 ネットワークスキャナの場合、Scanner Central Admin Server と連携する機能があるため、インストールする必要はありません。
 Scanner Central Admin Server と連携すると、スキャナの設定情報などのアップデートをスキャナに適用できます。
 また、スキャナから消耗品交換やエラーを通知できます。
- **SCAModuleCreator**
 Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールを作成するアプリケーションです。
 イメージスキャナのアップデートモジュールを作成する場合にだけ必要となります。

1.4 運用形態

運用形態について説明します。

スキャナの台数、システムの規模、既存の運用システムなどに応じて、最適なシステム構築ができるように、次の3つの運用形態があります。

- Scanner Central Admin Server を利用した運用
- メール通知を利用した運用
- 統合管理システムと連携した運用

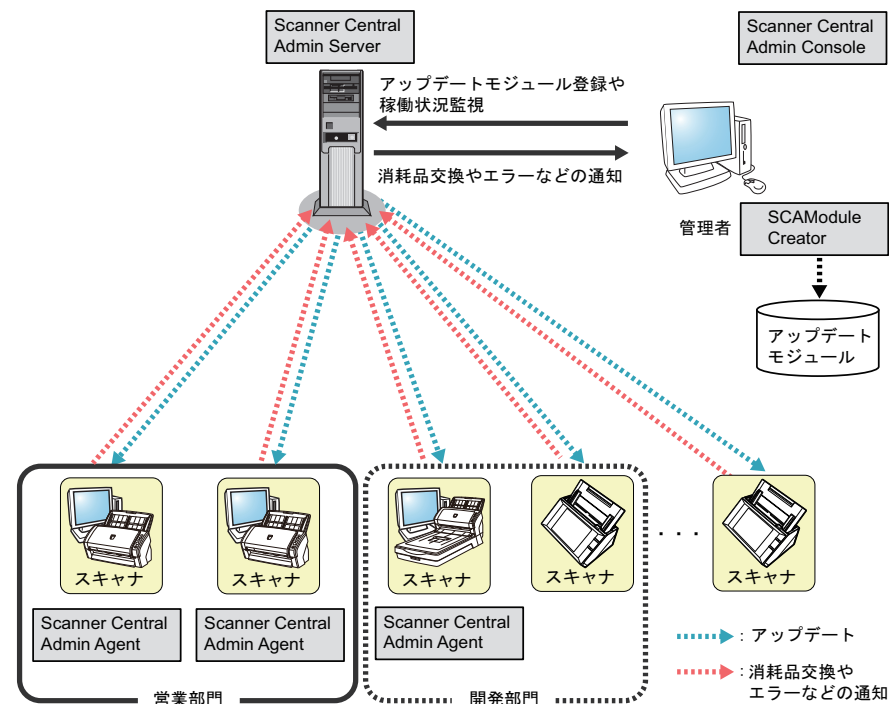
次に、それぞれの運用形態について説明します。

ヒント

Scanner Central Admin Server を利用すると、いろいろな運用パターンを実現できます。運用パターン例については、「3.15 運用パターン例」(P.106) を参照してください。

Scanner Central Admin Server を利用した運用

Scanner Central Admin Server を利用して構築する集中管理システムで、管理者は Scanner Central Admin Console の画面からスキャナの一元管理を行います。



使用するアプリケーション

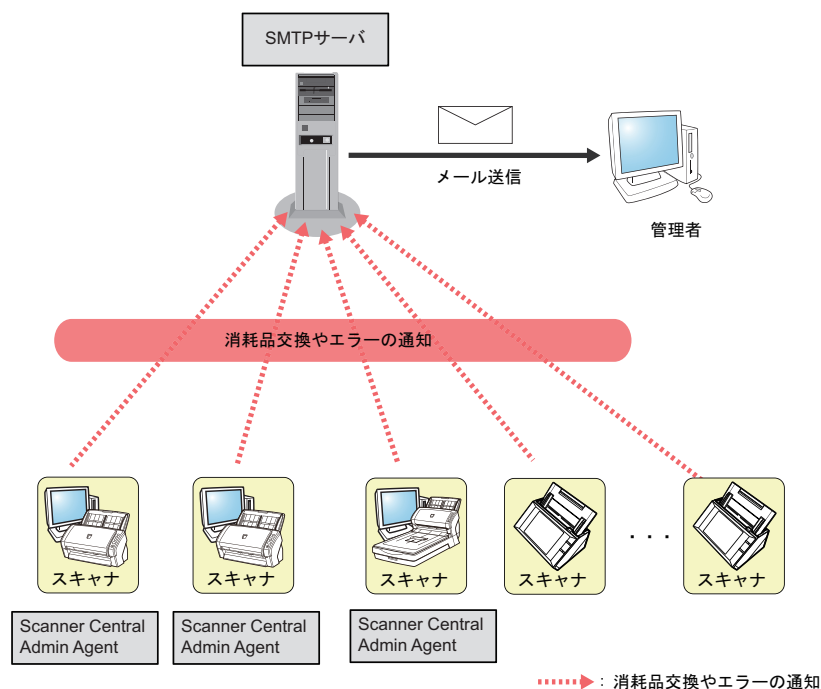
- Scanner Central Admin Server
- Scanner Central Admin Console
- Scanner Central Admin Agent
- SCAModuleCreator

特長

スキャナアップデート機能、スキャナ監視機能、スキャナ管理機能のすべての機能を使用できます。

メール通知を利用した運用

スキャナ使用中に、消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合、管理者にメールで通知します。管理者は通知されたメールを確認することで、スキャナに対して迅速に対応できます。既存のメールシステムを利用するため、簡単にスキャナを管理できるようになります。



使用するアプリケーション

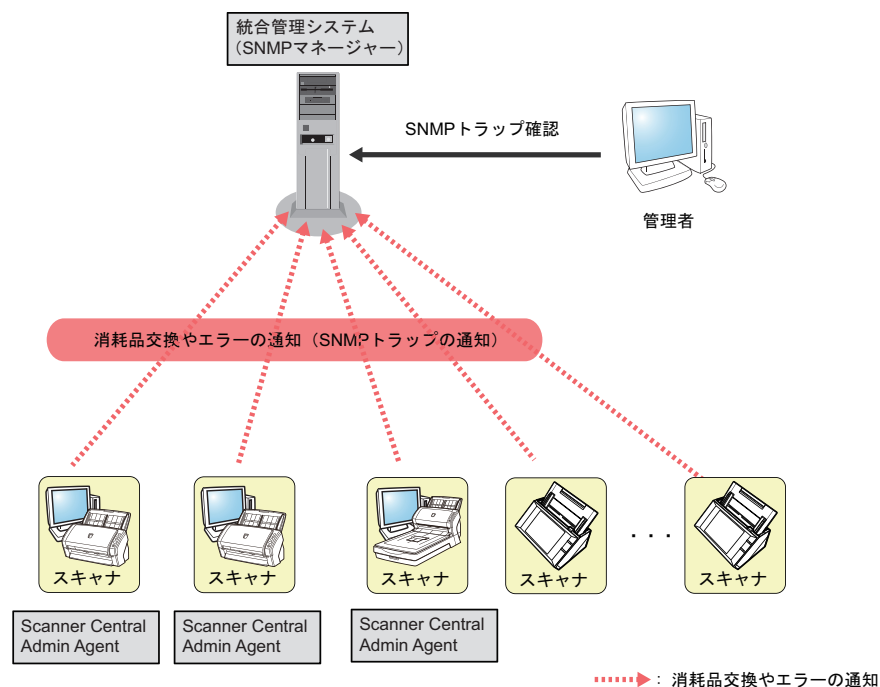
- SMTP サーバ
- Scanner Central Admin Agent

特長

メール通知を利用して、スキャナ監視機能を使用できます。

統合管理システムと連携した運用

スキャナ使用中に、消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合、統合管理システム（SNMP マネージャ）に SNMP トラップを通知します。管理者は統合管理システム（SNMP マネージャ）に通知された SNMP トラップを確認することで、スキャナに対して迅速に対応できます。既存の統合管理システムを利用するため、簡単にスキャナを管理できるようになります。



使用するアプリケーション

- 統合管理システム（SNMP マネージャ）
- Scanner Central Admin Agent

特長

SNMP トラップ通知を利用して、スキャナ監視機能を使用できます。

1.5 動作環境

動作環境について説明します。

Scanner Central Admin Server の動作環境

Scanner Central Admin Server の動作環境は、次のとおりです。

ソフトウェア

- オペレーティングシステム (*1)
 - Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (Service Pack 2 以降)
 - Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition (Service Pack 2 以降)
 - Windows Server® 2008 Standard (32 ビット) (Service Pack 2 以降)
 - Windows Server® 2008 Enterprise (32 ビット) (Service Pack 2 以降)
 - Windows Server® 2008 R2 Standard (64 ビット)
 - Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64 ビット)
 - Windows Server® 2012 Standard (64 ビット)
 - Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット)
- .NET Framework

次のいずれかがインストールされている必要があります。

 - .NET Framework 4 (*2)
 - .NET Framework 4.5 (*2)
 - .NET Framework 4.6 (*2)
- IIS 6.0 以降 (*3) (*4)
- SQL Server 2008 R2 Express Edition (Service Pack 2 以降) (*5)
- Microsoft® Windows® Installer 4.5 以降
- Scan to Microsoft SharePoint (*6)

- *1 : Scanner Central Admin Server のオペレーティングシステムの言語とネットワークスキャナの選択言語は、同一である必要があります。
- *2 : .NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。
- *3 : IIS 6.0 以降の Web サーバをインストールしておく必要があります。
- *4 : IIS 7.0 以降をインストールする場合は、次のコンポーネントを必ずインストールしてください。
 - Web サーバ
 - HTTP 基本機能 (静的なコンテンツ / 規定のドキュメント / HTTP エラー)
 - アプリケーション開発 (ASP.NET/.NET 拡張性 / ISAPI 拡張 / ISAPI フィルター)
 - 状態と診断 (HTTP ログ / 要求の監視)
 - セキュリティ (要求フィルター)
 - パフォーマンス (静的なコンテンツの圧縮)
 - 管理ツール
 - IIS 管理コンソール
- *5 : Scanner Central Admin Server をインストールするときに、同時にインストールされます。
- *6 : Microsoft Office SharePoint Server 連携を行う場合にインストールが必要です。
 インストーラは次のホームページからダウンロードします。ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。
<https://www.pfu.fujitsu.com/registration/fi-software/jp/sms-form.html>

重要**N7100 と連携するときのソフトウェア**

Scanner Central Admin で、システム環境設定の更新、および読み取り設定を含むジョブ設定編集を行うには、以下の環境が必要です。

- Scanner Central Admin Console 3.4 以降
現在インストールされているバージョンは、Scanner Central Admin Console の画面で [バージョン情報] ボタンを押すと表示されます。
- .NET Framework 4.5 以降
Scanner Central Admin Server と Scanner Central Admin Console の実行環境にインストールされている必要があります。
ただし、.NET Framework 4.5 以降は Windows XP/Windows Server 2003 にはインストールできません。
Windows Vista 以降 /Windows Server 2008 以降をご利用ください。

ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、次の要件を満たすコンピュータ

CPU	Intel® Pentium® III プロセッサ 1GHz 以上 (推奨 : 2.8 GHz 64 ビットプロセッサ以上) (*1)
メモリ容量	512M バイト以上 (推奨 : 1G バイト以上) (*1)
ディスク容量	1.5G バイト以上の空き容量が必要

*1 : 使用するオペレーティングシステムの推奨システム要件に準ずる。

- XGA 以上のモニタ
- LAN ケーブル

**Scanner Central Admin Console/
SCAModuleCreator の動作環境**

Scanner Central Admin Console および SCAModuleCreator の動作環境は、次のとおりです。

ソフトウェア

- オペレーティングシステム
 - Windows® XP Home Edition (Service Pack 3 以降)
 - Windows® XP Professional (Service Pack 3 以降)
 - Windows® XP Professional ×64 Edition (Service Pack 2 以降)
 - Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (Service Pack 2 以降)
 - Windows Server® 2003 R2, Standard ×64 Edition (Service Pack 2 以降)
 - Windows Vista® Home Basic (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
 - Windows Vista® Home Premium (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
 - Windows Vista® Business (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
 - Windows Vista® Enterprise (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
 - Windows Vista® Ultimate (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
 - Windows Server® 2008 Standard (32/64 ビット)
 - Windows Server® 2008 R2 Standard (64 ビット)
 - Windows® 7 Home Premium (32/64 ビット)
 - Windows® 7 Professional (32/64 ビット)
 - Windows® 7 Enterprise (32/64 ビット)
 - Windows® 7 Ultimate (32/64 ビット)
 - Windows® 8 (32/64 ビット)
 - Windows® 8 Pro (32/64 ビット)

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

- Windows® 8 Enterprise (32/64 ビット)
- Windows® 8.1 (32/64 ビット)
- Windows® 8.1 Pro (32/64 ビット)
- Windows® 8.1 Enterprise (32/64 ビット)
- Windows Server® 2012 Standard (64 ビット)
- Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット)
- Windows® 10 Home (32/64 ビット)
- Windows® 10 Pro (32/64 ビット)
- Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット)
- Windows® 10 Education (32/64 ビット)

● .NET Framework (*1)

オペレーティングシステムによって、必要なバージョンは次のように異なります。

- Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/
Windows Server 2012 R2/Windows 10 の場合
次のいずれかがインストールされている必要があります。
 - .NET Framework 4
 - .NET Framework 4.5
 - .NET Framework 4.6
- Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2003/
Windows Server 2008 の場合
次のいずれかがインストールされている必要があります。
 - .NET Framework 2.0 (Service Pack 2 以降)
 - .NET Framework 3.0 (Service Pack 2 以降)
 - .NET Framework 3.5 (Service Pack 1 以降)

● Internet Explorer

- Internet Explorer 7 以降 (*2)

*1 : .NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

*2 : 最新のセキュリティ更新プログラムを適用してください。適用していない場合、画面表示などに問題が生じることがあります。

重要

動作環境によっては、一部機能が使用できません。
詳細は、「[N7100 と連携するときのソフトウェア](#)」(P.22) を参照してください

ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、次の要件を満たすコンピュータ

メモリ容量	32M バイト以上 (推奨 : 1G バイト以上) (*1)
ディスク容量	64M バイト以上の空き容量が必要

*1 : 使用するオペレーティングシステムの推奨システム要件に準ずる。

- XGA 以上のモニター
- LAN ケーブル
- ポインティングデバイス (マウスなど)

Scanner Central Admin Agent の動作環境 イメージ スキャナ

Scanner Central Admin Agent の動作環境は、次のとおりです。

ソフトウェア

● オペレーティングシステム

- Windows® XP Home Edition (Service Pack 3 以降)
- Windows® XP Professional (Service Pack 3 以降)
- Windows® XP Professional ×64 Edition (Service Pack 2 以降)
- Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (Service Pack 2 以降)
- Windows Server® 2003 R2, Standard ×64 Edition (Service Pack 2 以降)
- Windows Vista® Home Basic (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
- Windows Vista® Home Premium (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
- Windows Vista® Business (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
- Windows Vista® Enterprise (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
- Windows Vista® Ultimate (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降)
- Windows Server® 2008 Standard (32/64 ビット) (*1)
- Windows Server® 2008 R2 Standard (64 ビット) (*1)
- Windows® 7 Home Premium (32/64 ビット)
- Windows® 7 Professional (32/64 ビット)
- Windows® 7 Enterprise (32/64 ビット)
- Windows® 7 Ultimate (32/64 ビット)
- Windows® 8 (32/64 ビット)
- Windows® 8 Pro (32/64 ビット)
- Windows® 8 Enterprise (32/64 ビット)

- Windows® 8.1 (32/64 ビット)
- Windows® 8.1 Pro (32/64 ビット)
- Windows® 8.1 Enterprise (32/64 ビット)
- Windows Server® 2012 Standard (64 ビット) (*1)
- Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット) (*1)
- Windows® 10 Home (32/64 ビット)
- Windows® 10 Pro (32/64 ビット)
- Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット)
- Windows® 10 Education (32/64 ビット)

● .NET Framework (*2)

オペレーティングシステムによって、必要なバージョンは次のように異なります。

- Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/
Windows Server 2012 R2/Windows 10 の場合
次のいずれかがインストールされている必要があります。
 - .NET Framework 4
 - .NET Framework 4.5
 - .NET Framework 4.6
- Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2003/
Windows Server 2008 の場合
次のいずれかがインストールされている必要があります。
 - .NET Framework 2.0 (Service Pack 2 以降)
 - .NET Framework 3.0 (Service Pack 2 以降)
 - .NET Framework 3.5 (Service Pack 1 以降)

重要

Microsoft .NET Framework Language Pack をインストールしていない環境で Scanner Central Admin Agent を動作させた場合、一部のエラーメッセージが英語で表示されます。

*1: デスクトップエクスペリエンス機能を有効にしておく必要があります。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

*2: .NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

スキャナを監視および管理する場合は、次のソフトウェアをインストールする必要があります。

また、次のソフトウェアをインストールする場合は、Software Operation Panel もインストールしてください。

- PaperStream IP (TWAIN)
- PaperStream IP (TWAIN x64)
- PaperStream IP (ISIS)
- TWAIN ドライバ
- ISIS ドライバ
- VRS

ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、次の要件を満たすコンピュータ

CPU	Intel® Pentium® 4 1.8GHz 以上 (推奨: Intel® Core™ i5 2.5GHz 以上、モバイル向けを除く) (*1)
メモリ容量	1G バイト以上 (推奨: 4G バイト以上) (*1)
ディスク容量	2.2G バイト以上の空き容量が必要

*1: 使用するオペレーティングシステムの推奨システム要件に準ずる。

重要

- スキャナの接続方法や動作環境については、お使いのスキャナのマニュアルを参照してください。
- 集中管理可能なイメージスキャナについては、Scanner Central Admin Agent の readme を参照してください。

- XGA 以上のモニタ

- LAN ケーブル
- ポインティングデバイス (マウスなど)

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

Scanner Central Admin のためのネットワーク条件

集中管理を行うために必要となるネットワーク条件について説明します。

Scanner Central Admin を導入する場合、次のネットワーク条件を満たしている必要があります。

- Scanner Central Admin Server からネットワークスキャナへの HTTP/HTTPS 通信が可能（自動探索機能、配信通知機能を使用する場合）
- Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナから Scanner Central Admin Server への HTTP/HTTPS 通信が可能
- Scanner Central Admin Console から Scanner Central Admin Server への HTTP/HTTPS 通信が可能
- Scanner Central Admin Server からネットワークスキャナへの Wake On LAN Magic Packet のルーティングが可能（Wake On LAN を使用する場合）
- Scanner Central Admin Server/Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナから SMTP サーバへの SMTP 通信が可能
- Scanner Central Admin Agent から統合管理システムへの SNMP トラップ通信が可能
- SCAModuleCreator からダウンロードサイト（インターネット上のサイト）への HTTP 通信が可能（ダウンロードサイトからアップデートモジュールを取得する場合）
- Scanner Central Admin Server からダウンロードサイトへの HTTP 通信が可能（最新アップデート確認機能を使用する場合）

重要

Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナと Scanner Central Admin Server の接続には、次の制約があります。

- HTTP プロキシを経由した通信を必要とする環境はサポートしません。
- NAT・NAPTによるIPアドレス変換が行われる環境はサポートしません。
- IPv6 環境はサポートしません。

集中管理可能なスキャナ台数

Scanner Central Admin Server で集中管理可能なスキャナ台数は、1,000 台です。

1,000 台を超えた場合は、管理対象としてスキャナを登録できません。スキャナが 1,000 台を超える環境では、Scanner Central Admin Server を複数台用意し、それぞれの Scanner Central Admin Server が管理対象とするスキャナを 1,000 台以下にする必要があります。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

使用するポート番号一覧

使用するポート番号一覧は、次のとおりです。

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Server ⇒ ネットワークスキャナ	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
	Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナ ⇒ Scanner Central Admin Server	20444 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
	Scanner Central Admin Console ⇒ Scanner Central Admin Server	10444 (HTTP/HTTPS) (*1) (*5)	6 (TCP)
		10445 (HTTP) (*6)	6 (TCP)

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Server ⇒ LDAP サーバ (*2)	389 (LDAP)	6 (TCP)
		636 (LDAPS)	6 (TCP)
		3268 (Active Directory Global Catalog)	6 (TCP)
		3269 (Active Directory Global Catalog over SSL)	6 (TCP)
	Scanner Central Admin Server ⇒ プリントサーバ (*2)	137,138,139,445 (SMB)	6 (TCP) 17 (UDP)
	Scanner Central Admin Server ⇒ ファイルサーバ (*2)	137,138,139,445 (SMB)	6 (TCP) 17 (UDP)
	Scanner Central Admin Server ⇒ FTP サーバ (*2)	20,21 (FTP) (*1)	6 (TCP)
Scanner Central Admin Server ⇒ FTPS サーバ (*2)	989,990 (FTPS) (*1)	6 (TCP)	

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Server ⇒SMTP サーバ (*2)	25 (SMTP) (*1)	6 (TCP)
	Scanner Central Admin Server ⇒ プロキシサーバ (*2)	任意	6 (TCP)
	Scanner Central Admin Server の SharePoint 連携 (*2)	30444 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
	Scanner Central Admin Server ⇒ ダウンロードサイト (*4)	80 (HTTP)	6 (TCP)
メール送信	Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナ ⇒SMTP サーバ	25 (SMTP) (*1)	6 (TCP)
SNMP トラップ通知 (*3)	Scanner Central Admin Agent ⇒ 統合管理システム (SNMP マネージャー)	162 (snmp-trap)	17 (UDP)
アップデートモジュール作成 (*3) (*4)	SCAModuleCreator ⇒ ダウンロードサイト	80 (HTTP)	6 (TCP)
Wake On LAN	Scanner Central Admin Server ⇒ ネットワークスキャナ (*2)	443 (Wake On LAN Magic Packet) (*1)	17 (UDP)

*1 : 変更が可能です。

*2 : ネットワークスキャナの場合です。

*3 : イメージスキャナの場合です。

*4 : ダウンロードサイトからアップデートの情報とモジュールを取得する場合です。

*5、*6 : (*6) のポート番号は、(*5) のポート番号に「1」を加えた値を使用します。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

第 2 章 Scanner Central Admin の導入

この章では、Scanner Central Admin の導入について説明します。

2.1 運用形態ごとに必要なアプリケーション.....	30
2.2 Scanner Central Admin Server のインストール.....	31
2.3 Scanner Central Admin Console のインストール.....	34
2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール.....	36

2.1 運用形態ごとに必要なアプリケーション

運用形態ごとに必要なアプリケーションについて説明します。

運用形態	アプリケーション	イメージスキャナ	ネットワークスキャナ
Scanner Central Admin Server を利用した運用	Scanner Central Admin Server	○	○
	Scanner Central Admin Console	○	○
	Scanner Central Admin Agent	○	-
	SCAModuleCreator	○	-
メール通知を利用した運用	SMTP サーバ (*1)	○	○
	Scanner Central Admin Agent	○	-
統合管理システムと連携した運用	統合管理システム (SNMP マネージャー) (*2)	○	○
	Scanner Central Admin Agent	○	-

○ : 必要
- : 不要

*1 : 既存のメールシステムを利用します。

*2 : 既存の統合管理システムを利用します。

それぞれの運用形態に必要なアプリケーションをインストールしてください。

それぞれのアプリケーションのインストール方法については、次を参照してください。

- Scanner Central Admin Server
「[2.2 Scanner Central Admin Server のインストール](#)」 (P.31)
- Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator
「[2.3 Scanner Central Admin Console のインストール](#)」 (P.34)
- Scanner Central Admin Agent
「[2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール](#)」 (P.36)

重要

Scanner Central Admin を利用される場合は、Scanner Central Admin Server、Scanner Central Admin Console、Scanner Central Admin Agent、イメージスキャナのドライバ、およびネットワークスキャナのソフトウェアのバージョンを最新にアップデートしてご利用ください。最新でない場合は、一部の機能が利用できないことがあります。

2.2 Scanner Central Admin Server のインストール

Scanner Central Admin Server は、スキャナを集中管理するコンピュータにインストールします。

- 1 Scanner Central Admin Serverの動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Server の動作環境については、「[Scanner Central Admin Server の動作環境](#)」(P.21) を参照してください。

- 2 コンピュータを起動します。

重要

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログインしてください。

- 1 Scanner Console Admin Server のインストーラは、次のホームページからダウンロードします。
ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/downloads/sca/index.html>

- 2 手順 3 に進みます。

重要

動作環境として必要となる 1.5G バイト以上の空きディスク容量には、SQL Server 2008 R2 Express Edition をインストールするときに必要な空きディスク容量 1G バイトが含まれていません。

- 3 表示される画面の指示に従ってインストールします。
途中、次の設定を行う必要があります。事前に、使用するポート番号、通信プロトコルを決定しておいてください。

- スキャナと通信するためのポート番号
- Scanner Central Admin Console と通信するためのポート番号
- Scanner Shared Folder Service ポート番号

インストール後に、ポート番号、通信プロトコルを変更したい場合は、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面で変更してください。

- 4 インストール完了後、再起動の問い合わせ画面が表示されたら、再起動します。

重要

- Scanner Central Admin Server がすでにインストールされている場合は、「[2.3 Scanner Central Admin Console のインストール](#)」(P.34) から操作してください。
- 旧バージョンの Scanner Central Admin Server がインストールされている場合、アップグレードインストールが行えます。なお、アップグレードインストールでは、設定情報がそのまま引き継がれますが、万が一に備えて、事前に Scanner Central Admin Server に関する情報を退避してください。退避の操作方法については、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の退避](#)」(P.132) を参照してください。
- Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピュータと Scanner Central Admin Console がインストールされているコンピュータの日付と時刻には正しい値を設定してください。日付と時刻が大幅に異なっていると、正常に動作しない場合があります。
- Scanner Central Admin Server をインストールすると、SQL Server 2008 R2 Express Edition の AMMANAGER インスタンスがインストールされます。SQL Server 2008 R2 Express Edition の AMMANAGER インスタンスは、Scanner Central Admin Server が動作するために必要ですので、変更、アンインストールしないでください。

ヒント

- インストール先のフォルダーには、ローカルディスクのフォルダーを指定してください。
- ルートフォルダーに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。
- インストール先のフォルダー名に次に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。
; . # %
- Windows Server 2008 に、Scanner Central Admin Server をインストールする場合、インストール時のユーザーは Administrator で実行してください。
- 次のエラーメッセージでインストールが失敗することがあります。
An installation package for the product Microsoft SQL Server Native Client cannot be found. Try the installation agent using a valid copy of the installation package 'sqlncli.msi'.
このような場合は、「SQL ネイティブ クライアント」をアンインストールしてください。その後、Scanner Central Admin Server のインストールを再び実行してください。
- 次のエラーメッセージでインストールが失敗した場合は、IIS のサービス (w3svc.exe) を一度停止し、手動で再開してください。その後、Scanner Central Admin Server のインストールを再度実行してください。
システムがビジー状態のため、インストールを中断します。しばらくしてから、再度セットアップを行ってください。
- Windows Server 2008 以降で、次のエラーメッセージが発生した場合は、IIS 管理コンソールがインストールされているか確認してください。IIS 管理コンソールがインストールされていない場合は、IIS の役割サービス内から IIS 管理コンソールを選択し、インストールしてください。
このセットアップを実行するには IIS 管理コンソールがインストールされている必要があります。
詳細は、マニュアルを参照してください。
IIS の役割サービスを選択するには、「管理ツール」の「サーバ - マネージャ」で「役割の概要」内の Web サーバ (IIS) を選択してください。

- Scanner Central Admin Server では、Scanner Central Admin Console との通信、およびスキャナからの通信で HTTPS を使用するため、自己署名された証明書をコンピュータにインポートします。この証明書は正式な証明書ではないため、正式な証明書を独自にインポートすることを推奨します。詳細は、「[証明書のインポート \(HTTPS の場合\)](#)」(P.44) を参照してください。
- インストールおよびアンインストール中に、中断または失敗した場合、次のプログラムがインストールされた状態となることがあります。
 - Microsoft SQL Server 2008 R2 の AMMANAGER インスタンス
 - Microsoft SQL Server Native Client
 - Microsoft SQL Server Setup Support Files (English)
 - Microsoft SQL Server VSS Writer
 - MSXML 6.0 Parser
 このような場合は、上記プログラムをアンインストールしてください。
プログラムのアンインストールについて、ここでは、Windows Server 2012 の例で説明します。
プログラムのアンインストールは、インストールしたコンピュータの「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を選択して行います。
なお、「Microsoft SQL Server 2008 R2 の AMMANAGER インスタンス」をアンインストールする場合は、次の手順で操作してください。
 - 1 「プログラムと機能」の一覧から「Microsoft SQL Server 2008 R2」を選択して、[アンインストールと変更] ボタンを押します。
 - 2 以降は、画面の指示に従って操作を進めてください。
ただし、インスタンスの選択は「AMMANAGER: データベースエンジン」を選択してください。
 「Microsoft SQL Server 2008 R2 の AMMANAGER インスタンス」以外のプログラムは、ほかのアプリケーションで使用している場合は、削除する必要はありません。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

- Scanner Central Admin Server のインストール後に次のような変更を行う場合は、いったん Scanner Central Admin Server をアンインストールして、変更後に再度インストールしてください。
 - Scanner Central Admin Server を Active Directory のドメインコントローラーにする場合
 - ドメインコントローラーの役割を削除する場合

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

2.3 Scanner Central Admin Console のインストール

Scanner Central Admin Console は、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピュータにインストールします。

SCAModuleCreator は、Scanner Central Admin Console と同時にインストールされます。

- 1 Scanner Central Admin Console の動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Console の動作環境については、「[Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator の動作環境](#)」(P.22)を参照してください。

- 2 コンピュータを起動します。

重要

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログインしてください。

- 1 Scanner Console Admin Console のインストーラは、次のホームページからダウンロードします。
ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。
<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/downloads/sca/index.html>
- 2 手順 3 に進みます。

- 3 表示される画面の指示に従ってインストールします。

- 4 インストール完了後、「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Server」 → 「Scanner Central Admin Console」から Scanner Central Admin Console の画面を表示できることを確認します。

重要

- Internet Explorer の「ツール」メニュー → 「インターネットオプション」を選択して表示される「インターネットオプション」画面での設定について、次の点に注意してください。
 - 「全般」タブの「ユーザー補助」ボタンを押して表示される「ユーザー補助」画面で、書式設定、ユーザースタイルシートの各種設定をしないでください。Scanner Central Admin Console の表示スタイルが崩れる場合があります。
 - 「全般」タブの「言語」ボタンを押して表示される「言語の優先順位」画面で、Scanner Central Admin Server のオペレーティングシステムと同じ言語を指定してください。異なる言語を指定した場合、Scanner Central Admin Console における入力や表示に問題が発生する場合があります。
 - Internet Explorer 11 がインストールされている環境で、Scanner Central Admin Console の画面項目が一部適切に表示されない場合があります。この場合、「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択してから「サイト」ボタンを押して、「信頼済みサイト」画面で、Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を追加してください。そのあと、「全般」タブの「削除」ボタンを押して、一時ファイルや履歴を削除して、Scanner Central Admin Console を再起動してください。
 - 「セキュリティ」タブの「このゾーンのセキュリティのレベル」を「高」にすると、Scanner Central Admin Console の画面項目が一部適切に表示されない場合があります。この場合、以下の対処をしてください。
 - 「セキュリティ」タブで Scanner Central Admin Server を信頼済みサイトに追加して「既定のレベル」ボタンを押す
 - 「レベルのカスタマイズ」ボタンを押して「バイナリ ビヘイビアとスクリプト ビヘイビア」および「XAML ブラウザーアプリケーション」を「有効にする」にする

- 「詳細設定」タブの「マルチメディアグループ」の「Web ページのアニメーションを再生する」チェックボックスをチェックしてください。

Windows Server の場合、初期状態ではチェックされていません。

- フォント サイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォント サイズを小さくして使用してください。

ヒント

- インストール先のフォルダーには、ローカルディスクのフォルダーを指定してください。
- ルートフォルダーに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。
- インストール先のフォルダー名に次に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。
/ ; : , . * ? " < > | # %

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール イメージ スキャナ

Scanner Central Admin Agent は、スキャナを接続しているコンピュータにインストールします。

Scanner Central Admin Agent のインストール方法には、次の3つがあります。

- 通常インストール
スキャナを接続しているコンピュータに、Setup DVD-ROM から Scanner Central Admin Agent をインストールする方法です。
- 自動設定 / 登録処理インストール
多台数のコンピュータへの Scanner Central Admin Agent のインストールと設定を簡易にするインストール方法です。
事前に移出しておいた Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用して、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定を自動的に行います。
Scanner Central Admin Server と連携するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、スキャナを自動的に登録できます。
- 統合管理システムと連携した運用でのサイレントインストール
統合管理システムのアプリケーション配付機能を使用して、Scanner Central Admin Agent を一括インストールする方法です。
事前に移出しておいた Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用して、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定を自動的に行います。
SNMP トラップを通知するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、SNMP トラップを通知できるようになります。

次に、それぞれのインストール方法について説明します。

重要

- ターミナルサービスクライアントおよびリモートデスクトップ接続クライアントでの動作は保証していません。
- ドライバと Software Operation Panel がインストールされていない場合、スキャナの状態 / スキャナ情報は Scanner Central Admin Server に通知されません。
- Scanner Central Admin Agent をインストールしたコンピュータのディスクイメージを退避し、ほかのコンピュータに復元しないでください。Scanner Central Admin Agent は、複製作成のコンピュータ上では動作しません。

通常インストール

- 1 Scanner Central Admin Agent の動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Agent の動作環境については、「[Scanner Central Admin Agent の動作環境](#)」(P.24) を参照してください。
- 2 コンピュータを起動します。

重要

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログインしてください。
- 3 スキャナに添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
- 4 表示される画面の指示に従ってインストールします。

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

- 5 インストール完了後、「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Agent」 → 「Scanner Central Admin Agent の設定」 から 「Scanner Central Admin Agent」 画面を表示できることを確認します。

ヒント

- インストール先のフォルダーには、ローカルディスクのフォルダーを指定してください。
- ルートフォルダーに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。
- インストール先のフォルダー名に次に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。
/ ; : , . * ? " < > | # %

自動設定 / 登録処理インストール

- 1 Scanner Central Admin Agent がインストールされているコンピュータで、Scanner Central Admin Agent 設定情報を移します。
Scanner Central Admin Agent 設定情報の移出方法については、「[スキャナ設定情報のアップデートモジュールの作成](#)」(P.64) を参照してください。

- 2 Scanner Central Admin Agent をインストールするコンピュータで、Scanner Central Admin Agent の動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Agent の動作環境については、「[Scanner Central Admin Agent の動作環境](#)」(P.24) を参照してください。

- 3 コンピュータを起動します。

重要

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログオンしてください。

- 4 スキャナに添付の Setup DVD-ROM から Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダーを、USB メモリなどの外部記憶媒体にコピーします。
Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダーは、Setup DVD-ROM 内の ScannerCentralAdmin\ScannerCentralAdminAgent フォルダ配下です。

- 5 手順 1 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、手順 4 でコピーした Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダー内にある Setting フォルダ配下にコピーします。

- 6 手順4でコピーした Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダー内にある Scanner Central Admin Agent のインストーラ「Setup.exe」を起動します。
- 7 表示される画面の指示に従ってインストールします。
- 8 インストール完了後、「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Agent」 → 「Scanner Central Admin Agent の設定」から「Scanner Central Admin Agent」画面を表示できることを確認します。
 - ⇒ Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定が自動的に行われます。Scanner Central Admin Server と連携するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、スキャナが自動的に登録されます。
- 9 多台数のコンピュータに、手順6～8を繰り返します。
 - ⇒ 多台数のコンピュータに Scanner Central Admin Agent のインストールと設定が行われます。

統合管理システムと連携した運用でのサイレントインストール

- 1 Scanner Central Admin Agent がインストールされている動作確認用のコンピュータで、SNMP トラップ通知が問題ないことを確認します。
- 2 Scanner Central Admin Agent 設定情報を移します。Scanner Central Admin Agent 設定情報の移出方法については、「[スキャナ設定情報のアップデートモジュールの作成](#)」(P.64)を参照してください。
- 3 Scanner Central Admin Agent をインストールするコンピュータで、Scanner Central Admin Agent の動作環境の条件が満たされていることを確認します。Scanner Central Admin Agent の動作環境については、「[Scanner Central Admin Agent の動作環境](#)」(P.24)を参照してください。
- 4 スキャナに添付の Setup DVD-ROM から Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダーを、統合管理システムに登録します。Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダーは、Setup DVD-ROM 内の ScannerCentralAdmin\ScannerCentralAdminAgent フォルダ配下です。
- 5 手順2で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、手順4で登録した Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダー内にある Setting フォルダ配下にコピーします。

6 Scanner Central Admin Agent のインストーラでサイレントインストールするための指定をします。

- コマンド実行形式

```
Setup.exe [-silent] [-d {Scanner Central Admin Agent のインストールフォルダー名}]
```

斜体は可変文字列です。

-silent はサイレントインストールを実行する場合に指定します。

省略した場合、以降のパラメーターは指定しないでください。

-d は Scanner Central Admin Agent のインストールフォルダーを指定します。

省略した場合、初期値のフォルダーにインストールされます。

新規インストールの場合だけ有効です。

- 復帰値

- 0

正常終了

- 10

起動パラメーターエラー

- 0 および 10 以外

その他のエラー

- 注意事項

Scanner Central Admin Agent 設定情報を Scanner Central Admin Agent のインストーラの格納フォルダー内にある Setting フォルダ配下にコピーしたあとに、インストールを開始すると、Scanner Central Admin Agent 設定情報が自動的に移入されます。

7 統合管理システムから Scanner Central Admin Agent のインストーラを配付します。

⇒ 統合管理システムで管理しているコンピュータに、Scanner Central Admin Agent が一括でインストールされます。Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定が自動的に行われます。SNMP トラップを通知するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、SNMP トラップを通知できるようになります。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

第 3 章 Scanner Central Admin Server を利用した運用

この章では、Scanner Central Admin Server を利用した運用について説明します。

3.1 作業の流れ.....	41
3.2 事前設定（Scanner Central Admin Server）.....	44
3.3 事前設定（Scanner Central Admin Console）.....	47
3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン.....	48
3.5 Scanner Central Admin Server の動作環境の設定.....	51
3.6 事前設定（Scanner Central Admin Agent）.....	53
3.7 事前設定（ネットワークスキャナ）.....	55
3.8 スキャナの登録.....	56
3.9 最新アップデートの確認.....	57
3.10 イメージスキャナのアップデート.....	59
3.11 ネットワークスキャナのアップデート.....	69
3.12 スキャナの監視.....	78
3.13 スキャナの管理.....	84
3.14 スキャナの保守.....	105
3.15 運用パターン例.....	106

3.1 作業の流れ

作業の流れについて説明します。

事前設定 (Scanner Central Admin Server)

- Scanner Central Admin Server のインストール
- 証明書のインポート (HTTPS の場合)
- ファイアウォールの設定

詳細は、「3.2 事前設定 (Scanner Central Admin Server)」(P.44) を参照してください。

事前設定 (Scanner Central Admin Console)

- Scanner Central Admin Console のインストール
- Error Recovery Guide のインストール

詳細は、「3.3 事前設定 (Scanner Central Admin Console)」(P.47) を参照してください。

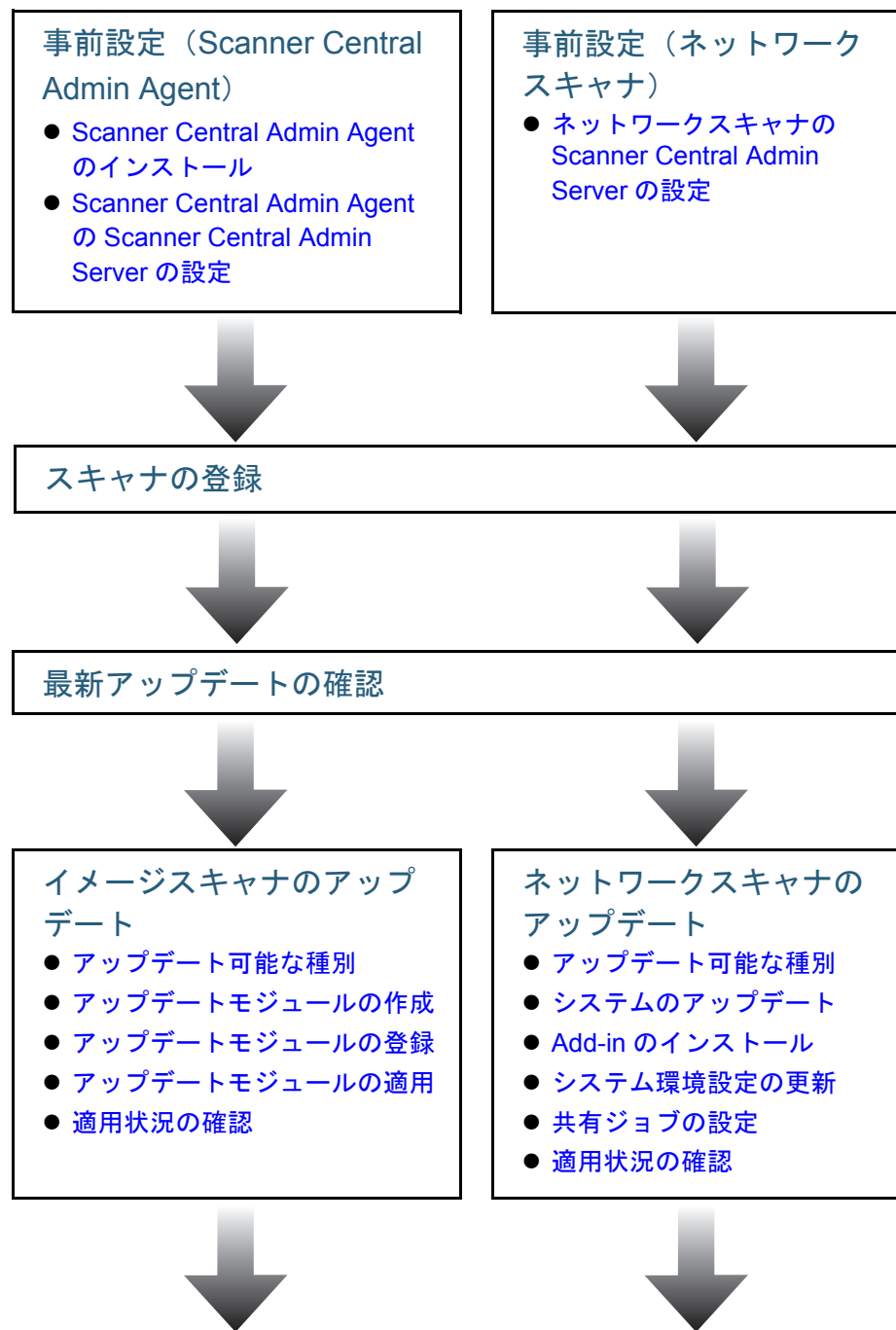
Scanner Central Admin Console からのログイン

詳細は、「3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン」(P.48) を参照してください。

Scanner Central Admin Server の動作環境の設定

- 共通設定
- ネットワークスキャナ設定

詳細は、「3.5 Scanner Central Admin Server の動作環境の設定」(P.51) を参照してください。



事前設定 (Scanner Central Admin Agent) は、イメージスキャナの場合に必要な設定です。
詳細は、「3.6 事前設定 (Scanner Central Admin Agent)」 (P.53) を参照してください。

事前設定 (ネットワークスキャナ) は、ネットワークスキャナの場合に必要な設定です。
詳細は、「3.7 事前設定 (ネットワークスキャナ)」 (P.55) を参照してください。

詳細は、「3.8 スキャナの登録」 (P.56) を参照してください。

詳細は、「3.9 最新アップデートの確認」 (P.57) を参照してください。

イメージスキャナのアップデートの詳細は、「3.10 イメージスキャナのアップデート」 (P.59) を参照してください。

ネットワークスキャナのアップデートの詳細は、「3.11 ネットワークスキャナのアップデート」 (P.69) を参照してください。

スキャナの監視

- スキャナの各種状態の監視
- スキャナの稼働状況の監視
- 統計情報の参照
- イベント一覧の参照
- 監査ログの収集 / 取り出し

詳細は、「[3.12 スキャナの監視](#)」(P.78) を参照してください。



スキャナの管理

- スキャナの情報
- スキャナ構成情報の追加
- スキャナ構成情報の編集
- スキャナ構成情報の削除
- グループの編集
- スキャナ構成情報のエクスポート
- スキャナ構成情報のインポート
- ネットワークスキャナの自動探索 / 登録
- スキャナ詳細情報の確認

詳細は、「[3.13 スキャナの管理](#)」(P.84) を参照してください。



スキャナの保守

詳細は、「[3.14 スキャナの保守](#)」(P.105) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.2 事前設定（Scanner Central Admin Server）

Scanner Central Admin Server の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Server のインストール

Scanner Central Admin Server は、スキャナを集中管理するコンピュータにインストールします。

Scanner Central Admin Server のインストール方法については、「[2.2 Scanner Central Admin Server のインストール](#)」(P.31) を参照してください。

証明書のインポート（HTTPS の場合）

HTTPS を使用して通信する場合、証明書をインポートします。

ここでは、Windows Server 2012 の例で説明します。

- 1 「スタート」メニュー → 「管理ツール」 → 「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ」を選択します。
⇒ IIS マネージャが起動されます。
- 2 ホーム画面内のサーバー証明書を選択します。
- 3 操作内のインポートを選択します。
- 4 表示される画面の指示に従って操作します。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

ヒント

Windows Server 2008 以降の場合、インポートした証明書の拇印データを CertHash.xml に設定してください。

- CertHash.xml の格納先は、次のとおりです。

Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー
¥AmManager¥Sys¥CertHash.xml

- 証明書の拇印データ「cc ce a0 66 e3 9c 9b 2a 65 45 03 a3 c4 f4 e5 e6 ad ec df 9f」を設定する場合の例を、次に示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<IISPolicy>
  <CertHash>cc ce a0 66 e3 9c 9b 2a 65 45 03 a3 c4 f4 e5 e6 ad ec df 9f</CertHash>
</IISPolicy>
```

ファイアウォールの設定

ファイアウォールを設定します。
Scanner Central Admin Console で管理するためには、Scanner Central Admin Server で、次のポート番号で通信できるように設定します。

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナ ⇒Scanner Central Admin Server	20444 (HTTP/HTTPS) Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面の「スキャナ通信ポート番号」で設定したポート番号	6 (TCP)

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Console ⇔Scanner Central Admin Server	10444 (HTTP/HTTPS) Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面の「Scanner Central Admin Console 通信ポート番号」で設定したポート番号、および設定したポート番号	6 (TCP)
		10445 (HTTP) Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Serve 動作環境設定 (共通設定)」画面の「Scanner Central Admin Console 通信ポート番号」で設定したポート番号 + 1	6 (TCP)

ファイアウォールの設定方法は、各サーバで使用するファイアウォールソフトウェアのマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.3 事前設定 (Scanner Central Admin Console)

Scanner Central Admin Console の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Console のインストール

Scanner Central Admin Console は、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピュータにインストールします。

Scanner Central Admin Console のインストール方法については、「[2.3 Scanner Central Admin Console のインストール](#)」(P.34) を参照してください。

Error Recovery Guide のインストール イメージ スキャナ

Error Recovery Guide は、Scanner Central Admin Console をインストールしたコンピュータにインストールします。

スキャナに装置エラーが発生した場合、「イベント詳細」画面の [エラー詳細] ボタンを押すと、装置エラーに該当する Error Recovery Guide が表示できるようになります。

Error Recovery Guide には、エラーの対処方法が説明されています。

- 1 Scanner Central Admin Console の動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Console の動作環境については、「[Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator の動作環境](#)」(P.22) を参照してください。

- 2 コンピュータを起動します。

重要

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログインしてください。

- 3 スキャナに添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。

- 4 表示される画面の指示に従ってインストールします。

ヒント

複数のスキャナ機種を管理対象とする場合は、各スキャナの Error Recovery Guide をインストールしてください。

集中管理可能なイメージスキャナについては、Scanner Central Admin Agent の readme を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン

Scanner Central Admin Console からログインします。
 管理者は Scanner Central Admin Console の画面から、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行えます。
 また、スキャナから通知された消耗品交換、エラー、およびメンテナンスが必要な要確認状態を、画面上で確認できます。

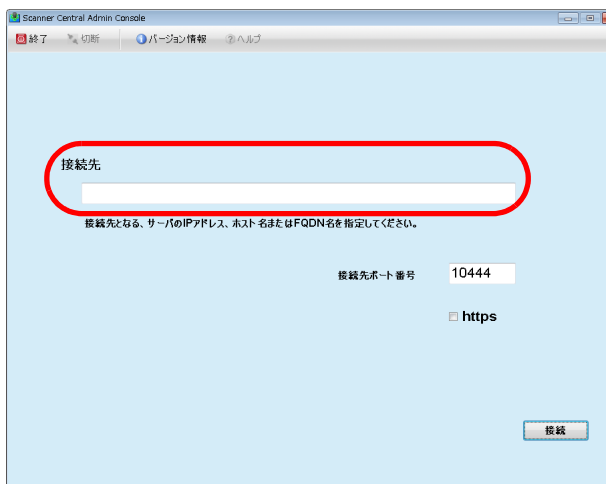
重要

画面が正常に表示されない場合（「×」マークなどが表示されるような場合）は、しばらく時間をおいてから、再度操作してください。また、Internet Explorer 6.0 がインストールされている環境で HTTPS を使用して集中管理サーバと接続している場合、Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「暗号化されたページをディスクに保存しない」チェックボックスのチェックを外してから、再度操作してください。それでも発生する場合は、本製品を購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

ヒント

セッションタイムアウト時間は 20 分（固定）です。リンク、ボタンを押す操作でセッションタイムアウト時間をさらに 20 分延長します。ただし、Scanner Central Admin Console の「スキャナ操作」画面および「スキャナ稼働状況」画面の表示中は自動更新が行われるためセッションタイムアウトは発生しません。

- 1 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Server」 → 「Scanner Central Admin Console」を選択します。
 ⇒ Scanner Central Admin Console の画面が表示されます。
- 2 「接続先」を指定します。
 Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
 - IP アドレスを入力する場合
 xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は、0 ~ 255 の値）の形式で入力します。
 - ホスト名または FQDN 名を入力する場合
 最大文字数は半角 255 文字です。



TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

重要

- Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「Scanner Central Admin Console 通信ポート番号」を変更した場合、「接続先ポート番号」に変更したポート番号を入力してください。
- SSL 通信を行う場合、「https」チェックボックスをチェックしてください。
- 空きメモリ容量がない状態で Scanner Central Admin Console を起動するとスクリプトエラーが発生する場合があります。空きメモリ容量がある状態で再度起動してください。
- Windows Server では、Scanner Central Admin Server への初回接続時に、指定した URL を信頼済みサイトのゾーンに追加するかどうかの確認画面が表示される場合があります。この場合は、Scanner Central Admin Server の URL を信頼済みサイトに追加したあと、必ず Scanner Central Admin Console を終了してください。

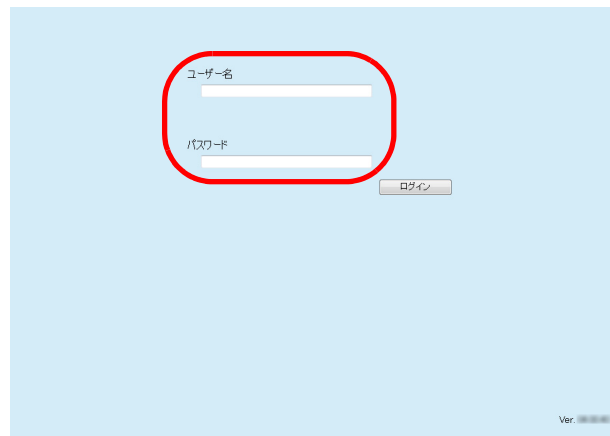
3 [接続] ボタンを押します。

⇒ Scanner Central Admin Console のログイン画面が表示されます。

重要

お使いのセキュリティソフトの設定によっては、指定したポート番号で通信することに対して警告が表示される場合があります。

- 4** 管理者のユーザー名およびパスワードを入力します。
 管理者のユーザー名とパスワードの初期値は、次のとおりです。
 ユーザー名：admin
 パスワード：password
 管理者のパスワードの変更は、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面で行ってください。また、管理者のパスワードは定期的に変更してください。



5 [ログイン] ボタンを押します。

⇒ 認証されると、Scanner Central Admin Console のメイン画面が表示されます。

スクリーンショット: Scanner Central Admin Console のメイン画面。タイトルは「[Scanner Central Admin Server 動作環境設定]」。

上部には「スキャナ操作」タブがあり、その下に「スキャナネットワーク登録状態」の概要が表示されています。

スキャナネットワーク登録状態	稼働状況	スキャナ数	イベント一覧	統計情報
全体台数	登録済み	未登録	消耗品交換	自動更新 スクリプト
54	54	0	7	

下部には「スキャナ処理状態」の表が表示されています。

処理種別	公開状況	適用状況			
		更新対象	更新済み	更新待ち	適用エラー
イメージ スキャナ	イメージスキャナアップデート	非公開	0	0	0
	システムソフトウェア	非公開	0	0	0
	AddressListビルド	非公開	0	0	0
ネットワーク スキャナ	システム環境検定	非公開	0	0	0
	仕様チェック設定	非公開	---	---	---

さらに下部には「イベント」ログが表示されています。

発生日時	発生元	種別	メッセージ
/00/12/19:40:41		警告	6A022107 古いスキャナドライバがインストールされています。対象スキャナドライバを...
/00/12/19:40:41		情報	0A021105 スキャナ登録が行われました。
/00/12/19:21:19		情報	0A021105 スキャナ登録が行われました。
/00/12/19:21:55		情報	0A021105 スキャナ登録が行われました。
/00/12/19:24:45		エラー	81000011 ファン駆動(システムファン)が範囲外です。(スキャナ発生日時:201...
/00/12/19:24:45		情報	0A021105 スキャナ登録が行われました。
/00/12/19:24:45		情報	0A021105 スキャナ登録が行われました。
/00/12/19:24:45		情報	0A021105 スキャナ登録が行われました。

ヒント

ログイン直後に表示するメイン画面は変更できます。
ログイン直後に表示するメイン画面を変更するには、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面で、初期画面を変更します。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.5 Scanner Central Admin Server の動作環境の設定

Scanner Central Admin Server の動作環境の設定について説明します。

Scanner Central Admin Server の動作環境の設定には、次の2つがあります。

- 共通設定
イメージスキャナとネットワークスキャナ共通の Scanner Central Admin Server の動作環境の設定です。
- ネットワークスキャナ設定
ネットワークスキャナ固有の Scanner Central Admin Server の動作環境の設定です。

次に、それぞれの Scanner Central Admin Server 動作環境の設定について説明します。

共通設定

ネットワークの設定、管理者パスワードの変更など、イメージスキャナとネットワークスキャナ共通の Scanner Central Admin Server の動作環境を設定します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」のリンクを押します。
⇒ 「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面が表示されます。

- 2 「共通設定」タブを押します。
⇒ 「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面が表示されます。



- 3 各設定項目を設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。
- 4 [OK] ボタンを押します。
⇒ 設定を有効にして、Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

ネットワークスキャナ設定 ネットワーク スキャナ

LDAP サーバの設定、SharePoint サーバの設定、共有ユーザー情報の削除など、ネットワークスキャナ固有の Scanner Central Admin Server の動作環境を設定します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」のリンクを押します。
⇒ 「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面が表示されます。
- 2 「ネットワークスキャナ設定」タブを押します。
⇒ 「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（ネットワークスキャナ設定）」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Scanner Central Admin Server 動作環境設定' (Scanner Central Admin Server Action Environment Settings) window. The 'ネットワークスキャナ設定' (Network Scanner Settings) tab is selected. The settings are organized into sections:

- Wake On LAN設定** (Wake On LAN Settings):
 - Wake On LANポート番号: 443
 - 送信回数: 3
 - 送信間隔: 1 秒
- LDAPサーバ設定** (LDAP Server Settings):
 - 共有ユーザ設定でLDAP検索を行う
 - LDAPサーバを登録 (Active Directory)
 - SSL通信を使用する サーバ証明書検証機能を検証しない
 - LDAPサーバ: (IPアドレス、ホスト名、またはFQDN)
 - LDAPサーバポート番号: 389
 - LDAPサーバ認証:
 - 認証ユーザ(DN):
 - パスワード:
 - *認証ユーザ(DN)を省略した場合は匿名ユーザとして接続します。
 - 匿名ユーザ属性: uid
 - 検索ベース(DN): (例: ou=Users, dc=example, dc=com)
 - 最大表示件数: 1000
 - 検索タイムアウト時間: 60 秒
 - スキーマ: 設定

- 3 各設定項目を設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。
- 4 [OK] ボタンを押します。
⇒ 設定を有効にして、Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.6 事前設定 (Scanner Central Admin Agent) イメージ スキャナ

Scanner Central Admin Agent の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Agent のインストール

Scanner Central Admin Agent は、スキャナを接続しているコンピュータにインストールします。

Scanner Central Admin Agent のインストール方法については、「[2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール](#)」(P.36) を参照してください。

Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定

Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定をします。

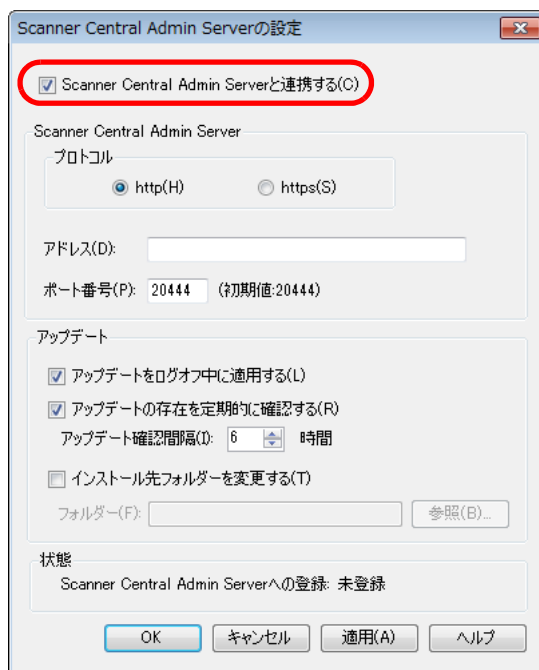
スキャナを接続しているコンピュータが Scanner Central Admin Server と連携できるようになります。

- 1 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Agent」 → 「Scanner Central Admin Agent の設定」を選択します。
⇒ 「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。
- 2 「Scanner Central Admin Server」の [設定] ボタンを押します。



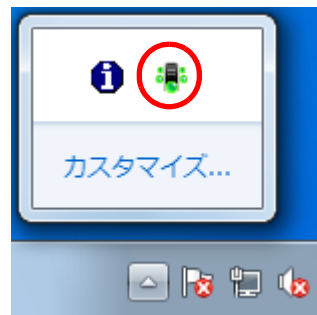
⇒ 「Scanner Central Admin Server の設定」画面が表示されます。

3 「Scanner Central Admin Server と連携する」チェックボックスをチェックします。



4 Scanner Central Admin Server、アップデートを設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

5 [OK] ボタンを押します。
⇒ 設定を有効にして、「Scanner Central Admin Agent」画面に戻ります。
画面右下の通知領域に Scanner Central Admin Agent アイコンが表示されます。



重要

- 環境によっては、[OK] ボタンを押してから設定が完了するまでに、時間がかかる場合があります。
- お使いのセキュリティソフトの設定によっては、指定したポート番号で通信することに対して警告が表示される場合があります。

3.7 事前設定（ネットワークスキャナ）

ネットワーク
スキャナ

ネットワークスキャナの前設定について説明します。

ネットワークスキャナの Scanner Central Admin Server の設定

ネットワークスキャナの Scanner Central Admin Server の設定をします。

スキャナが Scanner Central Admin Server と連携できるようになります。

詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.8 スキャナの登録

スキャナが Scanner Central Admin Server と連携できるように設定することで、Scanner Central Admin Server にスキャナを登録できます。

- 1 スキャナがScanner Central Admin Serverと連携できるように設定します。
イメージスキャナの設定方法については、「[Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定](#)」(P.53)を参照してください。
ネットワークスキャナの設定方法については、「[ネットワークスキャナの Scanner Central Admin Server の設定](#)」(P.55)を参照してください。
- 2 Scanner Central Admin Console の「スキャナ稼働状況」画面で、Scanner Central Admin Server にスキャナが登録されていることを確認します。
スキャナ稼働状況一覧に、登録したスキャナのアイコンが表示されているか確認してください。



3.9 最新アップデートの確認

Scanner Central Admin Console の画面では、Scanner Central Admin Server で管理しているスキャナに適用可能なアップデートモジュールが Web サイト上で公開されているかを、定期的に確認できます。

アップデートモジュールを確認するための設定

最新のアップデートモジュールを確認するために必要な設定をします。

- 1 Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面で、「アップデート確認」の各項目を設定します。
設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

⇒ 設定した内容に従って、Scanner Central Admin Server から Web サイトに接続して、アップデートモジュールの公開を定期的に確認されるようになります。

アップデートモジュールの確認

スキャナに適用可能な最新のアップデートモジュールがあるかどうかを確認します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「適用可能な最新アップデートの確認」または「適用可能な最新アップデートがあります」のリンクを押します。

モジュール名	公開状況	更新対象	更新済み	更新待ち	適用エラー
最新	非公開	0	0	0	0
ネットワーク	非公開	0	0	0	0
共有ジョブ設定	非公開	---	---	---	---

⇒ 「適用可能アップデート一覧」画面が表示されます。

2 最新のアップデートモジュールの情報を確認します。



重要

管理しているスキャナに適用されているソフトウェアやファームウェアに対して、最新のアップデートモジュールが公開されているかを確認できます。

最新のアップデートモジュールが Web サイト上で公開されていても、スキャナに適用されているソフトウェアのアップデートモジュールだけが一覧に表示されます。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.10 イメージスキャナのアップデート イメージスキャナ

イメージスキャナのアップデートについて説明します。アップデートモジュールを Scanner Central Admin Server に登録することで、ファームウェア、ドライバなどをアップデートできます。

アップデート可能な種別

アップデート可能な種別は、次のとおりです。

種別	説明
ファームウェア	スキャナのファームウェアです。
ドライバ	スキャナのドライバです。
添付ソフトウェア	スキャナに添付のソフトウェアです。
設定情報	スキャナやその他のソフトウェアの設定情報です。
ユーザーアプリケーション	ユーザーが作成するアプリケーションです。

重要

スキャナを接続しているコンピュータの状態が次の場合、スキャナ設定情報は配付されません。

- 登録から一度もスキャナが接続されていない状態
- サポートされていないスキャナが接続されている状態

設定情報の配付は、スキャナを接続しているコンピュータに対しては一度しか行われません。

再度スキャナを接続しているコンピュータに配付する場合は、すでに登録されている設定情報を Scanner Central Admin Server から削除し、再度作成した設定情報を登録してください。

ヒント

ソフトウェアアップデートに必要な時間は、次のように見積もります。

$$\frac{\text{アップデートモジュールサイズ} \times \text{適用対象台数} \times 1.5}{\text{ネットワークのスループット}}$$

例：次の条件の場合、 $\frac{15 \times 40 \times 1.5}{1} = 900$ 秒（15分）となります。

- アップデートモジュールサイズ：15M バイト
- 適用対象台数：40 台
- ネットワークのスループット：8Mbps=1M バイト / 秒

アップデートモジュールの作成

Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールの作成方法について説明します。

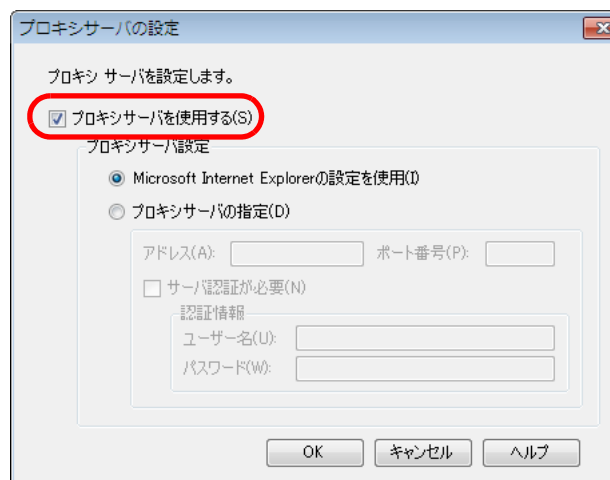
Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールの作成方法には、次の4つがあります。

- Web サイト上で公開されているアップデートファイルからのアップデートモジュールの作成
SCAModuleCreator を使用して、Web サイト上で公開されているアップデートファイルを、Scanner Central Admin Server に登録できるアップデートモジュールにします。
- スキャナに添付の Setup DVD-ROM で提供されているインストールプログラムからのアップデートモジュールの作成
SCAModuleCreator を使用して、スキャナに添付の Setup DVD-ROM で提供されているインストールプログラムを、Scanner Central Admin Server に登録できるアップデートモジュールにします。
- ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成
SCAModuleCreator を使用して、ユーザーが作成したアプリケーションを、Scanner Central Admin Server に登録できるアップデートモジュールにします。
- スキャナ設定情報のアップデートモジュールの作成
事前に移出しておいたスキャナ設定情報を、Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールとして利用できます。

次に、それぞれのアップデートモジュールの作成方法について説明します。

■Web サイト上で公開されているアップデートファイルからのアップデートモジュールの作成

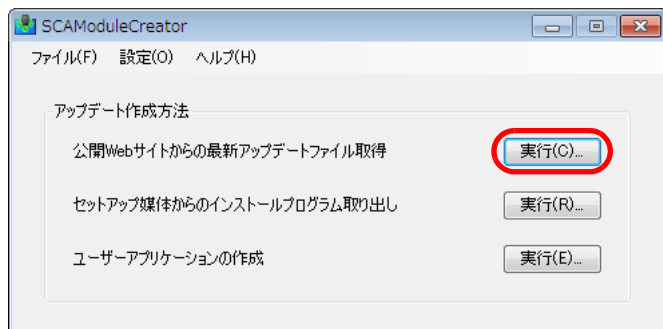
- 1 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Server」 → 「SCAModuleCreator」を選択します。
⇒ 「SCAModuleCreator」画面が表示されます。
- 2 プロキシサーバを使用していないネットワーク環境の場合、手順6に進みます。
プロキシサーバを使用しているネットワーク環境の場合、「設定」メニュー → 「プロキシサーバの設定」を選択します。
⇒ 「プロキシサーバの設定」画面が表示されます。
- 3 「プロキシサーバを使用する」チェックボックスをチェックします。



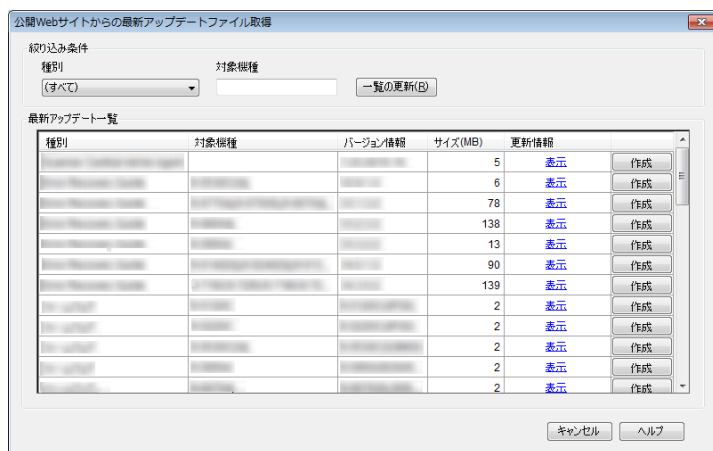
- 4 プロキシサーバを設定します。
各設定項目の詳細は、SCAModuleCreator のヘルプを参照してください。

5 [OK] ボタンを押します。
⇒ 設定を有効にして、「SCAModuleCreator」画面に戻ります。

6 「公開 Web サイトからの最新アップデートファイル取得」の [実行] ボタンを押します。



⇒ 「公開 Web サイトからの最新アップデートファイル取得」画面が表示されます。



7 一覧に表示するアップデートファイルを絞り込む場合、絞り込み条件を指定して、「一覧の更新」ボタンを押します。
⇒ 絞り込み条件に一致したアップデートファイルが表示されます。

8 アップデートファイルの [作成] ボタンを押します。
⇒ 「使用許諾契約書」画面が表示された場合は、手順 9 に進みます。「名前を付けて保存」画面が表示された場合は、手順 11 に進みます。

9 「「使用許諾契約書」の条項に同意します」チェックボックスをチェックします。

10 [次へ] ボタンを押します。
⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

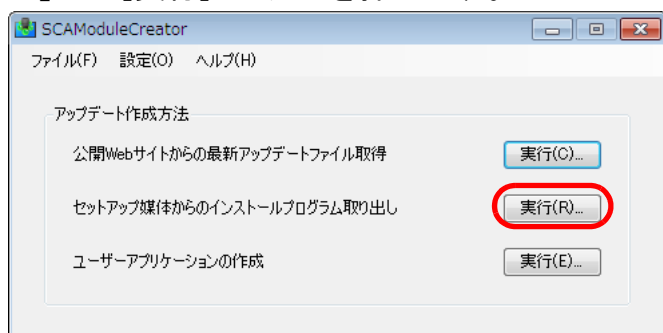
11 保存先を指定します。

12 [保存] ボタンを押します。
⇒ アップデートモジュールの作成が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

13 [OK] ボタンを押します。
⇒ 「公開 Web サイトからの最新アップデートファイル取得」画面に戻ります。

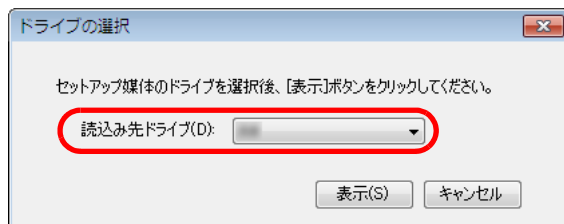
■スキャナに添付の Setup DVD-ROM で提供されているインストールプログラムからのアップデートモジュールの作成

- 1 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Server」 → 「SCAModuleCreator」 を選択します。
⇒ 「SCAModuleCreator」画面が表示されます。
- 2 「セットアップ媒体からのインストールプログラム取り出し」の [実行] ボタンを押します。

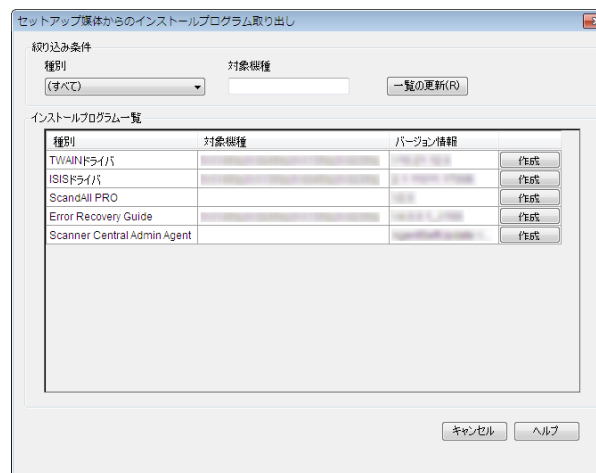


⇒ 「ドライブの選択」画面が表示されます。

- 3 「読み込み先ドライブ」を選択します。



- 4 [表示] ボタンを押します。
⇒ 「セットアップ媒体からのインストールプログラム取り出し」画面が表示されます。



- 5 一覧に表示するインストールプログラムを絞り込む場合、絞り込み条件を指定して、[一覧の更新] ボタンを押します。
⇒ 絞り込み条件に一致したインストールプログラムが表示されます。
- 6 インストールプログラムの [作成] ボタンを押します。
⇒ 「使用許諾契約書」画面が表示された場合は、手順7に進みます。
「名前を付けて保存」画面が表示された場合は、手順9に進みます。
- 7 「「使用許諾契約書」の条項に同意します」チェックボックスをチェックします。
- 8 [次へ] ボタンを押します。
⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
- 9 保存先を指定します。

10 [保存] ボタンを押します。

⇒ アップデートモジュールの作成が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

11 [OK] ボタンを押します。

⇒ 「セットアップ媒体からのインストールプログラム取り出し」画面に戻ります。

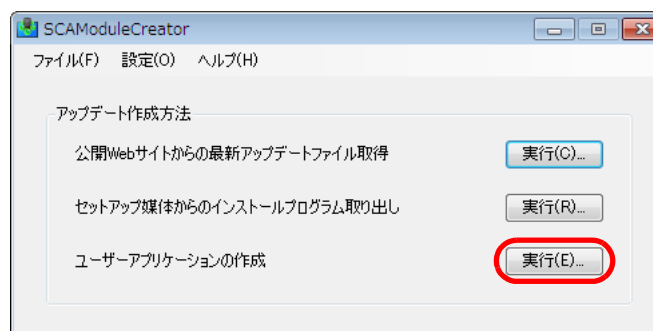
■ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成

ユーザーが作成した任意のアプリケーションをアップデートモジュールとして登録できます。ユーザーアプリケーションを作成するときには、次の点に注意してください。

- アップデート適用中は、アップデートモジュールとユーザーの対話処理ができません。ユーザーに応答を求めるような処理を含めないでください。例えば、ファイル上書きのときの確認メッセージへの応答、またはコンピュータの再起動などの処理です。
- アップデート適用の成功/失敗は、ユーザーアプリケーションからの復帰値で判断します。実行結果を復帰値（0：正常終了、0以外：異常終了）で通知するように作成してください。
- 個別ユーザーに対してレジストリーの書き込みや資源作成を行う処理を含めないでください。

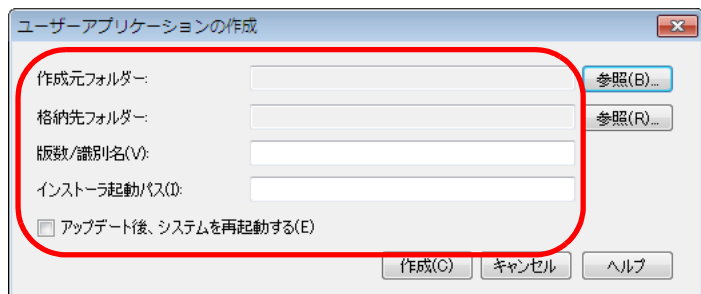
1 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Server」 → 「SCAModuleCreator」を選択します。
⇒ 「SCAModuleCreator」画面が表示されます。

2 「ユーザーアプリケーションの作成」の [実行] ボタンを押します。



⇒ 「ユーザーアプリケーションの作成」画面が表示されます。

- 3** 作成元フォルダー、格納先フォルダー、版数 / 識別名、インストーラ起動パスなどを設定します。
各設定項目の詳細は、SCAModuleCreator のヘルプを参照してください。



- 4** [作成] ボタンを押します。
⇒ アップデートモジュールの作成が完了すると、メッセージ画面が表示されます。
- 5** [OK] ボタンを押します。
⇒ 「ユーザーアプリケーションの作成」画面に戻ります。

■スキャナ設定情報のアップデートモジュールの作成

事前に移出しておいたスキャナ設定情報を、Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールとして利用できます。

Scanner Central Admin Agent がインストールされているコンピュータで、スキャナ設定情報を移出します。

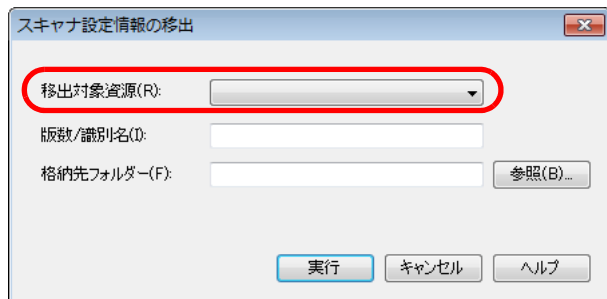
- 1** 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Agent」 → 「Scanner Central Admin Agent の設定」を選択します。
⇒ 「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。

- 2** 「スキャナ設定情報」の [移出] ボタンを押します。



⇒ 「スキャナ設定情報の移出」画面が表示されます。

3 「移出対象資源」で、移出する設定情報を選択します。



4 版数 / 識別名、格納先フォルダーを設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

5 [実行] ボタンを押します。
⇒ スキャナ設定情報の移出が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

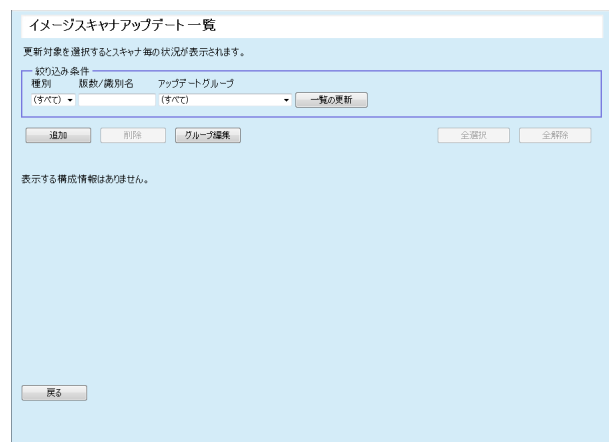
6 [OK] ボタンを押します。
⇒ 「スキャナ設定情報の移出」画面に戻ります。

アップデートモジュールの登録

Scanner Central Admin Console の画面で、Scanner Central Admin Server にアップデートモジュールを登録します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ操作」タブを押します。
⇒ 「スキャナ操作」画面が表示されます。

2 「イメージスキャナアップデート」のリンクを押します。
⇒ 「イメージスキャナアップデート一覧」画面が表示されます。



- 3 [追加] ボタンを押します。
⇒「イメージスキャナアップデート登録」画面が表示されます。

- 4 [参照] ボタンを押して、イメージスキャナアップデートモジュールのファイルを指定します。

重要

1G バイトを超えるアップデートモジュールは登録できません。

- 5 [アップロード] ボタンを押して、指定したイメージスキャナアップデートモジュールをアップロードします。

- 6 「対象アップデートグループ」の [選択] ボタンを押して、イメージスキャナアップデートの対象とする設定グループを選択します。

重要

1つの設定グループに対して登録できるのは、1種別につき1アップデートモジュールとなります。

ヒント

スキャナに設定するアップデートグループを一括して変更できません。詳細は、「[グループの編集](#)」(P.99)を参照してください。

- 7 アップデートする時間帯を変更したい場合、「アップデート時間帯制限」の [選択] ボタンを押して、設定を変更してください。

初期値は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面の「ソフトウェアアップデート時間帯制限」で設定した値です。

- 8 [登録] ボタンを押します。

⇒ イメージスキャナアップデートモジュールの登録が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

ヒント

アップデートが複数登録されている場合は、次の優先度順で適用されます。

- 1 ファームウェア
- 2 ドライバ
- 3 添付ソフトウェア
- 4 設定情報
- 5 ユーザーアプリケーション

- 9 [OK] ボタンを押します。

⇒「イメージスキャナアップデート一覧」画面に戻ります。

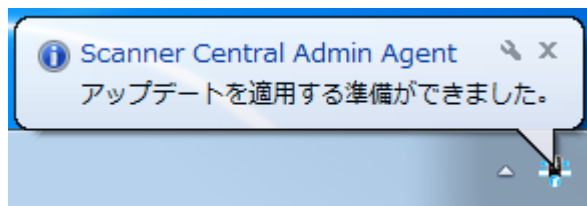
アップデートモジュールの適用

アップデートモジュールが Scanner Central Admin Server に登録されると、次のタイミングでスキャナにアップデートモジュールがダウンロードされます。

- スキャナを接続しているコンピュータにログオンしたとき
- スキャナを接続しているコンピュータの画面右下の通知領域にある Scanner Central Admin Agent アイコンの右クリックメニューから「アップデートの適用」を選択したとき
- Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートの存在を定期的に確認する」チェックボックスをチェックした場合で、「アップデート確認間隔」が経過したとき
- Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートをログオフ中に適用する」チェックボックスをチェックした場合で、スキャナを接続しているコンピュータをログオフしたとき

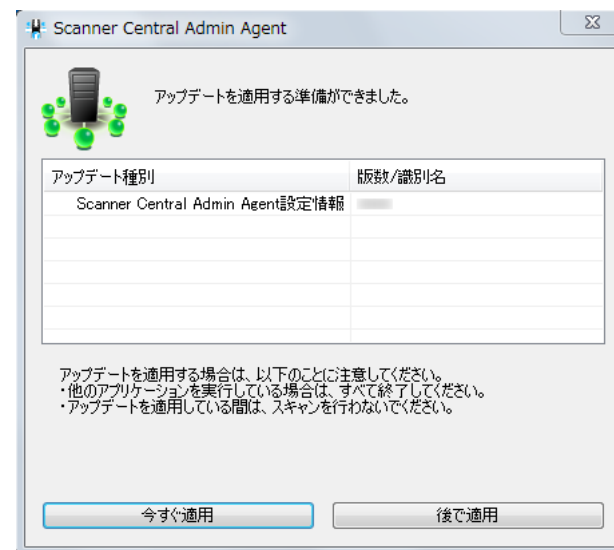
アップデートモジュールを手動で適用するには、次の手順で操作してください。

- 1 アップデートモジュールのダウンロードが完了した場合、画面右下の通知領域にある Scanner Central Admin Agent アイコンを押します。




- ⇒ アップデートモジュールを適用するかどうか確認する画面が表示されます。

- 2 アップデートモジュールを今すぐ適用する場合は、[今すぐ適用] ボタンを押してください。
スキャナを使用中ですぐにアップデートモジュールを適用できない場合は、[後で適用] ボタンを押してください。



アップデート適用中は以下のアイコンが表示されます。

状態アイコン	説明
	アップデートを適用しています。処理中はアイコンが点滅します。
	アップデートの適用を待っています。
	アップデートの適用に成功しました。
	アップデートの適用に失敗しました。

状態 アイコン	説明
	<p>アップデートの適用は不要です。そのままご使用ください。</p> <p>以下の場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 同一版数または新しい版数がすでに適用されている場合 ● 接続されている機種が適用対象外の場合

重要

- ドライバがインストールされていない場合、ファームウェアや Software Operation Panel 設定情報のアップデートモジュールは適用されません。
- 適用するアップデートモジュールが1つの場合、アップデートモジュールを適用中には中止できません。
- 適用するアップデートモジュールが複数ある場合、[中止] ボタンを押すと、適用中のアップデートモジュールが適用されてからアップデートが中止されます。
適用待ちのアップデートモジュールは適用されません。
- ドライバのアップデート完了後は、必ず再起動してください。再起動を行わないとスキャナが認識できない場合があります。
- ファームウェアのアップデートモジュールを適用する場合、Software Operation Panel が起動されていると、「スキャナ装置が接続されていません。」とエラーになることがあります。
画面右下の通知領域に Software Operation Panel のアイコンが表示されている場合は、Software Operation Panel を終了させてからファームウェアのアップデートモジュールを適用してください。
- アップデートをログオフ中に適用する指定の場合、ファームウェアや Software Operation Panel 設定情報のアップデートモジュールは適用されません。
- アップデートモジュールの適用中に、コンピュータをシャットダウンしたり、ログオフしないでください。アップデートモジュールが正しく適用されない場合があります。

適用状況の確認

Scanner Central Admin Console の画面で、アップデートモジュールの適用状況を確認します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ操作」タブを押します。
⇒「スキャナ操作」画面が表示されます。
- 2 「イメージスキャナアップデート」の数字のリンクを押します。
⇒「適用状況」画面が表示されます。
- 3 イメージスキャナアップデートの適用状況を確認します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.11 ネットワークスキャナのアップデート ネットワークスキャナ

ネットワークスキャナのアップデートについて説明します。アップデートモジュールを Scanner Central Admin Server に登録することで、システム、Add-inなどをアップデートできます。

アップデート可能な種別

アップデート可能な種別は、次のとおりです。

種別	説明	新規インストール
システム	スキャナのシステム、セキュリティ、およびオプション機能です。	対象外
Add-in	スキャナにインストールする Add-in です。	可能
システム環境設定情報	スキャナのシステム環境設定の情報です。	対象外
共有ジョブ設定情報	共有ジョブ設定の情報です。	可能

ヒント

ソフトウェアアップデートに必要な時間は、次のように見積もります。

$$\frac{\text{アップデートモジュールサイズ} \times \text{適用対象台数} \times 1.5}{\text{ネットワークのスループット}}$$

例：次の条件の場合、 $\frac{15 \times 40 \times 1.5}{1} = 900$ 秒（15分）となります。

- アップデートモジュールサイズ：15M バイト
- 適用対象台数：40 台
- ネットワークのスループット：8Mbps=1M バイト / 秒

システムのアップデート

Scanner Central Admin Console の画面で、アップデートモジュールの登録、配信通知の設定などを行って、スキャナのシステム、セキュリティ、およびオプション機能をアップデートします。詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

登録したアップデートモジュールはスキャナに対して公開され、次を契機として適用されます。

- スキャナの起動時または省電力モードからの復帰時
- スキャナからのログアウト時
- 配信通知が行われたとき
- スキャナからの自動アップデート要求時

配信通知では、Wake On LAN を使用して、電源が入っていない状態または省電力モードの状態のスキャナへも適用が可能です。

なお、次の場合は、アップデートモジュールを登録できません。

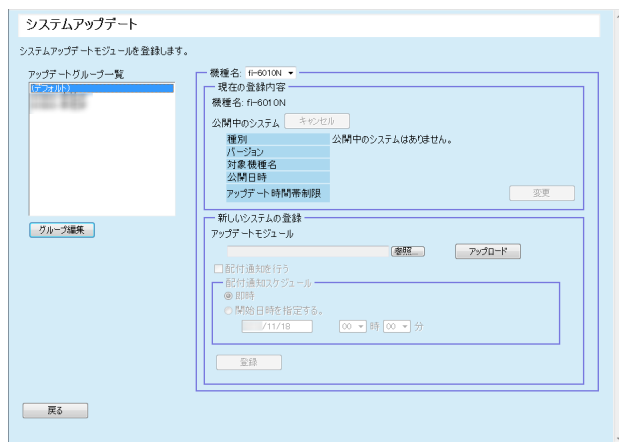
- 種別がシステムまたはセキュリティの場合で、同一または新しいバージョンのモジュールがすでに登録されているとき
- 種別がオプション機能の場合で、同一のモジュールがすでに登録されているとき

ヒント

スキャナ側で指定した時間に、アップデートするように設定できます。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ操作」タブを押します。
⇒「スキャナ操作」画面が表示されます。

- 2 「システムアップデート」のリンクを押します。
⇒「システムアップデート」画面が表示されます。



ヒント

アップデートモジュールの公開を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押してアップデートモジュールを削除します。

- 3 「アップデートグループ一覧」で、新しいアップデートモジュールの登録先となるグループを選択します。
⇒「現在の登録内容」に、現在、公開されているアップデートモジュールの詳細が表示されます。

ヒント

スキャナに設定するアップデートグループを一括して変更できません。詳細は、「グループの編集」(P.99)を参照してください。

- 4 「機種名」を選択します。

- 5 アップデートする時間帯を変更したい場合、「アップデート時間帯制限」の[変更] ボタンを押して、設定を変更してください。

初期値は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面の「ソフトウェアアップデート時間帯制限」で設定した値です。

- 6 [参照] ボタンを押して、登録するアップデートモジュールを指定します。

- 7 [アップロード] ボタンを押して、アップデートモジュールをアップロードします。

- 8 配信通知を行う場合、「配信通知を行う」チェックボックスをチェックします。

配信通知を行うと、スキャナの起動やログアウト操作が行われなくても、配信通知スケジュールに従ってアップデートモジュールがスキャナに適用されます。

なお、ログイン中に配信通知が行われた場合は、ログアウト後に適用されます。また、ほかに更新待ち状態の公開物があれば、それらも同時に適用されます。

- 9 「配信通知スケジュール」で、アップデートモジュールを配信通知するスケジュールを設定します。

重要

配信通知を行う場合は、アップデートの制限時間帯と重ならない時刻を設定してください。

10 [登録] ボタンを押します。

⇒ アップロードしたアップデートモジュールを登録します。

ヒント

配付されたシステムの版数が、現在スキャナにインストールされているシステムのバージョンより大きい場合に新システムがインストールされます。新システムがインストールされた場合、再起動されます。

システムのアップデートモジュールのほかに、Add-in、システム環境設定が登録されている場合は、次の順で実行されます。

- 1 システムアップデート
- 2 Add-in インストール
- 3 システム環境設定の更新

11 [戻る] ボタンを押します。

⇒ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

Add-in のインストール

Scanner Central Admin Console の画面で、インストールモジュールの登録、配付通知の設定などを行って、スキャナの Add-in をインストールします。Add-in は、最大6個までインストールできます。

登録した Add-in のインストールモジュールはスキャナに対して公開され、次を契機として適用されます。

- スキャナの起動時または省電力モードへの移行時
- スキャナからのログアウト時
- 配付通知が行われたとき
- スキャナからの自動アップデート要求時

配付通知を設定すると、Wake On LAN を使用して、電源が入っていない状態または省電力モードの状態のスキャナにも適用が可能となります。

すでにインストールモジュールが公開中の場合、インストールモジュールのファイルは置き換えられます。ただし、インストールモジュールのバージョンが、公開中のものと同じの場合は登録できません。

ヒント

スキャナ側で指定した時間に、アップデートするように設定できます。詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

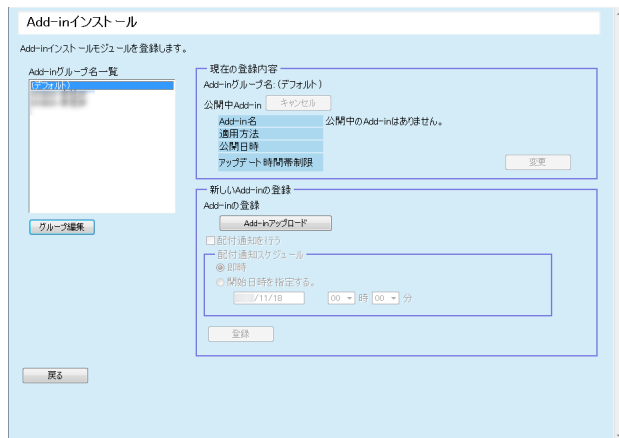
用語集

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ操作」タブを押します。

⇒「スキャナ操作」画面が表示されます。

- 2 「Add-in インストール」のリンクを押します。

⇒「Add-in インストール」画面が表示されます。



ヒント

インストールモジュールの公開を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押してインストールモジュールを削除します。

- 3 「Add-in グループ名一覧」で、新しいインストールモジュールの登録先となるグループを選択します。

⇒「現在の登録内容」に、現在、公開されているインストールモジュールの詳細が表示されます。

ヒント

スキャナに設定する Add-in グループを一括して変更できます。詳細は、「グループの編集」(P.99)を参照してください。

- 4 アップデートする時間帯を変更したい場合、「アップデート時間帯制限」の[変更] ボタンを押して、設定を変更してください。

初期値は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面の「ソフトウェアアップデート時間帯制限」で設定した値です。

- 5 [Add-in アップロード] ボタンを押します。

⇒「Add-in アップロード」画面が表示されます。



ヒント

インストールモジュールの公開を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押してインストールモジュールを削除します。

- 6 スキャナにインストールされている Add-in をすべてアンインストールしてからインストールする場合、「すべてアンインストールしてからインストールする」チェックボックスをチェックします。

- 7 Add-in 名の [参照] ボタンを押して、インストールモジュールのファイルを指定します。

- 8 [アップロード] ボタンを押して、インストールモジュールをアップロードします。

- 9 インストールモジュールに対して、Add-in 設定情報を登録する場合は、Add-in 設定情報名の [参照] ボタンを押して、Add-in 設定情報のファイルを指定します。

ヒント

- Add-in のインストールモジュールが未登録の場合、Add-in 設定情報ファイルは指定できません。
- すでに Add-in 設定情報が登録済みの場合は、[キャンセル] ボタンを押して、Add-in 設定情報を削除してから、新しい Add-in 設定情報を指定してください。

- 10 [アップロード] ボタンを押して、Add-in 設定情報をアップロードします。

- 11 [戻る] ボタンを押します。

⇒ 「Add-in インストール」画面に戻ります。

- 12 配付通知を行う場合、「配付通知を行う」チェックボックスをチェックします。

配付通知を行うと、スキャナの起動やログアウト操作が行われなくても、配付通知スケジュールに従ってインストールモジュールがスキャナに適用されます。

なお、ログイン中に配付通知が行われた場合は、ログアウト後に適用が行われます。また、ほかに更新待ち状態の公開物があれば、それらも同時に適用されます。

- 13 「配付通知スケジュール」で、インストールモジュールを配付通知するスケジュールを設定します。

重要

配付通知を行う場合は、アップデートの制限時間帯と重ならない時刻を設定してください。

- 14 [登録] ボタンを押します。

⇒ アップロードしたインストールモジュールが、選択した Add-in グループに登録されます。

ヒント

Add-in は、現在スキャナにインストールされている Add-in 名と Add-in バージョンがすべて一致しない限り、配付された Add-in がインストールされます。

すでに Add-in がインストールされているスキャナの Add-in をアップデートする場合、スキャナは連続して 2 回再起動されます。これは、すでにインストールされている Add-in をアンインストールし、その後、Add-in をアップデートするためです。Add-in のほかに、システムのアップデートモジュール、システム環境設定が登録されている場合は、次の順で実行されます。

- 1 システムアップデート
- 2 Add-in インストール
- 3 システム環境設定の更新

- 15 [戻る] ボタンを押します。

⇒ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

システム環境設定の更新

Scanner Central Admin Console の画面で、システム環境設定の登録、配信通知の設定などを行って、スキヤナのシステム環境設定を更新します。

詳細は、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。

登録したシステム環境設定はスキヤナに対して公開され、次を契機として適用されます。

- スキヤナの起動時または省電力モードへの移行時
- スキヤナからのログアウト時
- 配信通知が行われたとき
- スキヤナからの自動アップデート要求時

配信通知を設定すると、Wake On LAN を使用して、電源が入っていない状態または省電力モードの状態のスキヤナにも適用が可能となります。

ログイン中に配信通知が行われた場合は、ログアウト後に適用が行われます。

すでにシステム環境設定が公開中の場合、システム環境設定は置き換えられます。

ヒント

スキヤナ側で指定した時間に、アップデートするように設定できます。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキヤナ操作」タブを押します。
⇒「スキヤナ操作」画面が表示されます。

2 「システム環境設定」のリンクを押します。
⇒「システム環境設定」画面が表示されます。



ヒント

システム環境設定の公開を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押してシステム環境設定を削除します。システム環境設定をキャンセルすると、設定内容の確認や修正ができなくなります。また、共有ジョブ設定のジョブ設定編集画面で、ネットワーク共有プリンターおよびネットワーク共有フォルダーの設定内容を編集・参照できなくなります。

3 「設定グループ名一覧」で、新しいシステム環境設定の登録先となる設定グループを選択します。
⇒「現在の登録内容」に、現在、公開されているシステム環境設定の公開日時が表示されます。

ヒント

スキヤナに設定する設定グループを一括して変更できます。詳細は、「グループの編集」(P.99) を参照してください。

4 「機種名」を選択します。

5 [システム環境設定編集] ボタンを押します。

重要

[システム環境設定編集] ボタンを押したときに、画面が正しく表示されない場合があります。

この場合、次の対処をしてください。

- 1 Internet Explorer の「ツール」メニュー → 「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「インターネットオプション」画面で「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択して、[サイト] ボタンを押します。
- 3 「信頼済みサイト」画面で、Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を追加します。
- 4 「全般」タブの [削除] ボタンを押して、一時ファイルや履歴を削除します。
- 5 Scanner Central Admin Console を再起動します。

6 スキャナの設定をします。

詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

- [閉じる] ボタン

入力したスキャナの設定を登録して「システム環境設定」画面に戻ります。

7 配付通知を行う場合、「配付通知を行う」チェックボックスをチェックします。

配付通知を行うと、スキャナの起動やログアウト操作が行われなくても、配付通知スケジュールに従ってシステム環境設定がスキャナに適用されます。

なお、ログイン中に配付通知が行われた場合は、ログアウト後に適用されます。また、ほかに更新待ち状態の公開物があれば、それらも同時に適用されます。

8 「配付通知スケジュール」で、システム環境設定を配付通知するスケジュールを設定します。

9 [登録] ボタンを押します。

⇒ 入力したシステム環境設定が、選択した設定グループに登録されます。

ヒント

ネットワーク共有プリンター、ネットワーク共有フォルダーは、すべての定義を削除したあと、公開されたシステム環境設定に従って設定されます。

公開されたシステム環境設定がいったん適用されると、その後、スキャナ側で個別に変更した設定はそのまま有効になります。Scanner Central Admin Server で新しいシステム環境設定が公開されるまで、システム環境設定が上書き適用されることはありません。

システム環境設定のほかに、システムのアップデートモジュール、Add-in が登録されている場合は、次の順で実行されます。

- 1 システムアップデート
- 2 Add-in インストール
- 3 システム環境設定の更新

10 [戻る] ボタンを押します。

⇒ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

共有ジョブの設定

Scanner Central Admin Console の画面で、共有ジョブの登録、公開の設定などを行って、ジョブを設定します。すでに共有ジョブ設定が公開中の場合、共有ジョブ設定は置き換えられます。詳細は、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキヤナ操作」タブを押します。
⇒ 「スキヤナ操作」画面が表示されます。
- 2 「共有ジョブ設定」のリンクを押します。
⇒ 「共有ジョブ設定」画面が表示されます。



ヒント

共有ジョブ設定の公開、または共有ジョブ設定の公開予定を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押して共有ジョブを削除します。なお、公開中の共有ジョブ設定をキャンセルしても、すでにスキヤナに送付されたジョブ設定は無効にはなりません。スキヤナで共有ジョブ設定を使用しないようにする場合は、ジョブ設定共有を「無効」に設定してください。

- 3 新しい共有ジョブ設定を登録する場合、[ジョブ設定編集] ボタンを押します。
⇒ ジョブ設定編集画面が表示されます。

重要

[ジョブ設定編集] ボタンを押したときに、画面が正しく表示されない場合があります。この場合、次の対処をしてください。

- 1 Internet Explorer の「ツール」メニュー → 「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「インターネットオプション」画面で「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択して、[サイト] ボタンを押します。
- 3 「信頼済みサイト」画面で、Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を追加します。
- 4 「全般」タブの [削除] ボタンを押して、一時ファイルや履歴を削除します。
- 5 Scanner Central Admin Console を再起動します。

- 4 ジョブを設定します。
前回最後に編集した内容が編集対象となります。
- 5 「公開スケジュール」で、共有ジョブ設定を公開するスケジュールを設定します。
- 6 [登録] ボタンを押します。
⇒ 入力した共有ジョブ設定が登録されます。
- 7 [戻る] ボタンを押します。
⇒ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

適用状況の確認

Scanner Central Admin Console の画面で、次の処理種別の適用状況を確認します。

- システムアップデート
- Add-in インストール
- システム環境設定

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ操作」タブを押します。

⇒ 「スキャナ操作」画面が表示されます。

2 「適用状況」の「更新対象」の数字のリンクを押します。

⇒ 処理種別に応じた「適用状況」画面が表示されます。

3 適用状況を確認します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.12 スキャナの監視

スキャナの監視について説明します。

Scanner Central Admin Server で管理しているスキャナの登録状態、稼働状況、イベント一覧を監視することで、消耗品交換が必要なスキャナ、エラーが発生しているスキャナなどに迅速に対応できます。

スキャナの稼働状況が更新されるタイミングは、次のとおりです。

- イメージスキャナの場合
 - スキャナを接続しているコンピュータへのログオン時、ログオフ時、シャットダウン時
 - スキャナのケーブル抜き差し時
 - スキャナの電源操作時
 - アップデート処理完了時
 - 12時/24時のタイミング
 - Software Operation Panel でのスキャナ設定変更時またはカウンタークリア時
 - Scanner Central Admin Agent の設定画面での設定変更時
- ネットワークスキャナの場合
 - スキャナへのログイン時またはログアウト時
 - スキャナの起動時または省電力モードからの復帰時
 - スキャナの電源切断時または省電力モードへの移行時

スキャナの各種状態の監視

Scanner Central Admin Console の画面で、管理しているスキャナの登録状況、各管理操作の処理状態、およびイベント情報を監視します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ操作」タブを押します。
⇒「スキャナ操作」画面が表示されます。
- 2 各種状態を監視します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

スキャナの稼働状況の監視

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナの稼働状況を監視します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「稼働状況」タブを押します。
⇒「スキャナ稼働状況」画面が表示されます。
- 2 稼働状況を監視します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

統計情報の参照

Scanner Central Admin Console の画面で、スキヤナの統計情報を参照できます。

統計情報として収集される情報は、次のとおりです。

- ADF での総読み取り枚数
- フラットベッドでの総読み取り枚数

指定した期間および絞り込み条件の統計情報を参照できます。

統計情報が更新されるタイミングは、スキヤナの稼働状況が更新されるタイミングと同じです。更新されるタイミングについては、「3.12 スキヤナの監視」(P.78)を参照してください。

ヒント

- 参照できる統計情報は、操作当日の前日から 365 日前までの情報です。操作当日の統計情報は参照できません。
- 「スキヤナ一覧」画面でスキヤナを削除しても統計情報は削除されません。過去の集計期間内に読み取りした実績のあるスキヤナの統計情報が表示されます。

■ 統計情報の参照

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「統計情報」タブを押します。

⇒ 「統計情報」画面が表示されます。

統計情報一覧		ADF(枚)	フラットベッド(枚)					
合計(枚)	61,386	30,952	30,434					
名前	機種名	シリアル番号	グループ名	合計(枚)	ADF(枚)	フラットベッド(枚)	説明	状態
				1,388	644	724		管理中
				1,643	916	727		管理中
				1,437	625	812		管理中
				1,669	827	842		管理中
				1,674	908	771		管理中
				1,650	827	823		管理中
				1,461	797	664		管理中
				1,456	701	755		管理中
				1,404	757	647		管理中
				1,760	791	969		管理中
				1,435	790	645		管理中
				1,280	680	590		管理中
				1,734	810	924		管理中
				1,458	783	676		管理中
				1,775	770	1,005		管理中
				1,517	688	827		管理中

2 「集計期間」の「開始」日付および「終了」日付を指定します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

3 「絞り込み条件」を指定します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

4 [一覧の更新] ボタンを押します。

⇒ 指定した期間および絞り込み条件の統計情報が表示されます。

5 統計情報を参照します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

■統計情報のエクスポート

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「統計情報」タブを押します。
⇒「統計情報」画面が表示されます。
- 2 「集計期間」の「開始」日付および「終了」日付を指定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。
- 3 「絞り込み条件」を指定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。
- 4 [一覧の更新] ボタンを押します。
⇒ 指定した期間および絞り込み条件の統計情報が表示されます。
- 5 [エクスポート] ボタンを押します。
⇒ 統計情報をエクスポートするかどうかの確認画面が表示されます。
- 6 [OK] ボタンを押します。
⇒「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
- 7 [保存] ボタンを押します。
⇒「名前を付けて保存」画面が表示されます。
- 8 エクスポート先を指定します。
- 9 [保存] ボタンを押します。
⇒ 指定先に統計情報ファイルが出力されます。
エクスポートした統計情報ファイルの形式については、「[統計情報ファイルの形式](#)」(P.157)を参照してください。

イベント一覧の参照

スキャナの Scanner Central Admin Server の設定を行うことで、スキャナで発生したイベントを監視できます。Scanner Central Admin Console の画面では、スキャナで発生したイベントや Scanner Central Admin Server の処理イベントの結果をイベント一覧で参照できます。

■イベント一覧の参照

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「イベント一覧」タブを押します。
⇒「イベント一覧」画面が表示されます。
- 2 イベント一覧を監視します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

■ イベント一覧のエクスポート

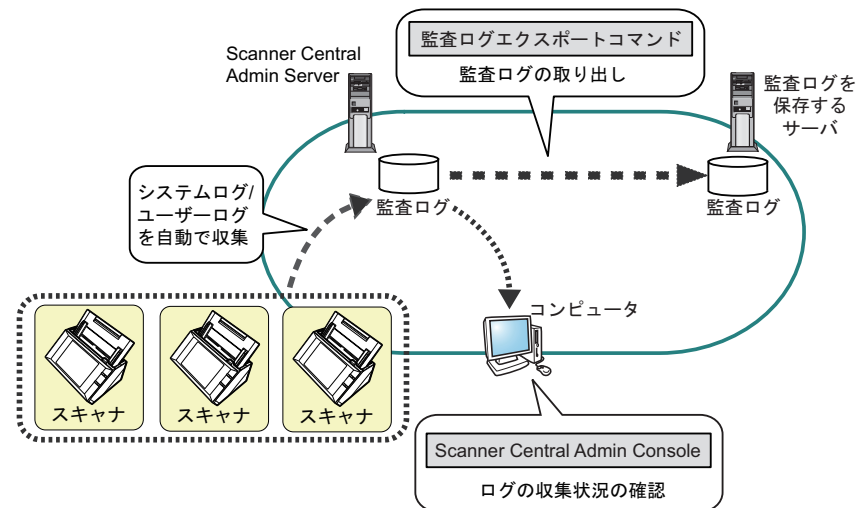
- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「イベント一覧」タブを押します。
⇒ 「イベント一覧」画面が表示されます。
- 2 [エクスポート] ボタンを押します。
⇒ イベントログをエクスポートするかどうかの確認画面が表示されます。
- 3 [OK] ボタンを押します。
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
- 4 [保存] ボタンを押します。
⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
- 5 エクスポート先を指定します。
- 6 [保存] ボタンを押します。
⇒ 指定先にイベントログファイルが出力されます。
エクスポートしたイベントログファイルの形式については、「[イベントログファイルの形式](#)」(P.156) を参照してください。

■ すべてのイベントを削除

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「イベント一覧」タブを押します。
⇒ 「イベント一覧」画面が表示されます。
- 2 [クリア] ボタンを押します。
⇒ イベントを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 3 [OK] ボタンを押します。
⇒ イベントがすべて削除されます。

監査ログの収集 / 取り出し ネットワーク スキャナ

ネットワークスキャナのシステムログおよびユーザーログを、Scanner Central Admin Server に収集して保存できます。なお、Scanner Central Admin Server に収集したシステムログは「監査ログ (システム)」、ユーザーログは「監査ログ (ユーザー)」と呼びます。また、両者を指すときは「監査ログ」と呼びます。システムログおよびユーザーログを Scanner Central Admin Server に自動で収集することで、利用者の操作履歴を漏れなく記録できます。監査ログを参照するためには、Scanner Central Admin Server に収集した監査ログを、監査ログ取り出しコマンドを利用して任意のフォルダーに取り出します。なお、監査ログの収集状況の確認は、Scanner Central Admin Console の「スキャナ詳細情報」画面で確認できます。



監査ログの収集

監査ログを Scanner Central Admin Server へ自動で収集するには、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（ネットワークスキャナ設定）」画面で、監査ログを取得するように設定します。

重要

監査ログは Scanner Central Admin Server で収集された日付単位で管理されます。Scanner Central Admin Server の時刻を変えて、日付を戻さないでください。

ヒント

監査ログを取得すると、監査ログを格納するためのディスク領域が必要になります。ディスク領域は、次を参考に見積もってください。

次の条件で使用した場合、1日1台あたり 25K バイトとなります。
電源投入 / 切断 1 回、ログイン / ログオフ 20 回、
スキャン回数 100 回

監査ログの取り出し

Scanner Central Admin Server に収集した監査ログの取り出しは、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピュータのコマンドプロンプトで「AmExportLog.exe」を実行して行います。

- コマンド格納先

```
Scanner Central Admin Server のインストールフォル  
ダー ¥AmManager¥Bin フォルダ配下
```

- コマンド実行形式

```
AmExportLog -d 監査ログの出力先フォルダ名 [-v]
```

斜体は可変文字列です。

-v は処理の状態を表示する場合に指定します。

ヒント

指定した監査ログの出力先フォルダには、AuditLogs フォルダが作成されます。その AuditLogs フォルダに、日付ごとのフォルダが作成され、監査ログが保存されます。なお、日付ごとのフォルダ名は、Scanner Central Admin Server にログが収集された日付になります。このため、スキャナ側の発生日付と異なる場合があります。

- 出力された監査ログのファイル名の形式
(監査ログ (システム) の場合)

```
スキャナ名_MAC アドレス_syslog.csv
```

- 出力された監査ログのファイル名の形式
(監査ログ (ユーザー) の場合)

```
スキャナ名_MAC アドレス_usrlog.csv
```

- 復帰値

- 0
正常終了
- 0 以外
異常終了

重要

- コマンドを実行して処理中のときに、再度コマンドを実行しないでください。
- 同一ファイルが指定したフォルダーにすでに存在した場合、上書きして保存されます。
- 取り出された監査ログは、Scanner Central Admin Server から削除されます。
- 取り出し中にエラーが発生した場合、すでに取り出しが完了した監査ログは、Scanner Central Admin Server から削除されます。

監査ログのファイル形式

監査ログのファイル形式について説明します。

- ファイルの文字コードは UTF-8 です。
- CSV 形式です。
- 監査ログに出力される内容は、次のとおりです。

- 監査ログ（システム）

次の形式で各項目が出力されます。

" 通し番号 "," 日付 "," 時刻 "," 種別 "," コード "," メッセージ "

各項目の内容は次のとおりです。

項目名	説明
通し番号	0 ~ 4294967295 の通し番号です。 通し番号は 1 から順に付加されます。 4294967295 を超えると 0 になります。
日付	システムログの日付に該当します。
時刻	システムログの時刻に該当します。
種別	システムログの種別に該当します。
コード	システムログのコードに該当します。
メッセージ	システムログのメッセージに該当します。

システムログの参照方法については、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。

- 監査ログ（ユーザー）

次の形式で各項目が出力されます。

" 通し番号 "," 日付 "," 時刻 "," ユーザー名 "," コード "," 操作 "," 状態 "," ページ "," 詳細情報 "

各項目の内容は次のとおりです。

項目名	説明
通し番号	0 ~ 4294967295 の通し番号です。 通し番号は 1 から順に付加されます。 4294967295 を超えると 0 になります。
日付	ユーザーログの日付に該当します。
時刻	ユーザーログの時刻に該当します。
ユーザー名	ユーザーログのユーザー名に該当します。
コード	ユーザーログのコードに該当します。
操作	ユーザーログの操作に該当します。
状態	ユーザーログの状態に該当します。
ページ	ユーザーログのページに該当します。
詳細情報	ユーザーログの詳細情報に該当します。

ユーザーログの参照方法については、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。

3.13 スキャナの管理

スキャナの管理について説明します。

スキャナ構成情報の追加 / 変更 / 削除や、スキャナの詳細情報（スキャナの機種名、システム / ファームウェア / ドライバの版数など）の確認を行うことで、スキャナを管理できます。

スキャナ構成情報にはグループを設定できるため、スキャナを部門単位などでグループ分けして、部門ごとにアップデートすることもできます。

「スキャナ構成情報」とは、スキャナから Scanner Central Admin Server への登録処理を行うときに、Scanner Central Admin Server 側でスキャナを特定するための情報です。

スキャナを登録すると、Scanner Central Admin Server の各管理機能が利用できるようになります。

初期値では、スキャナから登録すると、自動的にスキャナ構成情報が追加されます。

また、事前にスキャナ構成情報を追加しておかないと、スキャナを登録できないようにすることもできます。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

スキャナの情報

Scanner Central Admin Server が管理するスキャナの情報は、次のとおりです。

スキャナの情報が更新されるタイミングは、スキャナの稼働状況が更新されるタイミングと同じです。更新されるタイミングについては、「[3.12 スキャナの監視](#)」(P.78) を参照してください。

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
管理 ID (*1)	スキャナを接続しているコンピュータまたはスキャナを特定する管理 ID。ネットワークスキャナの場合は MAC アドレス	○	○	○	○
名前	スキャナを接続しているコンピュータまたはスキャナの名前	○	○	○	○
スキャナ種別	イメージスキャナまたはネットワークスキャナ	○	○	○	○
機種名	スキャナの機種名。エミュレーションされた状態では、エミュレーションされた機種名	○	○	○	○ (*2)
フラットベッドスキャナの機種名 (*1)	フラットベッドスキャナの機種名	-	○	○ (*3)	-
シリアル番号	スキャナのシリアル番号	○	○ (*4)	-	○ (*2)
オペレーティングシステム	スキャナを接続しているコンピュータのオペレーティングシステムとサービスパック	○	-	-	○
IP アドレス	スキャナを接続しているコンピュータまたはスキャナの IP アドレス	○	○	○	○
サブネットマスク (*1)	スキャナを接続しているコンピュータまたはスキャナのサブネットマスク	○	○	○	○
MAC アドレス	スキャナを接続しているコンピュータまたはスキャナの MAC アドレス	○	○	○	○
説明	説明	○	○	○	-
ユーザー管理項目	「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面の「ユーザー管理項目の編集」で、「ユーザー管理項目」として追加した項目 (最大 10 件まで)	○	○	○	-

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
最終編集日時	スキャナ構成情報が最後に編集された日時	○	○	- (*5)	- (*5)
登録有無 (*1)	スキャナ構成情報を追加し、スキャナから Scanner Central Admin Server へ登録されたかどうか	○	○	- (*5)	- (*5)
適用状態 (*1)	更新適用状態（システムアップデート適用状態、Add-in 適用状態、またはシステム環境設定適用状態の適用状態を合わせたもの）	○	○	- (*5)	- (*5)
フラットベッドスキャナ シリアル番号	フラットベッドスキャナのシリアル番号（ネットワークスキャナではフラットベッドオプションが有効な場合に表示される）	-	○ (*4)	-	○ (*2)
ポート番号	スキャナのポート番号	-	○	○	○
HTTPS 使用有無	スキャナへの通信で HTTPS を使用するかどうか	-	○	○	○
稼働状態	スキャナの稼働状態	○	○	-	○
エラー有無	スキャナでエラーが発生したかどうか	○	○	-	-
スキャナ情報通知日時	最後にスキャナ情報が収集された日時	○	○	- (*5)	- (*5)
使用開始日	スキャナの使用開始日	○	○	-	○ (*2)
接続インターフェース種別	スキャナを接続しているコンピュータの接続インターフェース種別	○	-	-	○ (*2)
実機種名	スキャナの実機種名（エミュレーションされた場合に表示される）	○	-	-	○ (*2)
ADF 総読み取り枚数（枚）	スキャナの ADF 総読み取り枚数	○	○	-	○ (*2)
フラットベッドスキャナ 総読み取り枚数（枚）	スキャナのフラットベッドスキャナ総読み取り枚数（ネットワークスキャナではフラットベッドオプションが有効な場合に表示される）	○	○	-	○ (*2)
パッドユニット（枚）	パッドユニット使用枚数	○	○ (*7)	-	○ (*2)
パッドユニット状態	パッドユニット使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○ (*7)	-	○ (*2)
パッドユニットしきい値	パッドユニット状態のしきい値を表す数値	○	○ (*4)	-	○

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
パッドユニット 前回カウンタークリア日時	パッドユニットのカウンターが前回クリアされた日時	○	-	-	○
ピックローラユニット (枚)	ピックローラユニット使用枚数	○	○	-	○ (*2)
ピックローラユニット状態	ピックローラユニット使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○	-	○ (*2)
ピックローラユニット しきい値	ピックローラユニット状態のしきい値を表す数	○	○ (*4)	-	○
ピックローラユニット 前回カウンタークリア日時	ピックローラユニットのカウンターが前回クリアされた日時	○	-	-	○
ブレーキローラ (枚)	ブレーキローラ使用枚数	○	○ (*6)	-	○ (*2)
ブレーキローラ状態	ブレーキローラ使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○ (*6)	-	○ (*2)
ブレーキローラしきい値	ブレーキローラ状態のしきい値を表す数値	○	○ (*6)	-	○
ブレーキローラ 前回カウンタークリア日時	ブレーキローラのカウンターが前回クリアされた日時	○	-	-	○
セパレーターローラ (枚)	セパレーターローラ使用枚数	○	-	-	○ (*2)
セパレーターローラ状態	セパレーターローラ使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	-	-	○ (*2)
セパレーターローラしきい 値	セパレーターローラ状態のしきい値を表す数値	○	-	-	○
セパレーターローラ 前回カウンタークリア日時	セパレーターローラのカウンターが前回クリアされた日時	○	-	-	○
プリントカートリッジ	インプリンタのプリントカートリッジのインク残量	○	-	-	○ (*2)
プリントカートリッジ状態	プリントカートリッジのインク残量がしきい値を超えたかを表す数 値	○	-	-	○ (*2)
プリントカートリッジ 前回カウンタークリア日時	プリントカートリッジのカウンターが前回クリアされた日時	○	-	-	○

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
清掃後の読み取り枚数 (枚)	清掃後の読み取り枚数	○	-	-	○ (*2)
清掃後の読み取り枚数状態	清掃後の読み取り枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	-	-	○ (*2)
清掃後の読み取り枚数しき い値	清掃後の読み取り枚数のしきい値を表す数値	○	-	-	○ (*2)
フィードローラ清掃	フィードローラの清掃が必要かを表す数値	○	-	-	○ (*2)
アシストローラ清掃	アシストローラの清掃が必要かを表す数値	○	-	-	○ (*2)
ガラス清掃	ガラスの清掃が必要かを表す数値	○	-	-	○ (*2)
原稿づまり、マルチフィー ド：一日の発生回数 (回)	1日で発生した、原稿づまり、マルチフィードの回数	○	○ (*6)	-	○ (*2)
原稿づまり、マルチフィー ド：一日の発生回数状態	1日で発生した、原稿づまり、マルチフィードの回数がしきい値を 超えたかを表す数値	○	○ (*6)	-	-
原稿づまり、マルチフィー ド：読み取り枚数内の発生 回数 (回)	指定した読み取り枚数の範囲で発生した、原稿づまり、マルチ フィードの回数	○	○ (*6)	-	○ (*2)
原稿づまり、マルチフィー ド：読み取り枚数内の発生 回数状態	指定した読み取り枚数の範囲で発生した、原稿づまり、マルチ フィードの回数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○ (*6)	-	-
フラットベッドスキャナ 使用開始日	フラットベッドスキャナの使用開始日 (ネットワークスキャナでは フラットベッドオプションが有効な場合に表示される)	-	○	-	○
累積稼働時間 (時間)	スキャナの総稼働時間	-	○	-	○
監査ログ最終取得日時	最後に監査ログが収集された日時	-	○	- (*5)	- (*5)
アップデートグループ	適用されるアップデートモジュールを特定するグループの名前。名 前が設定されないスキャナは、「デフォルト」グループに属する	○	○	○	-
設定グループ	適用されるシステム環境設定を特定するグループの名前。名前が設 定されないスキャナは、「デフォルト」グループに属する	-	○	○	-

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
TWAIN ドライバ版数	スキャナを接続しているコンピュータの TWAIN ドライバ版数 (インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートである場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される)	○	-	-	○
TWAIN ドライバ適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの TWAIN ドライバアップデートの適用状態	○	-	-	-
TWAIN ドライバ適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの TWAIN ドライバアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
ISIS ドライバ版数	スキャナを接続しているコンピュータの ISIS ドライバ版数 (インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートである場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される)	○	-	-	○
ISIS ドライバ適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの ISIS ドライバアップデートの適用状態	○	-	-	-
ISIS ドライバ適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの ISIS ドライバアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
Software VRS 版数	スキャナを接続しているコンピュータの Software VRS 版数 (インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートである場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される)	○	-	-	○
Software VRS 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの Software VRS アップデートの適用状態	○	-	-	-
Software VRS 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの Software VRS アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
Hardware VRS 版数	スキャナを接続しているコンピュータの Hardware VRS 版数 (インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートである場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される)	○	-	-	○
Hardware VRS 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの Hardware VRS アップデートの適用状態	○	-	-	-

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
Hardware VRS 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの Hardware VRS アップ デートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
Scanner Control Runtime 版数	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Control Runtime 版数	○	-	-	○
Scanner Control Runtime 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Control Runtime アップデートの適用状態	○	-	-	-
Scanner Control Runtime 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Control Runtime アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
ScandAll PRO 版数	スキャナを接続しているコンピュータの ScandAll PRO 版数	○	-	-	○
ScandAll PRO 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの ScandAll PRO アップデー トの適用状態	○	-	-	-
ScandAll PRO 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの ScandAll PRO アップデー トの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
Scan to Microsoft SharePoint 版数	スキャナを接続しているコンピュータの Scan to Microsoft SharePoint 版数	○	-	-	○
Scan to Microsoft SharePoint 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの Scan to Microsoft SharePoint アップデートの適用状態	○	-	-	-
Scan to Microsoft SharePoint 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの Scan to Microsoft SharePoint アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
Error Recovery Guide 版数	スキャナを接続しているコンピュータの Error Recovery Guide 版 数	○	-	-	○
Error Recovery Guide 適用 状態	スキャナを接続しているコンピュータの Error Recovery Guide アップデートの適用状態	○	-	-	-
Error Recovery Guide 適用 日時	スキャナを接続しているコンピュータの Error Recovery Guide アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
マニュアル版数	スキャナを接続しているコンピュータのマニュアル版数	○	-	-	○

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
マニュアル適用状態	スキャナを接続しているコンピュータのマニュアルアップデートの適用状態	○	-	-	-
マニュアル適用日時	スキャナを接続しているコンピュータのマニュアルアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 版数	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent 版数	○	-	-	○
Scanner Central Admin Agent 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent アップデートの適用状態	○	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
ファームウェア版数	スキャナのファームウェア版数	○	○	-	○ (*2)
ファームウェア適用状態	スキャナのファームウェアアップデートの適用状態	○	-	-	-
ファームウェア適用日時	スキャナのファームウェアアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
ファームウェア (インプリンタ) 版数	インプリンタのファームウェア版数	○	-	-	○ (*2)
ファームウェア (インプリンタ) 適用状態	インプリンタのファームウェアアップデートの適用状態	○	-	-	-
ファームウェア (インプリンタ) 適用日時	インプリンタのファームウェアアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
ユーザーアプリケーション 版数	スキャナを接続しているコンピュータのユーザーアプリケーション 版数	○	-	-	○
ユーザーアプリケーション 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータのユーザーアプリケーション アップデートの適用状態	○	-	-	-
ユーザーアプリケーション 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータのユーザーアプリケーション アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
Software Operation Panel 設定情報版数	スキャナを接続しているコンピュータの Software Operation Panel 設定情報版数	○	-	-	○
Software Operation Panel 設定情報適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの Software Operation Panel 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-
Software Operation Panel 設定情報適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの Software Operation Panel 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
ScandAll PRO 設定情報 版数	スキャナを接続しているコンピュータの ScandAll PRO 設定情報版 数	○	-	-	○
ScandAll PRO 設定情報 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの ScandAll PRO 設定情報 アップデートの適用状態	○	-	-	-
ScandAll PRO 設定情報 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの ScandAll PRO 設定情報 アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報版数	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent 設定情報版数	○	-	-	○
Scanner Central Admin Agent 設定情報適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
PaperStream IP (TWAIN) 版数	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (TWAIN) 版数	○	-	-	○
PaperStream IP (TWAIN) 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (TWAIN) アップデートの適用状態	○	-	-	-
PaperStream IP (TWAIN) 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (TWAIN) アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
PaperStream IP (ISIS) 版 数	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (ISIS) 版数	○	-	-	○

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
PaperStream IP (ISIS) 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (ISIS) アップデートの適用状態	○	-	-	-
PaperStream IP (ISIS) 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (ISIS) アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
ScanSnap Manager for fi Series 版数	スキャナを接続しているコンピュータの ScanSnap Manager for fi Series 版数	○	-	-	○
ScanSnap Manager for fi Series 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの ScanSnap Manager for fi Series アップデートの適用状態	○	-	-	-
ScanSnap Manager for fi Series 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの ScanSnap Manager for fi Series アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
PaperStream Capture 版数	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream Capture 版数	○	-	-	○
PaperStream Capture 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream Capture アップデートの適用状態	○	-	-	-
PaperStream Capture 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream Capture アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
2D Barcode for PaperStream 版数	スキャナを接続しているコンピュータの 2D Barcode for PaperStream 版数	○	-	-	○
2D Barcode for PaperStream 適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの 2D Barcode for PaperStream アップデートの適用状態	○	-	-	-
2D Barcode for PaperStream 適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの 2D Barcode for PaperStream アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
PaperStream IP (TWAIN) 設定情報版数	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (TWAIN) 設定情報版数	○	-	-	○
PaperStream IP (TWAIN) 設定情報適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (TWAIN) 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
PaperStream IP (TWAIN) 設定情報適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (TWAIN) 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
PaperStream IP (ISIS) 設定情報版数	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (ISIS) 設定情報版数	○	-	-	○
PaperStream IP (ISIS) 設定情報適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (ISIS) 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-
PaperStream IP (ISIS) 設定情報適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream IP (ISIS) 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
PaperStream Capture 設定情報版数	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream Capture 設定情報版数	○	-	-	○
PaperStream Capture 設定情報適用状態	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream Capture 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-
PaperStream Capture 設定情報適用日時	スキャナを接続しているコンピュータの PaperStream Capture 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-
システム版数	スキャナのシステム版数	-	○	-	○
セキュリティアップデート版数	セキュリティアップデートの版数	-	○	-	○
オプション機能	適用されているオプション機能の一覧	-	○	-	○
システムアップデート適用状態	システムアップデートの適用状態	-	○	- (*5)	- (*5)
フラットベッドスキャナファームウェア版数	フラットベッドスキャナのファームウェア版数 (ネットワークスキャナではフラットベッドオプションが有効な場合に表示される)	-	○	-	○
システムアップデート適用日時	システムアップデートの適用完了通知を受け取った日時	-	○	- (*5)	- (*5)
Add-in グループ	適用される Add-in インストールモジュールを特定するグループの名前。名前が設定されないスキャナは、「デフォルト」グループに属する	-	○	○	-

項目	説明	イメージ スキャナ	ネットワー クスキャナ	スキャナ 構成情報	スキャナから 登録する情報
Add-in 版数	スキャナの Add-in インストールモジュールの版数	-	○	-	○
Add-in 適用状態	スキャナの Add-in の適用状態	-	○	- (*5)	- (*5)
Add-in インストール適用 日時	スキャナの Add-in インストールの適用完了通知を受け取った日時	-	○	- (*5)	- (*5)
Add-in 設定情報適用日時	スキャナの Add-in 設定情報の適用完了通知を受け取った日時	-	○	- (*5)	- (*5)
システム環境設定 (*1)	Scanner Central Admin Server で公開して適用されたシステム環境 設定を識別するための情報	-	○	-	-
システム環境設定適用状態	システム環境設定の適用状態	-	○	- (*5)	- (*5)
システム環境設定適用日時	公開したシステム環境設定の適用完了通知を受け取った日時	-	○	- (*5)	- (*5)

「イメージスキャナ」の列の記号の意味は、次のとおりです。

- ：イメージスキャナの情報です。
- ：イメージスキャナでは対象外の情報です。

「ネットワークスキャナ」の列の記号の意味は、次のとおりです。

- ：ネットワークスキャナの情報です。
- ：ネットワークスキャナでは対象外の情報です。

「スキャナ構成情報」の列の記号の意味は、次のとおりです。

- ：スキャナ構成情報です。
- ：スキャナ構成情報ではありません。追加/編集/インポートはできません。

「スキャナから登録する情報」の列の記号の意味は、次のとおりです。

- ：スキャナから登録される情報です。
- ：スキャナから登録されない情報です。

*1：「スキャナ詳細情報」画面には表示されません。

*2：スキャナを接続していない場合、情報は登録されません。

*3 : 空白が出力されます。

*4 : 機種によっては通知されない場合があります。

*5 : Scanner Central Admin Server で自動的に設定されます。

*6 : N7100 の場合に通知されます。

*7 : N1800 または fi-6010N の場合に通知されます。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要

Scanner Central
Admin の導入

Scanner Central Admin
Server を利用した運用

メール通知を
利用した運用

統合管理システム
と連携した運用

Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

スキャナ構成情報の追加

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナ構成情報を追加します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧」タブを押します。
⇒「スキャナ一覧」画面が表示されます。



- 2 [追加] ボタンを押します。
⇒「スキャナ構成情報編集」画面が表示されます。



- 3 各設定項目を設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。
- 4 [OK] ボタンを押します。
⇒ スキャナ構成情報が登録されます。
「スキャナ一覧」画面の「状態」には「未登録」と表示されます。
- 5 Scanner Central Admin Agent またはネットワークスキャナから登録します。
 - イメージスキャナの場合
Scanner Central Admin Agent から登録すると、正しく登録が完了します。登録方法については、「3.6 事前設定 (Scanner Central Admin Agent)」(P.53) を参照してください。
 - ネットワークスキャナの場合
ネットワークスキャナから登録すると、正しく登録が完了します。登録方法については、「3.7 事前設定 (ネットワークスキャナ)」(P.55) を参照してください。

ヒント

スキャナ構成情報を参照作成する場合は、「スキャナ一覧」画面で、参照作成するスキャナのチェックボックスをチェックして、[参照して追加] ボタンを押して編集してください。

スキャナ構成情報の編集

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナ構成情報を編集します。

スキャナから自動的に登録されたスキャナ構成情報に、グループや説明を設定できます。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧」タブを押します。
⇒ 「スキャナ一覧」画面が表示されます。
- 2 編集するスキャナ名のリンクをクリックします。
⇒ 「スキャナ詳細情報」画面が表示されます。
- 3 [編集] ボタンを押します。
⇒ 「スキャナ構成情報編集」画面が表示されます。
- 4 各設定項目を編集します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。
- 5 [OK] ボタンを押します。
⇒ スキャナ構成情報の内容が変更されます。

スキャナ構成情報の削除

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナ構成情報を削除します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧」タブを押します。
⇒ 「スキャナ一覧」画面が表示されます。
- 2 削除するスキャナのチェックボックスをチェックします。
- 3 [削除] ボタンを押します。
⇒ スキャナ構成情報を削除するかどうかの確認画面が表示されません。
- 4 [OK] ボタンを押します。
⇒ スキャナ構成情報が削除されます。

重要

- スキャナ構成情報を削除しただけでは、スキャナ側の Scanner Central Admin Server の設定は未登録になりません。集中管理をしないように設定を未登録にする場合は、スキャナ側の Scanner Central Admin Server の設定を「無効」にしてください。
- イメージスキャナの場合、Scanner Central Admin Agent 設定情報を配付することで、複数のスキャナの Scanner Central Admin Server への登録状態をまとめて無効にできます。
- ネットワークスキャナの場合、システム環境設定を配付することで、複数のスキャナの Scanner Central Admin Server への登録状態をまとめて無効にできます。
- 再度対象スキャナを集中管理の対象とする場合は、Scanner Central Admin Server に再登録してください。

グループの編集

Scanner Central Admin Console の画面で、管理しているスキャナに対して、グループを追加 / 変更したり、グループからスキャナを外したりします。

■スキャナのグループの追加 / 変更

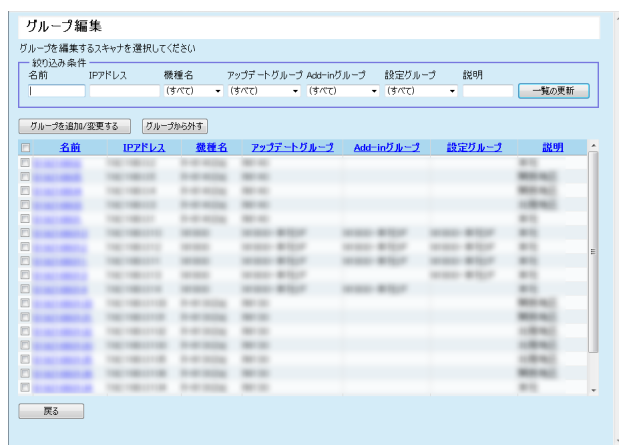
スキャナに以下のグループを一括して追加します。また、スキャナに設定しているグループを一括して変更します。

- アップデートグループ
- Add-in グループ（ネットワークスキャナのみ）
- 設定グループ（ネットワークスキャナのみ）

グループを追加する場合、既存のグループを設定するか、グループを新規作成して設定します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧」タブを押します。
⇒「スキャナ一覧」画面が表示されます。

2 [グループ編集] ボタンを押します。
⇒「グループ編集」画面が表示されます。



3 グループを追加または変更するスキャナのチェックボックスをチェックして、[グループを追加 / 変更する] ボタンを押します。
⇒ グループ名を編集する画面が表示されます。

4 各項目を設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

5 [OK] ボタンを押します。
⇒ スキャナに対して、グループが追加または変更されます。
また、各スキャナ構成情報に設定したグループが登録されます。

■スキャナをグループから外す

スキャナに設定している以下のグループから、スキャナを一括して外します。

- アップデートグループ
- Add-in グループ（ネットワークスキャナのみ）
- 設定グループ（ネットワークスキャナのみ）

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧タブ」を押します。
⇒「スキャナ一覧」画面が表示されます。

2 [グループ編集] ボタンを押します。
⇒「グループ編集」画面が表示されます。

3 グループから外すスキャナのチェックボックスをチェックして、[グループから外す] ボタンを押します。
⇒ グループ名を削除する画面が表示されます。

4 スキャナを外すグループの種別を選択して、[OK] ボタンを押します。
⇒ 選択したグループからスキャナが外されます。
また、各スキャナ構成情報のグループが削除されます。

スキャナ構成情報のエクスポート

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナ構成情報をファイルにエクスポートします。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧」タブを押します。
⇒ 「スキャナ一覧」画面が表示されます。
- 2 [エクスポート] ボタンを押します。
⇒ スキャナ構成情報をエクスポートするかどうかの確認画面が表示されます。
- 3 エクスポートする情報を選択して、[OK] ボタンを押します。
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
- 4 [保存] ボタンを押します。
⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
- 5 エクスポート先を指定します。
- 6 [保存] ボタンを押します。
⇒ 指定先にスキャナ構成情報ファイルが出力されます。
エクスポートしたスキャナ構成情報ファイルの形式については、「スキャナ構成情報ファイルの形式（エクスポートする場合）」(P.146) を参照してください。

スキャナ構成情報のインポート

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナ構成情報ファイルをインポートして、スキャナ構成情報を一括して登録します。

インポートするスキャナ構成情報ファイルの形式については、「スキャナ構成情報ファイルの形式（インポートする場合）」(P.155) を参照してください。

また、管理しているスキャナ構成情報を一括して更新できません。

重要

- スキャナ構成情報以外のスキャナ情報は、インポートできません。
- スキャナ構成情報をインポートしても、スキャナからの登録が完了していない場合は、管理対象となりません。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧」タブを押します。
⇒ 「スキャナ一覧」画面が表示されます。
- 2 [インポート] ボタンを押します。
⇒ 「スキャナ構成情報インポート」画面が表示されます。



3 インポートするスキヤナ構成情報ファイルを指定します。
[参照] ボタンでファイルを指定できます。

4 [インポート] ボタンを押します。
⇒ スキヤナ構成情報ファイルがインポートされ、スキヤナが登録されます。

重要

- 0 件のスキヤナ構成情報ファイルをインポートすると、スキヤナ構成情報がすべて削除されます。
- インポートしたスキヤナ構成情報ファイルにないスキヤナの情報は削除されます。
- 既存のスキヤナ構成情報と同一のMACアドレスまたはスキヤナ名があった場合は、すでに存在するとみなします。同一かどうかの判定は、MACアドレス、スキヤナ名の順序で行われます。この場合、「3.13 スキヤナの管理」(P.84) の表の「スキヤナ構成情報」の列で「○」になっている項目が置き換えられ、「-」になっている項目はそのまま残ります。
- 同一の MAC アドレスまたはスキヤナ名が存在しない場合は、インポートしたスキヤナ構成情報が追加されます。

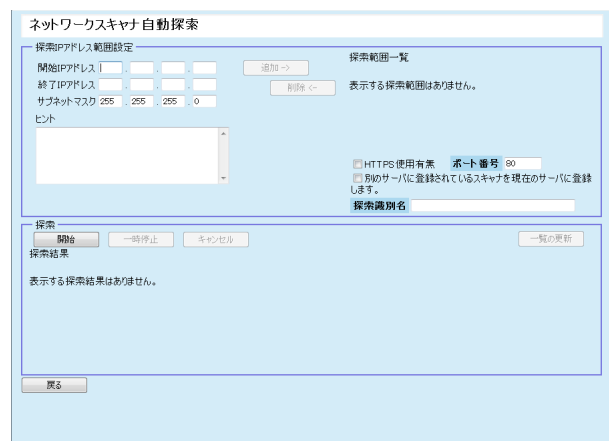
ネットワークスキヤナの自動探索 / 登録 ネットワーク スキヤナ

Scanner Central Admin Console の画面で、指定したネットワーク範囲に存在する未登録のネットワークスキヤナを自動検出して登録します。

また、すでにほかの Scanner Central Admin Server に登録済みのネットワークスキヤナを、探索を実行した Scanner Central Admin Server へ強制的に登録できます。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキヤナ一覧」タブを押します。
⇒ 「スキヤナ一覧」画面が表示されます。

2 [ネットワークスキヤナ自動探索] ボタンを押します。
⇒ 「ネットワークスキヤナ自動探索」画面が表示されます。



3 探索するネットワーク範囲とサブネットマスクを指定します。

- 4 [追加 ->] ボタンを押します。
⇒「探索範囲一覧」に、指定したネットワーク範囲が表示されます。

ヒント

探索するネットワーク範囲として指定した IP アドレスが「探索範囲一覧」に追加されなかった場合、正しく「探索範囲一覧」に追加するための情報がヒントに表示されます。

- 5 「探索範囲一覧」から、探索するネットワーク範囲のチェックボックスをチェックします。

- 6 スキャナへの探索要求を試みる HTTP 通信の「ポート番号」を設定します。HTTP/HTTPS 種別を切り替える場合は、「HTTPS 使用有無」チェックボックスをチェックします。

ヒント

「ポート番号」と「HTTPS 使用有無」チェックボックスの設定は、探索対象となるスキャナの管理者設定にあわせて次のように設定してください。

お使いのスキャナのバージョンによっては、操作が異なる場合があります。詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

- 「ポート番号」
スキャナの「ネットワーク設定」→「ネットワーク管理」→「接続設定」の「ポート番号」に設定されている値と同じ値を設定します。
- 「HTTPS 使用有無」チェックボックス
スキャナの「ネットワーク設定」→「ネットワーク管理」→「接続設定」の「SSL 通信」の設定
 - 有効の場合：チェックボックスをチェックします。
 - 無効の場合：チェックボックスにチェックしません。

- 7 すでにほかの Scanner Central Admin Server に登録済みのスキャナを強制的に登録したい場合は「別のサーバに登録されているスキャナを現在のサーバに登録します。」チェックボックスをチェックします。

- 8 Scanner Central Admin Server に登録対象とするスキャナを限定する場合は、「探索識別名」にスキャナ側で設定されている探索識別名を入力します。

ヒント

- スキャナ側で設定されている探索識別名を「探索識別名」に入力することで、その探索識別名が設定されているスキャナだけを探索します。
- 「探索識別名」の最大文字数は半角 100 文字です。英大文字、英小文字、数字、および記号が使用できます。なお、英大文字と英小文字は区別されます。

- 9 [開始] ボタンを押します。
⇒ 自動探索が開始され、終了すると「探索結果」に結果が表示されます。

- 10** [戻る] ボタンを押します。
⇒ 「スキャナー一覧」画面に戻ります。

ヒント

自動探索で登録されたスキャナは、「スキャナー一覧」画面の説明欄に「Scanner Discovery (自動探索を実施した日付)」が表示されます。

スキャナー一覧に表示する項目の編集

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナー一覧に表示する項目を編集します。

- 1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇒ 「スキャナー一覧」画面が表示されます。
- 2 [表示項目の編集] ボタンを押します。
⇒ 表示項目を選択するための画面が表示されます。
- 3 スキャナー一覧に表示する項目のチェックボックスをチェックします。
- 4 [上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンを押して、項目の表示順を指定します。
- 5 [OK] ボタンを押します。
⇒ 設定した項目がスキャナー一覧に表示されます。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

スキャナ詳細情報の確認

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナの詳細情報を確認します。

スキャナの詳細情報が更新されるタイミングは、スキャナの稼働状況が更新されるタイミングと同じです。更新されるタイミングについては、「[3.12 スキャナの監視](#)」(P.78)を参照してください。

- 1** Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナ一覧」タブを押します。
⇒「スキャナ一覧」画面が表示されます。
- 2** スキャナの詳細情報を参照するスキャナ名のリンクを押します。
⇒「スキャナ詳細情報」画面が表示されます。
- 3** スキャナの詳細情報を確認します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.14 スキャナの保守

Scanner Central Admin Console の画面で、消耗品交換が必要なスキャナ、エラーが発生しているスキャナ、およびメンテナンスが必要なスキャナの存在を確認した場合、スキャナへの対処を行います。

消耗品の交換が必要になった場合

Scanner Central Admin Console の「スキャナ詳細情報」画面で交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。消耗品の交換については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

エラーが発生した場合

Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面でエラーの詳細を確認して、対処します。エラーの対処については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

スキャナのメンテナンスが必要になった場合

Scanner Central Admin Console の「スキャナ詳細情報」画面でメンテナンス情報を確認して、スキャナをメンテナンスします。メンテナンス方法については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

3.15 運用パターン例

運用パターン例について説明します。

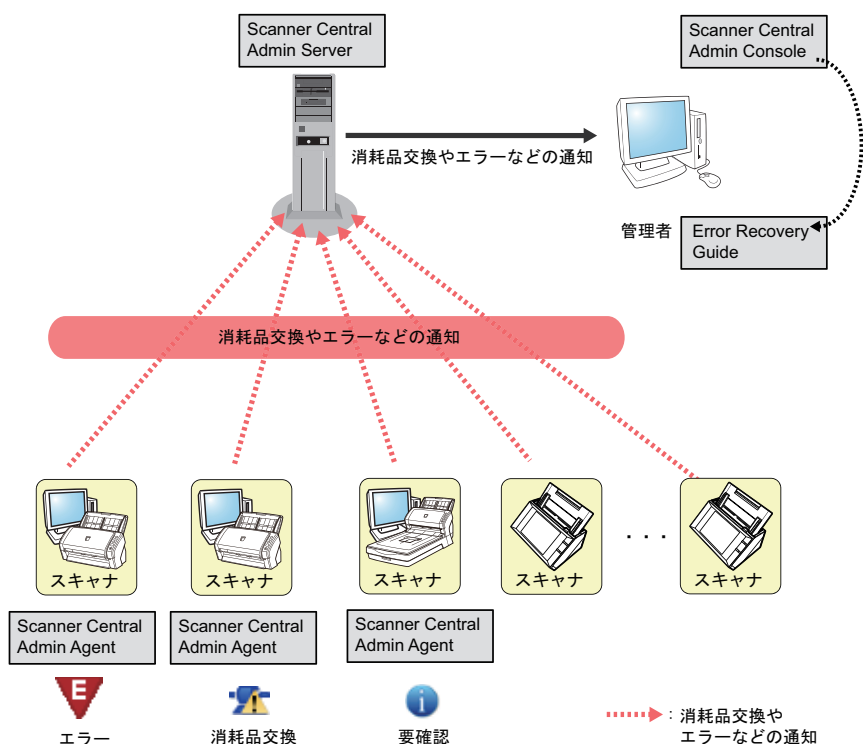
ここでは、次の2つの運用パターン例を紹介します。

- スキャナを監視する運用
- スキャナをアップデートする運用

次に、それぞれの運用パターン例について説明します。

スキャナを監視する運用

スキャナから通知された消耗品交換、エラー、およびメンテナンスが必要な要確認状態を、Scanner Central Admin Console の画面で確認して、スキャナを監視します。



- 1 Scanner Central Admin Console からログインします。Scanner Central Admin Console からのログイン方法については、「3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン」(P.48) を参照してください。
- 2 Scanner Central Admin Console の「スキャナ詳細情報」画面で交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。また、メンテナンス情報を確認して、清掃を行ってください。
- 3 Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面でエラーの詳細を確認して、対処します。イメージスキャナの場合、スキャナに装置エラーが発生すると、[エラー詳細] ボタンが有効になります。[エラー詳細] ボタンを押すと、装置エラーに該当する Error Recovery Guide が表示されるため、内容を確認して対処してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

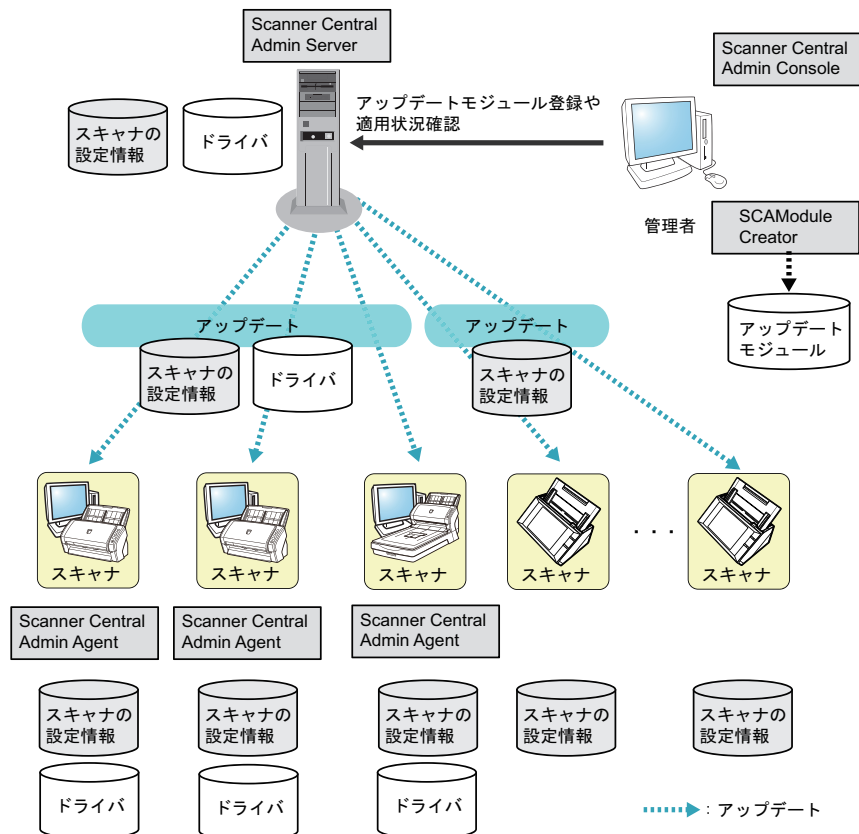
Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

スキャナをアップデートする運用

複数台のスキャナの設定情報やドライバなどを、一括してアップデートします。スキャナのアップデートは、スキャナでの作業をしない夜間などに行うこともできます。



- 1 アップデートモジュールを作成します。
アップデートモジュールの作成方法については、「[アップデートモジュールの作成](#)」(P.60)を参照してください。
- 2 Scanner Central Admin Console からログインします。
Scanner Central Admin Console からのログイン方法については、「[3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン](#)」(P.48)を参照してください。
- 3 動作確認用のスキャナで、アップデートに問題ないことを確認します。
動作確認用のスキャナが属する動作確認用のグループを設定し、手順4～6を参照してアップデートに問題ないことを確認してください。
- 4 Scanner Central Admin Console の次の画面で、Scanner Central Admin Server にアップデートモジュールを登録します。
 - 「イメージスキャナアップデート登録」画面
 - 「システムアップデート」画面
 - 「Add-in インストール」画面
 - 「システム環境設定」画面
 - 「共有ジョブ設定」画面

ヒント

アップデートモジュール適用時の負荷を分散するためには、次のように設定します。

- 設定グループを複数分類する
- 設定グループごとに配付スケジュールを変えて、アップデートモジュールを登録 / 配付する

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

5 アップデートモジュールを適用します。

次のタイミングでスキャナにアップデートモジュールを適用します。

- イメージスキャナの場合
 - スキャナを接続しているコンピュータにログオンしたとき
 - スキャナを接続しているコンピュータの画面右下の通知領域にある Scanner Central Admin Agent アイコンの右クリックメニューから「アップデートの適用」を選択したとき
 - Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートの存在を定期的に確認する」チェックボックスをチェックした場合で、「アップデート確認間隔」が経過したとき
 - Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートをログオフ中に適用する」チェックボックスをチェックした場合で、スキャナを接続しているコンピュータをログオフしたとき
- ネットワークスキャナの場合
 - スキャナの起動時または省電力モードへの移行時
 - スキャナからのログアウト時
 - 配付通知が行われたとき
 - スキャナからの自動アップデート要求時

6 Scanner Central Admin Console の「適用状況」画面で、アップデートモジュールの適用状況を確認します。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

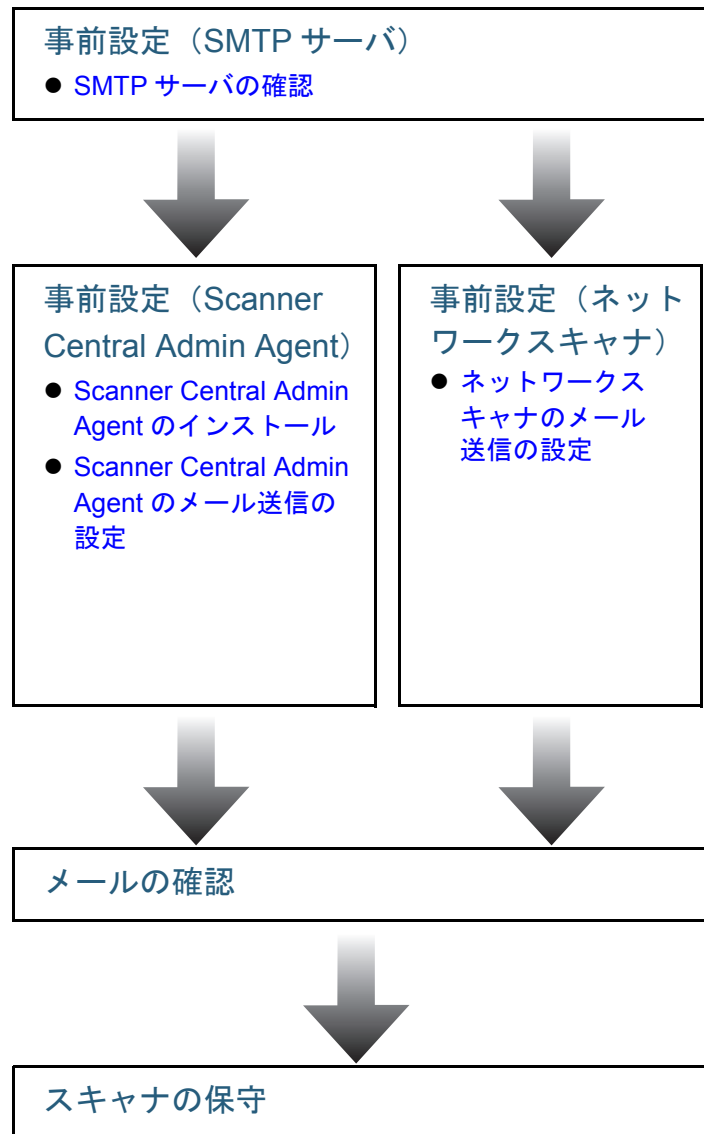
第4章 メール通知を利用した運用

この章では、メール通知を利用した運用について説明します。

4.1 作業の流れ.....	110
4.2 事前設定（SMTP サーバ）.....	111
4.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）.....	112
4.4 事前設定（ネットワークスキャナ）.....	114
4.5 メールの確認.....	115
4.6 スキャナの保守.....	120

4.1 作業の流れ

作業の流れについて説明します。



詳細は、「4.2 事前設定 (SMTP サーバ) (P.111)」を参照してください。

事前設定 (Scanner Central Admin Agent) は、イメージスキャナの場合に必要な設定です。詳細は、「4.3 事前設定 (Scanner Central Admin Agent) (P.112)」を参照してください。

事前設定 (ネットワークスキャナ) は、ネットワークスキャナの場合に必要な設定です。詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

重要

Scanner Central Admin Server を利用した運用を行っている場合は、メールを各スキャナから送るのではなく、Scanner Central Admin Server から異常通知メールを送信する設定ができます。Scanner Central Admin Server から異常通知メールを送信するには、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面で設定してください。

詳細は、「4.5 メールの確認 (P.115)」を参照してください。

詳細は、「4.6 スキャナの保守 (P.120)」を参照してください。

4.2 事前設定（SMTP サーバ）

SMTP サーバの事前設定について説明します。

SMTP サーバの確認

SMTP サーバのアドレス、ポート番号を確認します。
詳細は、システム管理者に確認してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要

Scanner Central
Admin の導入

Scanner Central Admin
Server を利用した運用

メール通知を
利用した運用

統合管理システム
と連携した運用

Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

4.3 事前設定 (Scanner Central Admin Agent) イメージ スキャナ

Scanner Central Admin Agent の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Agent のインストール

Scanner Central Admin Agent は、スキャナを接続しているコンピュータにインストールします。

Scanner Central Admin Agent のインストール方法については、「[2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール](#)」(P.36) を参照してください。

Scanner Central Admin Agent のメール送信の設定

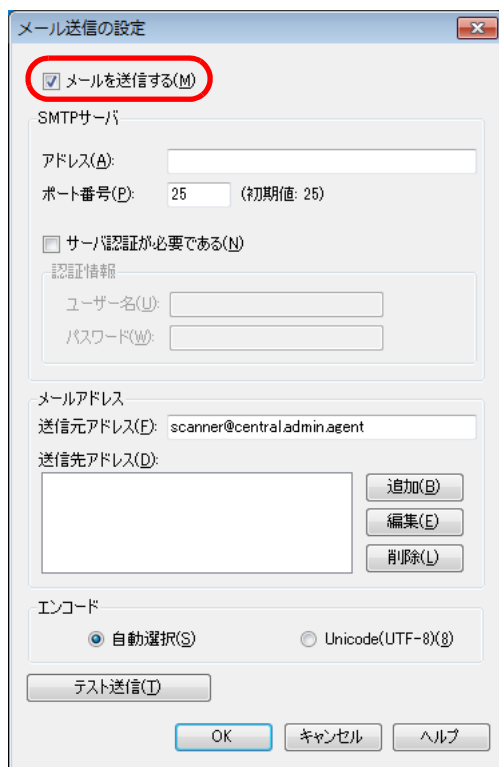
Scanner Central Admin Agent のメール送信の設定をします。スキャナの消耗品交換やエラー、スキャナ情報を、管理者にメール送信できるようになります。

- 1 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Agent」 → 「Scanner Central Admin Agent の設定」 を選択します。
⇒ 「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。
- 2 「メール送信」の [設定] ボタンを押します。



⇒ 「メール送信の設定」画面が表示されます。

- 3 「メールを送信する」チェックボックスをチェックします。



- 4 SMTP サーバ、メールアドレス、エンコードを設定します。

SMTP サーバのアドレス、ポート番号は、「SMTP サーバの確認」(P.111) で確認した値を設定します。

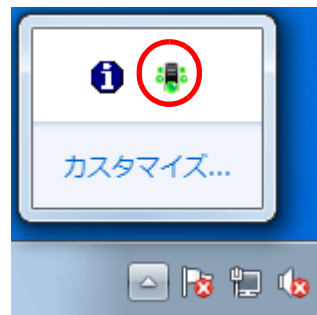
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

- 5 [テスト送信] ボタンを押します。
正しくテストメールが送信されるかを確認します。
テストメールの形式については、「4.5 メールの確認」(P.115) を参照してください。

重要

コンピュータ名に、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) および半角ハイフン (-) 以外の文字が含まれている場合は、メール送信ができません。

- 6 [OK] ボタンを押します。
⇒ 設定を有効にして、「Scanner Central Admin Agent」画面に戻ります。
画面右下の通知領域に Scanner Central Admin Agent アイコンが表示されます。



4.4 事前設定（ネットワークスキャナ）

ネットワーク
スキャナ

ネットワークスキャナの前設定について説明します。

ネットワークスキャナのメール送信の設定

ネットワークスキャナのメール送信の設定をします。
スキャナの消耗品交換やエラーを、管理者にメール送信できるようにします。
詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要

Scanner Central
Admin の導入

Scanner Central Admin
Server を利用した運用

メール通知を
利用した運用

統合管理システム
と連携した運用

Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

4.5 メールの確認

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に送信されるメールを確認します。
メールの形式は、次のとおりです。

件名

Message from Scanner Central Admin Agent (*1) (*2)

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [エラー通知コンピュータ名] からのイベント通知です。(*1)

発生日時	: メッセージ通知日時 (形式: YYYY/MM/DD hh:mm:ss)
発生元	: メッセージ通知したコンピュータ名
IP アドレス	: メッセージ通知したコンピュータの IP アドレス
機種名	: メッセージ通知が発生したスキャナの機種名
シリアル番号	: メッセージ通知が発生したスキャナのシリアル番号
イベント種別	: メッセージのタイプ (*3)
メッセージコード	: メッセージのコード (*4) (*5)
メッセージ	: メッセージの内容 (*4) (*5)

*1: ネットワークスキャナの場合は、「Scanner Central Admin Agent」が各機種に応じた表記となります。

*2: テストメールの場合は、件名の先頭に「[Test]」が付きます。

*3: イベント種別は、次のとおりです。

情報	: 情報の場合
エラー	: エラーの場合
警告	: 警告の場合
- (ハイフン)	: テストメールの場合

*4: メッセージコード、メッセージの詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

*5: テストメールの場合は、常に「- (ハイフン)」となります。

例：イベント種別が情報の場合

件名

Message from Scanner Central Admin Agent

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元 : PC-001
IP アドレス : xxx.xxx.xxx.xxx
機種名 : fi-xxxxx
シリアル番号 : 000660(B1)
イベント種別 : 情報
メッセージコード : 0F080001
メッセージ : スキャナが変更されました。

例：イベント種別がエラーの場合

件名

Message from Scanner Central Admin Agent

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元 : PC-001
IP アドレス : xxx.xxx.xxx.xxx
機種名 : fi-xxxxx
シリアル番号 : 000660(B1)
イベント種別 : エラー
メッセージコード : 8F060001
メッセージ : スキャナで部品交換が必要なエラーを検出しました。[048005, 87 : 駆動系異常]

例：イベント種別が警告の場合

件名

Message from Scanner Central Admin Agent

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元 : PC-001
IP アドレス : xxx.xxx.xxx.xxx
機種名 : fi-xxxxx
シリアル番号 : 000660(B1)
イベント種別 : 警告
メッセージコード : 6F070002
メッセージ : スキャナの消耗品の交換時期が近づいています。消耗品 : ブレーキローラ

例：イベント種別がテストメールの場合

件名

[Test] Message from Scanner Central Admin Agent

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元 : PC-001
IP アドレス : xxx.xxx.xxx.xxx
機種名 : fi-xxxxx
シリアル番号 : 000660(B1)
イベント種別 : -
メッセージコード : -
メッセージ : -

Scanner Central Admin Agent のメール送信で、「送信先メールアドレスの追加 / 編集」画面の「スキャナ情報を定期的に送信する」チェックボックスをチェックした場合に送信されるメールを確認します。
メールの形式は、次のとおりです。

件名

Message from Scanner Central Admin Agent

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [エラー通知コンピュータ名] からのスキャナ情報通知です。

[「送信先メールアドレスの追加 / 編集」画面の「メッセージ」に登録したメッセージ]

情報収集日時	: (形式 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss)
通知元	: メッセージ通知したコンピュータ名
IP アドレス	: メッセージ通知したコンピュータの IP アドレス
機種名	: メッセージ通知が発生したスキャナの機種名
シリアル番号	: メッセージ通知が発生したスキャナのシリアル番号
オペレーティングシステム	: メッセージ通知したコンピュータのオペレーティングシステム
MAC アドレス	: xx:xx:xx:xx:xx:xx
使用開始日	: (形式 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss)
接続インターフェース	: xxxx
総読み取り枚数	: xxx
消耗品情報 (枚) (*1)	: xxx / xxx
消耗品情報 (状態) (*1)	: 正常 / 交換時期間近 / 交換時期を超えた
稼働状態	: ログイン / 停止 / 不明
エラー有無	: なし / あり
インストール済みスキャナ用ソフトウェア	: xxxxxxxx

*1 : お使いのスキャナの各消耗品の情報が表示されます。

例：「スキャナ情報を定期的に送信する」場合

件名

Message from Scanner Central Admin Agent

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのスキャナ情報通知です。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.

情報収集日時 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
通知元 : PC-001
IP アドレス : xxx.xxx.xxx.xxx
機種名 : fi-xxxxx
シリアル番号 : 000660(B1)
オペレーティングシステム : Windows 8 X.X.XXXX XXXXX XXXX
MAC アドレス : xx:xx:xx:xx:xx:xx
使用開始日 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
接続インターフェース : USB2.0
ADF 総読み取り枚数 (枚) : xxx
ピックアップユニット (枚) : xxx / xxx
ピックアップユニット状態 : 交換時期を超えた
ブレーキローラ (枚) : xxx / xxx
ブレーキローラ状態 : 正常
稼働状態 : ログイン
エラー有無 : なし
TWAIN ドライバ : XXXXXXXXX
Scanner Central Admin Agent : X.XX.XXXX.XX
ファームウェア : XXXX

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

4.6 スキャナの保守

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に送信されるメールの内容に応じて、スキャナへの対処を行います。

消耗品の交換が必要になった場合

メールの内容から交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。

消耗品の交換については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

エラーが発生した場合

メールの内容からエラーの詳細を確認して、対処します。

エラーの対処については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

第 5 章 統合管理システムと連携した運用

この章では、統合管理システムと連携した運用について説明します。

5.1 作業の流れ.....	122
5.2 事前設定（統合管理システム）.....	123
5.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）.....	125
5.4 事前設定（ネットワークスキャナ）.....	127
5.5 SNMP トラップの確認.....	128
5.6 スキャナの保守.....	130

5.1 作業の流れ

作業の流れについて説明します。

事前設定（統合管理システム）

- 統合管理システム（SNMP マネージャー）の設定
- 統合管理システム（SNMP マネージャー）の確認
- 統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するための設定

詳細は、「5.2 事前設定（統合管理システム）」（P.123）を参照してください。

事前設定（Scanner Central Admin Agent）

- Scanner Central Admin Agent のインストール
- Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定

イメージスキャナの場合に必要な設定です。
詳細は、「5.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）」（P.125）を参照してください。

事前設定（ネットワークスキャナ）

- ネットワークスキャナの SNMP 連携の設定

ネットワークスキャナの場合に必要な設定です。
詳細は、「5.4 事前設定（ネットワークスキャナ）」（P.127）を参照してください。

SNMP トラップの確認

詳細は、「5.5 SNMP トラップの確認」（P.128）を参照してください。

スキャナの保守

詳細は、「5.6 スキャナの保守」（P.130）を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

5.2 事前設定（統合管理システム）

統合管理システムの事前設定について説明します。

統合管理システム（SNMP マネージャー）の設定

SNMP トラップを受け取る SNMP マネージャーを有効にします。

SNMP トラップで使用するポート番号は「UDP/162」のため、統合管理システム側のネットワークで SNMP トラップを受信できるように設定してください。

詳細は、統合管理システムのマニュアルを参照してください。

統合管理システム（SNMP マネージャー）の確認

SNMP マネージャーが動作する統合管理システムのアドレス、コミュニティ名を確認します。

詳細は、統合管理システムのマニュアルを参照してください。

統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するための設定

統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動して、スキャナの消耗品交換やエラー、スキャナ情報を確認できるようにします。

統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するには、ScannerCentralAdminConsole.exe コマンドを統合管理システムに登録します。

詳細は、統合管理システムのマニュアルを参照してください。

登録するコマンドの実行形式は、次のとおりです。

- コマンド格納先

```
Scanner Central Admin Console のインストールフォルダー %AmConsole%\Console 配下
```

- コマンド実行形式

```
ScannerCentralAdminConsole.exe -h {ホスト名またはIP アドレス} -p {ポート番号} [-https] -i {スキャナのIP アドレス}
```

斜体は可変文字列です。

-h には、接続先の Scanner Central Admin Server のホスト名または IP アドレスを指定します。省略できません。

-p には、接続先の Scanner Central Admin Server に接続するときのポート番号を指定します。省略できません。

-https は、接続先の Scanner Central Admin Server の接続プロトコルが HTTPS の場合にだけ指定します。省略できます。

-i には、スキャナ詳細情報画面を表示したいスキャナの IP アドレスを指定します。省略できません。

ヒント

次のように指定して、ScannerCentralAdminConsole.exe を実行する場合の例を示します。

IP アドレス : 192.168.1.1

ポート番号 : 10444

スキャナの IP アドレス : 192.168.1.100

```
ScannerCentralAdminConsole.exe -h 192.168.1.1 -p 10444  
-i 192.168.1.100
```

統合管理システムに登録した Scanner Central Admin Console を実行すると、接続先の Scanner Central Admin Server のログイン画面が表示されます。

Scanner Central Admin Server にログインしたあとは、表示したいスキャナの状態に応じた画面が表示されます。

- スキャナでエラーが発生している場合
「イベント一覧」画面が表示されます。
- スキャナでエラーが発生していない場合
「スキャナ詳細情報」画面が表示されます。

ヒント

- Scanner Central Admin Console を統合管理システムに登録するときに指定した Scanner Central Admin Server に接続できない場合は、接続先入力画面が表示されます。指定した Scanner Central Admin Server 情報に誤りがないかご確認ください。
- 統合管理システムに Scanner Central Admin Console を登録するときに指定した IP アドレスを持つスキャナが、Scanner Central Admin Server に登録されていない場合は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面で指定した初期画面が表示されます。指定した IP アドレスに誤りがないかご確認ください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

5.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）

Scanner Central Admin Agent の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Agent のインストール

Scanner Central Admin Agent は、スキャナを接続しているコンピュータにインストールします。

Scanner Central Admin Agent のインストール方法については、「[2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール](#)」(P.36) を参照してください。

Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定

Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定をします。

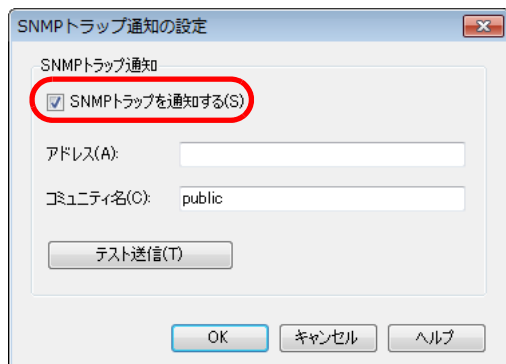
スキャナの消耗品交換やエラーを、統合管理システムに SNMP トラップで通知できるようになります。

- 1 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Central Admin Agent」 → 「Scanner Central Admin Agent の設定」を選択します。
⇒ 「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。
- 2 「SNMP トラップ通知」の「設定」ボタンを押します。



⇒ 「SNMP トラップ通知の設定」画面が表示されます。

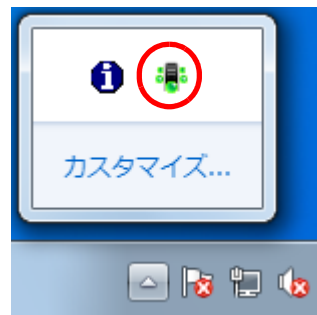
- 3 「SNMP トラップを通知する」チェックボックスをチェックします。



- 4 アドレス、コミュニティ名を設定します。
 アドレス、コミュニティ名は、「[統合管理システム \(SNMP マネージャ\) の確認](#)」(P.123) で確認した値を設定します。
 各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

- 5 [テスト送信] ボタンを押します。
 正しく SNMP トラップが通知されるかを確認します。
 SNMP トラップの形式については、「[5.5 SNMP トラップの確認](#)」(P.128) を参照してください。

- 6 [OK] ボタンを押します。
 ⇨ 設定を有効にして、「Scanner Central Admin Agent」画面に戻ります。
 画面右下の通知領域に Scanner Central Admin Agent アイコンが表示されます。



5.4 事前設定（ネットワークスキャナ）

ネットワークスキャナの前設定について説明します。

ネットワークスキャナの SNMP 連携の設定

ネットワークスキャナの SNMP 連携の設定をします。

詳細は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

5.5 SNMP トラップの確認

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に通知される SNMP トラップを確認します。

Scanner Central Admin では、トラップのバージョンは SNMPv1、コミュニティ名は初期値として public（設定により変更可能）、Generic Trap Type は enterpriseSpecific(6)、Specific Trap Type は 0 のトラップとして通知します。

SNMP トラップの OID は、次のとおりです。

```
1.3.6.1.4.1.18886.1.2.1
```

SNMP トラップの形式は、次のとおりです。

```
発生日時,発生元,IP アドレス,機種名,シリアル番号,イベント種別,メッセージコード,メッセージ
```

発生日時	:メッセージ通知日時（形式：MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM または PM）
発生元	:メッセージ通知したコンピュータ名
IP アドレス	:メッセージ通知したコンピュータの IP アドレス
機種名	:メッセージ通知が発生したスキャナの機種名
シリアル番号	:メッセージ通知が発生したスキャナのシリアル番号
イベント種別	:メッセージのタイプ (*1)
メッセージコード	:メッセージのコード (*2) (*3)
メッセージ	:メッセージの内容 (*2) (*4)

*1：イベント種別は、次のとおりです。

Information	: 情報の場合
Error	: エラーの場合
Warning	: 警告の場合
Test	: テスト送信の場合

*2：メッセージコード、メッセージの詳細は、「付 .11 SNMP トラップで通知するメッセージコード」（P.172）を参照してください。

なお、メッセージは英語で表示されるため、メッセージの内容を確認して、対処してください。

*3：テスト送信の場合は、「0F090000」となります。

*4：テスト送信の場合は、「This is a test message from Scanner Central Admin Agent.」となります。

例：イベント種別が情報の場合

MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Information,0F080001,Scanner was changed.

例：イベント種別がエラーの場合

MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Error,8F060001,Scanner Parts replacement notification was detected.
[048005, 00:Background changeover unit failure]

例：イベント種別が警告の場合

MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Warning,6F070002,Scanner consumable needs to be replaced soon.
Consumable Parts:Brake Roller

例：イベント種別がテスト送信の場合

MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Test,0F090000,This is a test message from Scanner Central Admin Agent.

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

5.6 スキャナの保守

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に送信される SNMP トラップの内容に応じて、スキャナへの対処を行います。

消耗品の交換が必要になった場合

SNMP トラップの内容から交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。

消耗品の交換については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

エラーが発生した場合

SNMP トラップの内容からエラーの詳細を確認して、対処します。

エラーの対処については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

第 6 章 Scanner Central Admin の保守

この章では、Scanner Central Admin の保守について説明します。

6.1 Scanner Central Admin Server の保守	132
6.2 Scanner Central Admin Agent の保守	135
6.3 SCAModuleCreator の保守情報の採取	137
6.4 ネットワークスキャナの保守	138

6.1 Scanner Central Admin Server の保守

Scanner Central Admin Server の保守について説明します。管理者が設定した Scanner Central Admin Server に関する情報を退避、復元したり、保守情報として採取できます。

重要

監査ログは Scanner Central Admin Server に関する情報に含まれないため、退避および復元はされません。

Scanner Central Admin Server に関する情報の退避

Scanner Central Admin Server が管理しているデータ（監査ログを除く）をすべて退避します。

退避ファイルを使って Scanner Central Admin Server に関する情報を復元できます。万が一に備え、定期的に退避を行ってください。

Scanner Central Admin Server に関する情報の退避は、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピュータのコマンドプロンプトで「AmBackup.exe」を実行して行います。

なお、情報の退避中は、Scanner Central Admin Server の機能は一時的に停止し、Scanner Central Admin Console からの接続や、共有ユーザー情報のアップロード・ダウンロード、スキャナへの更新適用ができなくなります。また、「スキャナ稼働状況」画面のスキャナの稼働状況はすべて「不明」になります。

- コマンド格納先

Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー ¥AmManager¥Bin フォルダ配下

- コマンド実行形式

AmBackup.exe バックアップフォルダー名

斜体は可変文字列です。

- 復帰値

- 0
正常終了
- 0 以外
異常終了

重要

- バックアップフォルダ配下には、ファイルおよびサブフォルダを含まない空のフォルダを指定してください。指定したバックアップフォルダが存在しない場合、作成されます。
- バックアップフォルダ配下は変更しないでください。変更した場合、正しく復元できなくなります。
- Scanner Central Admin Server に関する情報の退避ファイルは、内容を変更しないでください。退避ファイルの内容を変更して復元した場合は、Scanner Central Admin Server に関する処理が正常に動作しなくなる可能性があります。
- Scanner Central Admin Server をアンインストールすると、インストールフォルダ配下のファイルはすべて削除されます。アンインストールする前にバックアップフォルダ配下をインストールフォルダ配下以外の場所に退避してください。

ヒント

保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから「AmBackup.exe」コマンドを実行してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。必要となる空き容量の目安は、インストールフォルダの Data フォルダ配下の容量の2倍です。

Scanner Central Admin Server に関する情報の復元

退避した Scanner Central Admin Server に関する情報を Scanner Central Admin Server に戻して、Scanner Central Admin Server に関する情報を復元します。

Scanner Central Admin Server に関する情報の復元は、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピュータのコマンドプロンプトで「AmRestore.exe」を実行して行います。

- コマンド格納先

```
Scanner Central Admin Server のインストールフォルダ
¥AmManager¥Bin フォルダ配下
```

- コマンド実行形式

```
AmRestore.exe バックアップフォルダ名
```

斜体は可変文字列です。

- 復帰値

- 0
正常終了
- 0 以外
異常終了

重要

- 「AmRestore.exe」コマンドは、必ず Scanner Central Admin Server のインストールフォルダの Bin フォルダをカレントディレクトリにして実行してください。
- 退避元の Scanner Central Admin Server と復元先の Scanner Central Admin Server の言語環境は同じにしてください。Scanner Central Admin Server に関する情報を退避元と異なる言語環境に復元した場合、Scanner Central Admin Server は正しく動作しません。

ヒント

- 「AmBackup.exe」コマンド、「AmRestore.exe」コマンドでは、管理者パスワードは退避・復元の対象ではありません。「AmRestore.exe」コマンドを実行しても管理者パスワードはコマンド実行前と変わりません。
- Windows Server 2008 以降で、スキャナや Scanner Central Admin Console との通信に HTTPS を使用する場合、復元先の Scanner Central Admin Server でも HTTPS 通信のための設定が別途必要となる場合があります。設定方法については、「[証明書インポート \(HTTPS の場合\)](#)」(P.44) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

Scanner Central Admin Server の保守情報の採取

Scanner Central Admin Server の導入や運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、Scanner Central Admin Server が保持している保守情報を採取できます。

保守情報の採取は、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピュータのコマンドプロンプトで「AmlInvestigate.exe」を実行して行います。

なお、保守情報の採取中は、Scanner Central Admin Server の機能は一時的に停止します。サポートで保守情報の採取を指示されたり、トラブルが発生したとき以外は、保守情報を採取しないでください。

- コマンド格納先

```
Scanner Central Admin Server のインストールフォル  
ダー ¥AmManager¥Bin フォルダ配下
```

- コマンド実行形式

```
AmlInvestigate.exe -d 出力先フォルダ名 [-p 暗号化パスワード]  
[-v]
```

斜体は可変文字列です。

-v は処理の状態を表示する場合に指定します。

- 復帰値

- 0

正常終了

- 0 以外

異常終了

保守情報は、情報の種別ごとに分けて指定した出力先フォルダに出力されます。暗号化パスワードを指定すると、保守情報は暗号化されます。

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[Scanner Central Admin の概要](#)[Scanner Central Admin の導入](#)[Scanner Central Admin Server を利用した運用](#)[メール通知を利用した運用](#)[統合管理システムと連携した運用](#)[Scanner Central Admin の保守](#)[付録](#)[用語集](#)

6.2 Scanner Central Admin Agent の保守 イメージ スキャナ

Scanner Central Admin Agent の保守について説明します。Scanner Central Admin Agent をアップデートしたり、Scanner Central Admin Agent の保守情報を採取したりできません。

Scanner Central Admin Agent のアップデート

Scanner Central Admin Agent のアップデートモジュールを、Scanner Central Admin Server に登録することで、スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent を一括でアップデートできます。

また、事前に移出しておいた Scanner Central Admin Agent 設定情報を、アップデートモジュールとして Scanner Central Admin Server に登録することで、スキャナを接続しているコンピュータの Scanner Central Admin Agent の設定を一括で行います。

詳細は、「[3.10 イメージスキャナのアップデート](#)」(P.59) を参照してください。

Scanner Central Admin Agent の保守情報の採取

Scanner Central Admin Agent の導入や運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、Scanner Central Admin Agent が保持している保守情報を採取できます。

保守情報の採取は、「filInfoCorect.exe」または「CollectAgentInfo.exe」で採取します。

- 「filInfoCorect.exe」で採取する場合
「filInfoCorect.exe」コマンドを実行します。画面に表示される手順に従って保守情報を採取します。

- コマンド格納先

- 32 ビットオペレーティングシステムの場合

```
%ProgramFiles%\%fiScanner%\filInfoCollect\filInfoCollect.exe
```

- 64 ビットオペレーティングシステムの場合

```
%ProgramFiles(x86)%\%fiScanner%\filInfoCollect\filInfoCollect.exe
```

- 「CollectAgentInfo.exe」で採取する場合
Scanner Central Admin Agent をインストールしたコンピュータで「CollectAgentInfo.exe」を実行します。

コマンドを実行すると、Windows のデスクトップに Scanner Central Admin Agent の保守情報として「AgentInfo.cab」が出力されます。

- コマンド格納先

```
Scanner Central Admin Agent のインストールフォルダー配下
```

- コマンド

```
CollectAgentInfo.exe
```

重要

- コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログオンしてください。
- 「filInfoCorect.exe」はドライバと同時にインストールされます。「filInfoCorect.exe」がコンピュータにインストールされていない場合は、「CollectAgentInfo.exe」で保守情報を採取してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

6.3 SCAModuleCreator の保守情報の採取 イメージ スキャナ

SCAModuleCreator の保守について説明します。

SCAModuleCreator の運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、SCAModuleCreator が保持している保守情報を採取できます。

保守情報の採取は、Scanner Central Admin Console をインストールしたコンピュータで

「SCAModuleCreatorCollectLog.exe」を実行して行います。

コマンドを実行すると、Windows のデスクトップに

SCAModuleCreator の保守情報として

「SCAModuleCreatorInfo_ 取得した月日時分秒 .cab」が出力されます。

- コマンド格納先

Scanner Central Admin Console のインストールフォルダ
ダー ¥AmConsole¥Console 配下

- コマンド

SCAModuleCreatorCollectLog.exe

重要

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログオンしてください。

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[Scanner Central Admin の概要](#)[Scanner Central Admin の導入](#)[Scanner Central Admin Server を利用した運用](#)[メール通知を利用した運用](#)[統合管理システムと連携した運用](#)[Scanner Central Admin の保守](#)[付録](#)[用語集](#)

6.4 ネットワークスキャナの保守 ネットワーク スキャナ

ネットワークスキャナの保守については、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

付録

ここでは、次の情報について説明します。

付 .1 メッセージ一覧	140
付 .2 外部入出力ファイルの形式	146
付 .3 異なる Scanner Central Admin Server への移行手順	158
付 .4 退避・復元	159
付 .5 ネットワークスキャナとイメージスキャナの機能比較	161
付 .6 Scanner Central Admin のバージョンアップ	163
付 .7 アプリケーションのアンインストール	166
付 .8 任意のファイルのアップデート手順	168
付 .9 Scanner Central Admin のアプリケーション構成	170
付 .10 Scanner Central Admin Server の接続可否	171
付 .11 SNMP トラップで通知するメッセージコード	172

付 .1 メッセージ一覧

集中管理するための操作を行っているときに表示されるメッセージの一覧を示します。

Windows Server のイベントログのメッセージ (Scanner Central Admin Server)

Windows Server のイベント一覧に表示されます。

- ログの種類 : アプリケーション
- イベントソース : Scanner Central Admin Server

コード	メッセージ	対処
11001	Scanner Central Admin Server が起動しました。	対処の必要はありません。
11002	Scanner Central Admin Server が停止しました。	
11901	サービスが正常に開始しました。	
11902	サービスが正常に停止しました。	不要なスキナ構成情報を削除してください。
12001	設定値が不正なので、デフォルト値を使用します。 設定 : XXXX 不正値 : XXXX デフォルト値 : XXXX	
12002	制限値を超えてスキナ登録をしようとした。	
12003	ユーザー情報が制限値を超えました。	不要なユーザー情報を削除してください。

コード	メッセージ	対処
12902	スケジュールの通知に失敗しました。リトライを行います。(XXXX)	対処の必要はありません。
13001	エラーが発生しました。 種別 : エラー種別 詳細 : エラー詳細	エラー詳細およびほかのイベントログを確認してください。
13002	実行環境が不正なため処理を続行できません。詳細 : エラー詳細	
13003	データベースアクセスに失敗しました。詳細 : エラー詳細	データベースの稼働状況を確認してください。
13004	スケジュール登録に失敗しました。詳細 : エラー詳細	サービス「Scanner Central Admin Server」を再起動してください。
13005	管理コンソールとの接続方法の変更に失敗しました。詳細 : エラー詳細	
13901	スケジューラーの起動に失敗しました。(XXXX)	
13902	スケジュールの通知に失敗しました。(XXXX)	IIS マネージャーで Web サイトの稼働状況を確認してください。Scanner Central Admin Server のオペレーティングシステムが Windows Server の場合は、Web サイト「AmService」とアプリケーションプール「AmService」の稼働状況を確認してください。

コード	メッセージ	対処
13903	スケジュール XXXX は、有効期限が切れたので削除しました。[XXXX] 件	配信予定日時から 7 日以上経過したスケジュールが削除されました。スキャナへの更新適用状況を確認し、必要に応じて「更新待ち」状態のスキャナに対して配信通知を行ってください。
13904	内部エラーが発生しました。(XXXX)	サービス「Scanner Central Admin Server」を再起動してください。

退避・復元コマンドのメッセージ (Scanner Central Admin Server)

退避・復元コマンドのメッセージには次の 2 種類があります。

- 情報
- エラー

退避・復元コマンドのメッセージはコマンドプロンプトに表示されます。

■情報

コード	メッセージ	対処
0A040001	バックアップを開始します。	対処の必要はありません。
0A040002	バックアップを終了します。	
0A040003	リストアを開始します。	
0A040004	リストアを終了します。	

■エラー

コード	メッセージ	対処
7A040010	Scanner Central Admin Server がインストールされていません。	Scanner Central Admin Server がインストールされていないコンピュータで実行してください。
7A040011	バックアップフォルダが指定されていません。	退避コマンドおよび復元コマンドのパラメーターにバックアップフォルダ名が指定されていません。バックアップフォルダ名を指定して、再度実行してください。

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

コード	メッセージ	対処
7A040012	バックアップフォルダが存在しません。	退避コマンドで指定したバックアップフォルダ名を指定して、再度実行してください。 または、指定したバックアップフォルダの読み込み権限を確認してください。
7A040013	バックアップフォルダの内容が正しくありません。	復元コマンドのパラメーターに指定したバックアップフォルダの内容が、Scanner Central Admin Server のバックアップフォルダではないか、またはバックアップフォルダ内の構成が正しくありません。Scanner Central Admin Server のバックアップフォルダを指定して、再度実行してください。
7A040014	すでにバックアップファイルが存在します。	バックアップフォルダにファイルまたはフォルダが存在しています。空のフォルダを指定してください。存在しないフォルダが指定された場合は、フォルダが作成されます。
7A040015	バックアップフォルダの指定が正しくありません。	次の場合、このエラーメッセージが出力されますので、確認後再度コマンドを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 退避コマンドのパラメーターに指定したバックアップフォルダに書き込み権限がない場合 ● 指定したバックアップフォルダがファイルとしてすでに存在している場合 ● バックアップフォルダのフルパスが 128 バイトを超えた場合

コード	メッセージ	対処
7A040016	サーバが動作中です。しばらくしてからやり直してください。	Scanner Central Admin Server で配信通知を開始してから配信通知を完了するまでの間に、退避・復元コマンドを実行した場合に、このメッセージが出力されず。配信通知完了後に再度コマンドを実行してください。
7A040017	バックアップに失敗しました。	補助コード「7A041012」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コード「7A041015」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、Scanner Central Admin Server で使用しているデータベースファイルを、Scanner Central Admin Server 以外の機能で参照している可能性があります。参照するのを中止し、再度コマンドを実行してください。 補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。 . . . 異常内容の詳細NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。 上記以外の補助コードが付加された本メッセージが頻繁に出力するようであれば、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

コード	メッセージ	対処
7A040018	リストアに失敗しました。	<p>補助コード「7A041013」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。</p> <p>補助コード「7A041008」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、復元先のフォルダーに使用中のファイルがある可能性があります。使用中ではないかどうかを確認し、再度コマンドを実行してください。</p> <p>補助コード「7A041015」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、Scanner Central Admin Server で使用しているデータベースファイルを、Scanner Central Admin Server 以外の機能で参照している可能性があります。参照するのを中止し、再度コマンドを実行してください。</p> <p>補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。</p> <p>．．． 異常内容の詳細 ．．．</p> <p>.NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。</p> <p>上記以外の補助コードが付加された本メッセージが頻繁に出力するようであれば、本製品を購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。</p>

コード	メッセージ	対処
7A040019	バックアップまたはリストアが既に動作中です。	動作中のバックアップまたはリストアが完了後に、再実行してください。
7A040020	ポート番号 (XXXX) が既に使用されています。	ポート番号 (XXXX) は、すでにほかのアプリケーションで使用されています。XXXX を使用しているアプリケーションの設定を変更し、再度リストアを実行してください。
7A040021	バックアップフォルダが空ではありません。	バックアップフォルダーにファイルまたはフォルダーが存在しています。空のフォルダーを指定してください。存在しないフォルダーが指定された場合は、フォルダーが作成されます。
7A040023	バックアップファイルのバージョンがリストア対象外です。	旧バージョンの Scanner Central Admin Server の AmBackup.exe コマンドで退避したバックアップデータは、新バージョンの Scanner Central Admin Server の AmRestore.exe コマンドで復元できません。お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照して、再度退避を実行してください。

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

監査ログの取り出しコマンドのメッセージ

(Scanner Central Admin Server) ネットワーク
スキャナ

コード	メッセージ	対処
7A050010	Scanner Central Admin Server がインストールされていません。 詳細エラーメッセージ： XXXXXXXXXXXX	Scanner Central Admin Server が正しくインストールされているか確認してください。 また、コンピュータの管理者権限で実行しているか確認してください。
7A050012	監査ログの取り出しに失敗しました。 詳細エラーコード： XXXXXXXXXXXX 詳細エラーメッセージ： XXXXXXXXXXXX	<p>詳細エラーメッセージの内容も参照して、次のどれかの対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取り出し先フォルダーのディスク空き容量を確認してください。 ● 取り出し先フォルダーの指定に誤りがないか確認してください。 ● 取り出し先フォルダー、取り出し元フォルダー、ファイルに書き込み権限があることを確認してください。 ● 取り出し先に、書き込み権限がない同名のファイルが存在していないか確認してください。 ● 取り出しに失敗したファイルがほかのアプリケーションで使用されていないか確認してください。

コード	メッセージ	対処
7A050014	コマンドはすでに動作中です。	動作中のコマンドが完了後に、再実行してください。
7A050015	内部異常が発生しました。 詳細エラーメッセージ： XXXXXXXXXXXX	予期せぬエラーが発生しました。 本製品を購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。
7A050016	指定したフォルダパス長が最大長を超えました。	コマンドラインで指定したコピー先フォルダーのパスの長さが 180 バイトを超えています。パスの長が 180 バイトを超えないように、コピー先フォルダーのパスを指定してください。

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

Scanner Central Admin Console 画面のメッセージ (Scanner Central Admin Console)

機能名	メッセージ	対処
接続画面	正しいポート番号が入力されているか確認してください。	正しいポート番号を入力してください。
	正しい接続先が入力されているか確認してください。	正しい接続先を入力してください。
	通信エラーが発生しました。	接続先、ポート番号を正しく入力し、再度実行してください。
Scanner Central Admin Console	Admin Tool の起動に失敗しました。Admin Tool がインストールされているか確認してください。	Admin Tool が正しくインストールされているか確認してください。詳細は、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。
Scanner Central Admin Message	画面の表示に失敗しました。Scanner Central Admin Console を再起動してください。	Scanner Central Admin Console を再起動してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

付 .2 外部入出力ファイルの形式

次の外部入出力ファイルの形式について説明します。

- スキャナ構成情報ファイル
- イベントログファイル
- 統計情報ファイル

スキャナ構成情報ファイルの形式

スキャナ構成情報ファイルの形式について、次の場合に分けて説明します。

- エクスポートする場合
- インポートする場合

■スキャナ構成情報ファイルの形式（エクスポートする場合）

エクスポートする場合のスキャナ構成情報ファイルの形式について説明します。

- ファイル名の初期値は「scannerinfo.csv」です。
- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の設定値に従います。初期値はシフト JIS（Shift_JIS）です。
- ファイルのエクスポート時に、ファイルの 1 行目には、タイトル行が出力されます。
- CSV 形式です。
各項目の内容は、次のとおりです。
なお、旧バージョンと項目の順番は異なります。

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
管理 ID	10 文字または 26 文字の文字列	○	○

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX (X は英数字)	○	○
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値)	○	○
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値)	○	○
名前	-	○	○
ポート番号	1 ~ 65535 までの 数字	-	○
HTTPS 使用有無	0 : HTTPS 使用しない 1 : HTTPS 使用する	-	○
機種名	-	○	○
アップデートグループ	任意の文字列	○	○
Add-in グループ	任意の文字列	-	○
設定グループ	任意の文字列	-	○
説明	任意の文字列	○	○

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
スキャナ種別	0: ネットワーク スキャナ 1: イメージス キャナ	○	○
実機種名	-	○	-
ユーザー管理項目 (*1)	-	○	○
OS 名	-	○	-
フラットベッドス キャナ機種名 (*2) (*3)	-	-	○ (*4)
シリアル番号 (*2)	-	○	○
フラットベッドス キャナシリアル番 号 (*2) (*3)	-	-	○ (*4)
装置接続インタ フェース (*2)	数字	○	-
スキャナ情報通知 日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○
使用開始日 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○
フラットベッドス キャナ使用開始日 (*2) (*3)	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	○
累積稼働時間 (*2)	数字	-	○

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
最終編集日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○
監査ログ最終取得 日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	○
登録有無 (*2)	0: 未登録 1: 登録済み	○	○
稼働状態 (*2)	0: 不明、未登録 1: 停止 3: ログアウト 4: ログイン	○	○
エラー有無 (*2)	0: なし 1: あり	○	○
適用状態 (*2)	0: 更新なし 1: 更新済み 2: 更新待ち 3: エラー 4: 未登録	○	○
ADF 総読み取り 枚数 (*2)	数字	○	○
フラットベッドス キャナ総読み取り 枚数 (*2) (*3)	数字	○	○
パッドユニット (*2)	数字	○	○ (*5)

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
パッドユニット状態 (*2)	0: 許容内 1: 交換時期間近 2: 交換時期を超えた	○	○ (*5)
パッドユニット閾値 (*2)	数字	○	○ (*5)
パッドユニット: 前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
ピックローユニット (*2)	数字	○	○
ピックローユニット状態 (*2)	0: 許容内 1: 交換時期間近 2: 交換時期を超えた	○	○
ピックローユニット閾値 (*2)	数字	○	○
ピックローユニット: 前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
ブレーキローラ (*2)	数字	○	○ (*5)
ブレーキローラ状態 (*2)	0: 許容内 1: 交換時期間近 2: 交換時期を超えた	○	○ (*5)
ブレーキローラ閾値 (*2)	数字	○	○ (*5)

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
ブレーキローラ: 前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
セパレーターローラ (*2)	数字	○	-
セパレーターローラ状態 (*2)	0: 許容内 1: 交換時期間近 2: 交換時期を超えた	○	-
セパレーターローラ閾値 (*2)	数字	○	-
セパレーターローラ: 前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
プリントカートリッジ残量 (*2)	数字	○	-
プリントカートリッジ状態 (*2)	0: 許容内 1: 交換時期間近 2: 交換時期を超えた	○	-
プリントカートリッジ前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
清掃後の読み取り枚数	数字	○	-
清掃後の読み取り枚数状態	0: 不要 1: 必要	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
清掃後の読み取り 枚数閾値	数字	○	-
フィードローラ清 掃	0：不要 1：必要	○	-
アシストローラ清 掃	0：不要 1：必要	○	-
ガラス清掃	0：不要 1：必要	○	-
原稿詰まり、マル チフィード：一日 の発生回数	数字	○	○ (*5)
原稿詰まり、マル チフィード：一日 の発生回数状態	0：許容内 1：しきい値を超 えた	○	○ (*5)
原稿詰まり、マル チフィード：一日 の発生回数閾値	数字	○	○ (*5)
原稿詰まり、マル チフィード：読み 取り枚数内の発生 回数	数字	○	○ (*5)
原稿詰まり、マル チフィード：読み 取り枚数内の発生 回数状態	0：許容内 1：しきい値を超 えた	○	○ (*5)
原稿詰まり、マル チフィード：読み 取り枚数内の発生 回数閾値	数字	○	○ (*5)

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
フラットベッドス キャナファーム版 数 (*2) (*3)	-	-	○
システム版数 (*2)	-	-	○
セキュリティアッ プデート版数 (*2)	Syy-nn	-	○
オプション機能 (*2)	カンマ区切り	-	○
システムアップ デート適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	○
システムアップ デート適用状態 (*2)	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	-	○
Add-in 版数 (*2)	-	-	○
Add-in インス トール適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	○
Add-in 設定情報 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	○

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
Add-in 適用状態 (*2)	0: 更新なし 1: 更新済み 2: 更新待ち 3: エラー 4: 未登録	-	○
システム環境設定 (*2)	-	-	○
システム環境設定 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	○
システム環境設定 適用状態 (*2)	0: 更新なし 1: 更新済み 2: 更新待ち 3: エラー 4: 未登録	-	○
TWAIN ドライ バ: 版数 (*2)	-	○	-
TWAIN ドライ バ: 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
TWAIN ドライ バ: 適用状態 (*2)	0: 更新なし 1: 更新済み 2: 更新待ち 3: エラー 4: 未登録	○	-
ISIS ドライバ: 版数 (*2)	-	○	-
ISIS ドライバ: 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
ISIS ドライバ: 適用状態 (*2)	0: 更新なし 1: 更新済み 2: 更新待ち 3: エラー 4: 未登録	○	-
Software VRS: 版数 (*2)	-	○	-
Software VRS: 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
Software VRS: 適用状態 (*2)	0: 更新なし 1: 更新済み 2: 更新待ち 3: エラー 4: 未登録	○	-
Hardware VRS: 版数 (*2)	-	○	-
Hardware VRS: 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
Hardware VRS: 適用状態 (*2)	0: 更新なし 1: 更新済み 2: 更新待ち 3: エラー 4: 未登録	○	-
Scanner Control Runtime: 版数 (*2)	-	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
Scanner Control Runtime : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
Scanner Control Runtime : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
ScandAll PRO : 版数 (*2)	-	○	-
ScandAll PRO : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
ScandAll PRO : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
Scan to Microsoft SharePoint : 版数 (*2)	-	○	-
Scan to Microsoft SharePoint : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
Scan to Microsoft SharePoint : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
Error Recovery Guide : 版数 (*2)	-	○	-
Error Recovery Guide : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
Error Recovery Guide : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
マニュアル : 版数 (*2)	-	○	-
マニュアル : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
マニュアル : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
Scanner Central Admin Agent : 版数 (*2)	-	○	-
Scanner Central Admin Agent : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
Scanner Central Admin Agent : 適 用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
ファームウェア : 版数 (*2)	-	○	○
ファームウェア : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
ファームウェア : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
ファームウェア (インプリンタ) : 版数 (*2)	-	○	-
ファームウェア (インプリンタ) : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
ファームウェア (インプリンタ) : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
ユーザーアプリ ケーション : 版数 (*2)	-	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
ユーザーアプリ ケーション : 適用 日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
ユーザーアプリ ケーション : 適用 状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
Software Operation Panel 設定情報 : 版数 (*2)	-	○	-
Software Operation Panel 設定情報 : 適用日 時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
Software Operation Panel 設定情報 : 適用状 態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
ScandAll PRO 設 定情報 : 版数 (*2)	-	○	-
ScandAll PRO 設 定情報 : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
ScandAll PRO 設定情報：適用状態 (*2)	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報：版数 (*2)	-	○	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報：適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報：適用状態 (*2)	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-
PaperStream IP (TWAIN)：版数 (*2)	-	○	-
PaperStream IP (TWAIN)：適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
PaperStream IP (TWAIN)：適用状態 (*2)	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
PaperStream IP (ISIS)：版数 (*2)	-	○	-
PaperStream IP (ISIS)：適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
PaperStream IP (ISIS)：適用状態 (*2)	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-
ScanSnap Manager for fi Series：版数 (*2)	-	○	-
ScanSnap Manager for fi Series：適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
ScanSnap Manager for fi Series：適用状態 (*2)	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-
PaperStream Capture：版数 (*2)	-	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
PaperStream Capture : 適用日 時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
PaperStream Capture : 適用状 態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
2D Barcode for PaperStream : 版 数 (*2)	-	○	-
2D Barcode for PaperStream : 適 用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
2D Barcode for PaperStream : 適 用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
PaperStream IP (TWAIN) 設定情 報 : 版数 (*2)	-	○	-
PaperStream IP (TWAIN) 設定情 報 : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-

項目名	値の形式	イメージ スキャナ	ネット ワーク スキャナ
PaperStream IP (TWAIN) 設定情 報 : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
PaperStream IP (ISIS) 設定情 報 : 版数 (*2)	-	○	-
PaperStream IP (ISIS) 設定情 報 : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
PaperStream IP (ISIS) 設定情 報 : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-
PaperStream Capture 設定情 報 : 版数 (*2)	-	○	-
PaperStream Capture 設定情 報 : 適用日時 (*2)	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-
PaperStream Capture 設定情 報 : 適用状態 (*2)	0 : 更新なし 1 : 更新済み 2 : 更新待ち 3 : エラー 4 : 未登録	○	-

「イメージスキャナ」の列の記号の意味は、次のとおりです。

○：イメージスキャナの情報です。

-：イメージスキャナでは対象外の情報です。

「ネットワークスキャナ」の列の記号の意味は、次のとおりです。

○：ネットワークスキャナの情報です。

-：ネットワークスキャナでは対象外の情報です。

*1：「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「ユーザー管理項目の編集」で、「ユーザー管理項目」として追加した項目が、最大 10 件まで出力されます。

*2：「スキャナ情報をすべて出力する。」チェックボックスをチェックした場合に出力されます。

*3：ネットワークスキャナではフラットベッドオプションが有効な場合に出力されます。

*4：機種によっては通知されない場合があります。

*5：N7100 の場合に通知されます。

■スキャナ構成情報ファイルの形式（インポートする場合）

インポートする場合のスキャナ構成情報ファイルの形式について説明します。

- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の設定値に従ってください。初期値はシフト JIS（Shift_JIS）です。
- ユーザー管理項目を追加する場合、1 行目のタイトル行には、ほかと重複しない項目名を「実機種名」のあとに追加してください。ユーザー管理項目は、最大 10 件まで追加できます。
- CSV 形式で記述してください。
各項目の内容は、次のとおりです。

項目名	値の形式	備考
管理 ID	10 文字または 26 文字の文字列	省略可
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX (X は英数字)	
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値)	
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値)	
名前	15 文字までの文字列 半角英数字またはハイフン	省略不可

項目名	値の形式	備考
ポート番号	1 ~ 65535 までの数字	省略可
HTTPS 使用有無	0 : HTTPS 使用しない (省略時) 1 : HTTPS 使用する	
機種名	64 文字までの任意の文字列	
Add-in グループ	32 文字までの任意の文字列 (*1)	
アップデートグループ	32 文字までの任意の文字列 (*1)	
設定グループ	32 文字までの任意の文字列 (*1)	
説明	256 文字までの任意の文字列	省略不可
スキャナ種別	0 : ネットワークスキャナ 1 : イメージスキャナ	
実機種名	15 文字までの文字列 半角英数字またはハイフン	
ユーザー管理項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 項目名は 45 文字までの任意の文字列 ● 項目名の値は 256 文字までの任意の文字列 	省略可

*1 : 「(デフォルト)」、「(すべて)」、「_default_」、「_all_」は使用できません。「_」は半角アンダーバー 2 個を示しています。

イベントログファイルの形式

エクスポートする場合のイベントログファイルの形式について説明します。

- ファイル名の初期値は「execlog.csv」です。
- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定 (共通設定)」画面の設定値に従います。初期値はシフト JIS (Shift_JIS) です。
- CSV 形式です。

各項目の内容は、次のとおりです。

項目名	値の形式
発生日時	YYYYMMDD hh:mm:ss
発生元	-
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値)
機種名	-
シリアル番号	-
種別	I : 情報 W : 警告 E : エラー
イベント ID	-
メッセージ	-

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

統計情報ファイルの形式

エクスポートする場合の統計情報ファイルの形式について説明します。

- ファイル名の初期値は「statistics.csv」です。
- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の設定値に従います。初期値はシフト JIS（Shift_JIS）です。
- ファイルの 1 行目には、集計期間が出力されます。ファイルの 2 行目には、タイトル行が出力されます。ファイルの 3 行目以降には、統計情報が出力されます。ファイルの出力例は、次のとおりです。

1 行目	# 集計期間 YYYYMMDD - YYYYMMDD
2 行目	名前, 機種名, シリアル番号, グループ名, 合計 (枚), ADF(枚), フラットベッド (枚), 説明, 状態
3 行目	xxx,fi-xxxxxx,xxx,xxxxxx(xx),305,300,5,xxx, 未確定
:	:

- CSV 形式です。
各項目の内容は、次のとおりです。

項目名	値の形式
名前	-
機種名	-
シリアル番号	-
グループ名	-
合計 (枚)	数字
ADF(枚)	数字
フラットベッド (枚)	数字
説明	任意の文字列

項目名	値の形式
状態	管理中 管理外 未確定

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

付 .3 異なる Scanner Central Admin Server への移行手順

- 1 移行前・移行後の Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピュータをネットワークから切断します。
- 2 移行前の Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピュータで、Scanner Central Admin Server に関する情報を退避します。
Scanner Central Admin Server に関する情報の退避方法については、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の退避](#)」(P.132) を参照してください。
- 3 移行後の Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピュータで、Scanner Central Admin Server に関する情報を復元します。
Scanner Central Admin Server に関する情報の復元方法については、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の復元](#)」(P.133) を参照してください。
- 4 移行前・移行後の Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピュータをネットワークに接続します。
- 5 移行後の Scanner Central Admin Server に接続するよう設定された Scanner Central Admin Agent がインストールされているコンピュータで、Scanner Central Admin Agent 設定情報を移出します。
Scanner Central Admin Agent 設定情報の移出方法については、「[スキヤナ設定情報のアップデートモジュールの作成](#)」(P.64) を参照してください。
- 6 Scanner Central Admin Agent がインストールされている動作確認用のコンピュータと移行前の Scanner Central Admin Server で、手順 5 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートモジュールの適用に問題ないことを確認します。
手順 5 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、移行前の Scanner Central Admin Server に登録し、Scanner Central Admin Agent がインストールされている動作確認用のコンピュータで Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートモジュールの適用に問題ないことを確認してください。
- 7 手順 5 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、移行前の Scanner Central Admin Server に登録します。
- 8 Scanner Central Admin Agent がインストールされているすべてのコンピュータに、Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートモジュールを適用します。

重要

Scanner Central Admin Server 移行時は、Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートと他アップデートとの同時公開は行わないでください。

- 9 ネットワークスキヤナが接続されている場合は、すべてのネットワークスキヤナに対して、スキヤナを自動探索して登録します。
スキヤナの自動探索 / 登録方法については、「[ネットワークスキヤナの自動探索 / 登録](#)」(P.101) を参照してください。

付 .4 退避・復元

Scanner Central Admin に関する情報の退避・復元

旧バージョンから新バージョンの Central Admin Server へ、または新バージョンから旧バージョンの Central Admin Server へ、Scanner Central Admin に関する情報を退避・復元できるかどうかを示します。

Central Admin Server のバージョンは、Central Admin Console のログイン画面で確認できます。

なお、Central Admin Console のログイン画面では、Central Admin Server のバージョンは「例：Ver. 04.02.02」のように表示されますが、次の表では「0」を省略して「例：4.2.x」のように記載しています。

退避する Central Admin Server のバージョン	復元する Central Admin Server のバージョン	退避・復元の可否
4.6.x	4.6.x 以降	○
	4.5.x 以前	-
4.5.x	4.5.x 以降	○
	4.4.x 以前	-
4.4.x	4.4.x 以降	○
	4.3.x 以前	-
4.3.x	4.3.x 以降	○
	4.2.x 以前	-

退避する Central Admin Server のバージョン	復元する Central Admin Server のバージョン	退避・復元の可否
4.2.x	4.2.x 以降	○
	4.1.x 以前	-
4.1.x	4.1.x 以降	○
	4.0.x 以前	-
4.0.x	4.1.x 以降	○ (*1)
	4.0.x	○
	3.0.x 以前	-
3.0.x	4.0.x 以降	○ (*1)
	3.0.x	○
	2.x.x 以前	-
2.x.x 以前	3.0.x 以降	○ (*1) (*2)
	2.x.x 以前	○

○：退避・復元できます。

-：退避・復元できません。

*1：退避時には、復元する Scanner Central Admin Server のバージョンの「AmBackup.exe」を使用する必要があります。

*2：旧バージョンのイベントログを新バージョンの「イベント詳細」画面で表示した場合、IP アドレス情報は表示されません。

Central Admin Server が出力するイベントソース名

Central Admin Server が出力するイベントログのイベントソース名は、以下のとおりです。

Central Admin Server のバージョン	イベントソース名
3.0.x 以降	Scanner Central Admin Server
2.x.x 以前	iScanner Central Admin

付 .5 ネットワークスキャナとイメージスキャナの機能比較

ネットワークスキャナとイメージスキャナとの機能比較について説明します。

機能		スキャナ種別		備考
分類	詳細	ネット ワーク スキャナ	イメージ スキャナ	
スキャナ アップ デート	ソフトウェア アップデート	○	○	【イメージスキャナ の場合】 ファーム/ドライバ /アプリケーション の配付が可能 【ネットワークス キャナの場合】 システムアップデー ト/ Add-in インス トールの配付が可能
	設定情報	○	○	【イメージスキャナ の場合】 スキャナ設定/アプ リケーション設定情 報/ Scanner Central Admin 設定 情報が配信可能 【ネットワークス キャナの場合】 システム環境設定/ 共通ジョブ設定が配 信可能
	ソフトウェア アップデート 時間帯制限	○	○	特になし

機能		スキャナ種別		備考
分類	詳細	ネット ワーク スキャナ	イメージ スキャナ	
スキャナ アップ デート	配付通知	○	-	【イメージスキャナ の場合】 Scanner Central Admin Agent の設定 で、定期的にアップ デートの有無を確認 可能
スキャナ 監視	スキャナ異常の 監視	○	○	特になし
	スキャナ稼働状 況の監視	○	○	
	消耗品の監視	○	○	
	異常通知メール の設定	○	○	
	メンテナンス情 報	○ (*2)	○ (*1)	

機能		スキャナ種別		備考
分類	詳細	ネットワーク ワーク スキャナ	イメージ スキャナ	
スキャナ 管理	スキャナ構成情報 の追加 / 編集 / 削除	○	○	特になし
	CSV 形式のエク スポート / イン ポート	○	○	
	Admin Tool での スキャナのリ モート操作	○	-	
	ネットワークス キャナ自動探索 ／登録	○	×	
統計情報	統計情報一覧	○	○	
イベント ログ	イベント一覧	○	○	
監査ログ 収集	システムログ・ ユーザーログの 収集	○	×	
共有ユー ザー情報	ユーザー情報を スキャナ間で共 有	○	-	

○ : サポート

× : 未サポート

- : 該当機能なし

*1 : 機種によっては通知されない項目があります。

*2 : N7100 のみサポートしています。

付 .6 Scanner Central Admin のバージョンアップ

Scanner Central Admin のバージョンアップ手順

- 1 Scanner Central Admin Serverがインストールされているコンピュータをネットワークから切断します。
 - 2 Scanner Central Admin Server に関する情報を退避します。
Scanner Central Admin Server に関する情報の退避方法については、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の退避](#)」(P.132) を参照してください。
- ヒント**
退避した Scanner Central Admin Server に関する情報は、バージョンアップ作業中に異常が発生した場合だけ使用します。バージョンアップ作業中に異常が発生した場合は、Scanner Central Admin Server に関する情報を復元してください。Scanner Central Admin Server に関する情報の復元方法については、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の復元](#)」(P.133) を参照してください。
- 3 Scanner Central Admin Server をアップデートします。
 - 4 Scanner Central Admin Serverがインストールされているコンピュータをネットワークに接続します。

- 5 Scanner Central Admin Console をアンインストールします。
Scanner Central Admin Console のアンインストール方法については、「[付 .7 アプリケーションのアンインストール](#)」(P.166) を参照してください。
- 6 最新の Scanner Central Admin Console をインストールします。
Scanner Central Admin Consoleのインストール方法については、「[2.3 Scanner Central Admin Console のインストール](#)」(P.34) を参照してください。

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

Scanner Central Admin Server のバージョンアップに伴うデータ移行手順

Scanner Central Admin Server のバージョンアップに伴い、新しく別のサーバを Scanner Central Admin Server として運用する場合に、旧バージョンの Scanner Central Admin Server のデータを、新バージョンの Scanner Central Admin Server に移行します。

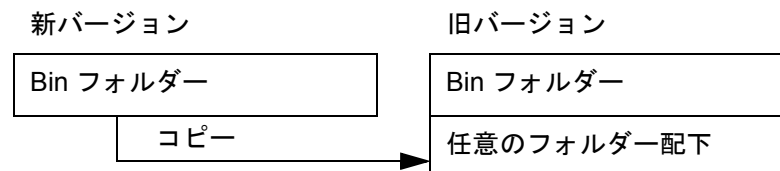
データの移行は、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピュータのコマンドプロンプトで「AmBackup.exe」および「AmRestore.exe」を実行して行います。

ヒント

- 同一の Scanner Central Admin Server をバージョンアップする場合、アップグレードインストールできるため、データの移行は不要です。
- 監査ログは移行されないため、事前に取り出してください。

1 旧バージョンの Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピュータに .NET Framework 4 以降がインストールされていない場合は、マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

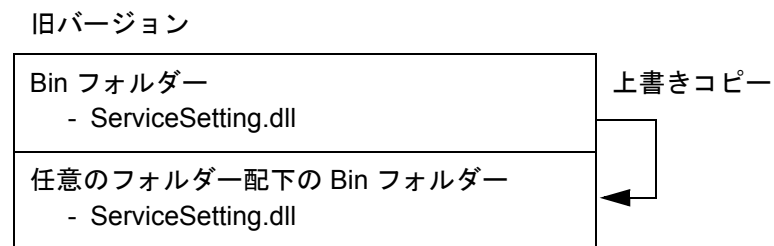
2 新バージョンの Scanner Central Admin Server の以下の Bin フォルダを、旧バージョンの Scanner Central Admin Server の任意のフォルダ配下にコピーします。Bin フォルダに上書きコピーしないでください。



- Bin フォルダの格納先

新バージョンの Scanner Central Admin Server のインストールフォルダ ¥AmManager フォルダ配下

3 旧バージョンの Scanner Central Admin Server で、Bin フォルダの「ServiceSetting.dll」を、任意のフォルダ配下にコピーした Bin フォルダに上書きコピーします。



- 「ServiceSetting.dll」の格納場所

旧バージョンの Scanner Central Admin Server のインストールフォルダ ¥AmManager¥Bin フォルダ配下

4 旧バージョンの Scanner Central Admin Server で、任意のフォルダー配下にコピーした Bin フォルダーの「AmBackup.exe」を実行します。

⇒ 旧バージョンの Scanner Central Admin Server のデータが退避されます。

- 「AmBackup.exe」の格納先

旧バージョンの Scanner Central Admin Server の任意のフォルダー ¥Bin フォルダー配下

「AmBackup.exe」については、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の退避](#)」(P.132)を参照してください。

重要

旧バージョンの Scanner Central Admin Server のインストールフォルダーの Bin フォルダーの「AmBackup.exe」を実行して退避したバックアップデータを、新バージョンの Scanner Central Admin Server に復元することはできません。
必ず、新バージョンからコピーしてきた「AmBackup.exe」を実行して退避を行ってください。

5 新バージョンの Scanner Central Admin Server で、「AmRestore.exe」を実行します。

⇒ 手順4で退避したバックアップデータが、新バージョンの Scanner Central Admin Server で復元されます。

- 「AmRestore.exe」の格納先

新バージョンの Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー ¥AmManager¥Bin フォルダー配下

「AmRestore.exe」については、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の復元](#)」(P.133)を参照してください。

付 .7 アプリケーションのアンインストール

Scanner Central Admin Server をアンインストールする場合の注意事項

- アンインストールする前に、Scanner Central Admin Server をネットワークから切り離してください。Scanner Central Admin Server をネットワークに接続したままアンインストール処理を完了した場合、起動している Scanner Central Admin Server の動作は保証できません。
- Scanner Central Admin Server をアンインストールすると、インストールフォルダ配下のファイルはすべて削除されます。必要に応じて、Scanner Central Admin Server に関する情報を退避してください。詳細は、「[Scanner Central Admin Server に関する情報の退避](#)」(P.132) を参照してください。
- アンインストール時に次のメッセージで、[再試行] ボタンを押しても同様のメッセージが表示される場合があります。

ファイル 'ASPNETDB.MDF' は他のアプリケーションで使用されています。開いているアプリケーションをすべて閉じてから、「再試行」をクリックしてください。

同様のメッセージが表示される場合は、再起動後にもう一度アンインストールを行ってください。

Scanner Central Admin Console をアンインストールする場合の注意事項

アンインストールする前に、Scanner Central Admin Console を終了してください。

Scanner Central Admin Console を起動したままアンインストール処理を完了した場合、起動している Scanner Central Admin Console の動作は保証できません。

アプリケーションのアンインストール手順

1 コンピュータを起動します。

重要

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでコンピュータにログインしてください。

2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。

- #### 3 「スタート」メニュー → 「コントロール パネル」 → 「プログラムのアンインストール」を選択します。
- ⇒ 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。

4 削除するソフトウェアを選択します。

- Scanner Central Admin Server を削除する場合
「Scanner Central Admin Server」を選択してください。
- Scanner Central Admin Console を削除する場合
「Scanner Central Admin Console」を選択してください。
- Scanner Central Admin Agent を削除する場合
「Scanner Central Admin Agent」を選択してください。

5 [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタンを押します。

- 6** アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタンまたは [はい] ボタンを押します。
⇒ アンインストールが実行されます。

ヒント

ユーザーアカウント制御の設定によっては、アンインストール時に「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」というメッセージ画面が表示される場合があります。この場合は、「許可」を選択してアンインストールを続行してください。

重要

- お使いのオペレーティングシステムによっては、画面表示が異なる場合があります。各オペレーティングシステムの表示に従ってください。
例：Windows XP の場合
 - 「プログラムのアンインストール」 → 「プログラムの追加と削除」
 - [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタン → [変更と削除] ボタン
- Scanner Central Admin Server をアンインストールする前に、次のプログラムをアンインストールした場合、次のプログラムがインストールされることがあります。
 - Microsoft SQL Server Native Client
 - Microsoft SQL Server Setup Support Files (English)このような場合は、上記プログラムをアンインストールしてください。
- Microsoft Office SharePoint Server 連携を行っている場合、インストールした Scan to Microsoft SharePoint は、アンインストールされません。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

付 .8 任意のファイルのアップデート手順 イメージ スキャナ

ここでは、「ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成」(P.63)の作成例として、任意のファイルを所定のフォルダーにコピーするアップデートモジュールを作成して適用する手順について説明します。

- 1 任意のファイル「sample.ini」と所定のフォルダーにコピーするためのバッチファイル「sample.bat」を作成し、同一フォルダー配下「C¥:sample」に格納します。
バッチファイル「sample.bat」の例は、次のとおりです。

```
set dstPath=C:¥work (*1)
if not exist %dstPath% mkdir %dstPath%
if errorlevel 1 goto error
copy /y sample.ini %dstPath% (*2)
if errorlevel 1 goto error
exit 0 (*3)
:error
exit 1 (*4)
```

*1: スキャナを接続しているコンピュータ内の所定のフォルダー

*2: 任意のファイルをコピー

*3: 復帰値 (0: 正常終了)

*4: 復帰値 (0 以外: 異常終了)

- 2 SCAModuleCreator で、アップデートモジュールを作成します。
「ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成」(P.63)の手順に従って操作し、「ユーザーアプリケーションの作成」画面で次の設定値を設定してアップデートモジュールを作成してください。

設定項目	設定値	説明
作成元フォルダー	C:¥sample	手順 1 で準備したファイル (任意のファイル「sample.ini」と所定のフォルダーにコピーするためのバッチファイル「sample.bat」) を格納してあるフォルダーを指定します。
格納先フォルダー	任意	アップデートモジュールの格納フォルダーを指定します。
版数 / 識別名	CopySamlpe_V01L01	アップデートモジュールを識別するための名前を指定します。
インストーラ起動パス	sample.bat	手順 1 で準備した所定のフォルダーにコピーするためのバッチファイルを指定します。

- 3 Scanner Central Admin Console で、アップデートモジュールを登録します。
アップデートモジュールの登録方法については、「[アップデートモジュールの登録](#)」(P.65)を参照してください。
- 4 アップデートモジュールを適用します。
アップデートモジュールの適用方法については、「[アップデートモジュールの適用](#)」(P.67)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central Admin の概要

Scanner Central Admin の導入

Scanner Central Admin Server を利用した運用

メール通知を利用した運用

統合管理システムと連携した運用

Scanner Central Admin の保守

付録

用語集

付 .9 Scanner Central Admin のアプリケーション構成

Scanner Central Admin 4.6 のアプリケーション構成とバージョンは、次のとおりです。

- Scanner Central Admin Server 4.6
- Scanner Central Admin Console 3.4
- Scanner Central Admin Agent 1.4

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[Scanner Central Admin の概要](#)[Scanner Central Admin の導入](#)[Scanner Central Admin Server を利用した運用](#)[メール通知を利用した運用](#)[統合管理システムと連携した運用](#)[Scanner Central Admin の保守](#)[付録](#)[用語集](#)

付 .10 Scanner Central Admin Server の接続可否

Scanner Central Admin のバージョンによって、サポート対象となるスキャナは、次のように異なります。

Scanner Central Admin Server のバージョン	イメージスキャナ	ネットワークスキャナ		
		fi-6010N	N1800	N7100
iScanner Central Admin Server 2.0	×	○	×	×
Scanner Central Admin Server 3.0	×	○	○	×
Scanner Central Admin Server 4.0 ~ 4.5	○	○	○	×
Scanner Central Admin Server 4.6 以降	○	○	○	○ (*1)

○ : サポート

× : 未サポート

*1 : 動作環境によっては、一部機能が使用できません。
詳細は、「[N7100 と連携するときのソフトウェア](#)」(P.22) を参照してください。

付 .11 SNMP トラップで通知するメッセージコード

SNMP トラップで通知するメッセージコードは、以下のとおりです。

コード	メッセージ	メッセージの内容	対処
0F090000	This is a test message from Scanner Central Admin Agent.	テスト送信のメッセージです。	対処はありません。
0F070004	Consumable part counter was cleared. Consumable part:XXXXX Counter before clearing value:XXXXX	消耗品のカウンターをクリアしました。	対処はありません。
0F080001	Scanner was changed.	スキャナが変更されました。	対処はありません。
0F080002	The scanner maintenance part needs to be cleaned.Maintenance Part:XXXXX	スキャナの保守部品の清掃時期です。	保守部品を清掃してください。 XXXXXには、清掃する保守部品名が表示されます。 清掃方法は、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照して対処してください。 それでも解消されない場合は、本製品を購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。
1F060001	Temporary scanner error was detected. [Error Details]	スキャナで一時エラーを検出しました。	次のどちらかの対処をしてください。 ● メッセージの [エラー詳細] を参照して対処する。 ● Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面の [エラー詳細] ボタンをクリックし、スキャナの Error Recovery Guide を参照して対処する。

コード	メッセージ	メッセージの内容	対処
6F070001	Scanner consumable needs to be replaced now. Consumable part:XXXXX	スキヤナの消耗品の交換時期です。	消耗品を交換してください。 XXXXXには、交換する消耗品名が表示されます。
6F070002	Scanner consumable needs to be replaced soon. Consumable part:XXXXX	スキヤナの消耗品の交換時期が近づいています。	消耗品を交換してください。 XXXXXには、交換する消耗品名が表示されます。
6F070003	Scanner consumable has passed its rated lifetime and needs to be replaced. Consumable part:XXXXX	スキヤナの消耗品の交換時期を過ぎました。	消耗品を交換してください。 XXXXXには、交換する消耗品名が表示されます。
7F060001	Scanner error was detected. [Error Details]	スキヤナでエラーを検出しました。	次のどちらかの対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ● メッセージの「エラー詳細」を参照して対処する。 ● Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面の「エラー詳細」ボタンをクリックし、スキヤナの Error Recovery Guide を参照して対処する。 それでも解消されない場合は、本製品を購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキヤナのオペレーターガイドを参照してください。

コード	メッセージ	メッセージの内容	対処
8F060001	Scanner parts replacement notification was detected. [Error Details]	スキャナで部品交換が必要なエラーを検出しました。	次のどちらかの対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ● メッセージの [エラー詳細] を参照して対処する。 ● Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面の [エラー詳細] ボタンをクリックし、スキャナの Error Recovery Guide を参照して対処する。 それでも解消されない場合は、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナのオペレーターガイドを参照してください。

用語集

あ行

インプリンタ
エミュレーション
オペレーターパネル

さ行

セパレーターローラ

た行

デフォルト設定
統合管理システム
ドライバ

は行

パッドユニット
ピックアップユニット
フラットベッド
ブレーキローラ

英数字

ADF（自動給紙機構）
ISIS
SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
SNMP（Simple Network Management Protocol）
SNMP トラップ
SNMP マネージャー
TWAIN

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要

Scanner Central
Admin の導入

Scanner Central Admin
Server を利用した運用

メール通知を
利用した運用

統合管理システム
と連携した運用

Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

あ行

インプリンタ

読み取った原稿の表面または裏面に、アルファベットや数字などの文字列を印刷するプリンターです。読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理する場合に使用します。

エミュレーション

ファームウェアの設定を変更して、別機種のスキャナとして使用することです。

オペレーターパネル

表示部およびボタンから構成されるパネルです。機能の設定および変更など、スキャナの操作に使用します。

さ行

セパレーターローラ

ホッパーの原稿から 1 ページだけ分離させ、ADF 内に繰り込むローラーです。

た行

デフォルト設定

(ハードウェアの場合)

工場出荷時に設定されている各種設定値です。

(ソフトウェアの場合)

インストール直後に設定されている各種設定値です。

統合管理システム

企業のようなシステム運用を総合的に管理するシステムです。

ドライバ

コンピュータに接続されたハードウェアを、オペレーティングシステム上で制御するためのプログラムです。

[はじめに](#)[Scanner Central Admin の概要](#)[Scanner Central Admin の導入](#)[Scanner Central Admin Server を利用した運用](#)[メール通知を利用した運用](#)[統合管理システムと連携した運用](#)[Scanner Central Admin の保守](#)[付録](#)[用語集](#)

は行

パッドユニット

ADF 内部に搬送する前に、原稿同士を分離する部品です。ピックアップユニットに原稿を押し当てる部分はゴム製部材となっています。

ピックアップユニット

ADF 給紙シュートの原稿から 1 ページだけ分離させ、ADF 内に繰り込むローラーです。

フラットベッド

スキャナの入力装置です。
原稿を、1 枚ずつ原稿台（ガラス板）の上にのせて読み取ります。
本や冊子など、ADF で読み取りできないような原稿も読み取りできます。

ブレーキローラ

ADF 内へ複数枚の原稿を繰り込むことを防止するローラーです。

英数字

ADF（自動給紙機構）

ADF（=Automatic Document Feeder）
複数枚の原稿を、自動的に 1 枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

ISIS

1990 年に米国 Pixel Translations（現：Captiva, a division of EMC Corporation）がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。ISIS 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）

メールを送信するためのプロトコルです。

SNMP（Simple Network Management Protocol）

ネットワーク監視、ネットワーク管理を行うためのプロトコルです。

はじめに

Scanner Central
Admin の概要Scanner Central
Admin の導入Scanner Central Admin
Server を利用した運用メール通知を
利用した運用統合管理システム
と連携した運用Scanner Central
Admin の保守

付録

用語集

SNMP トラップ

端末から SNMP マネージャーに通知する状況通知用のレポートです。

SNMP マネージャー

端末から通知された SNMP トラップをわかりやすく表示するアプリケーションです。

TWAIN

Technology Without Any Interesting Name の略です。TWAIN Working Group がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。TWAIN 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

索引

A

Add-in のインストール	71
AmBackup.exe	132
AmExportLog.....	82
AmInvestigate.exe.....	134
AmRestore.exe.....	133

C

CollectAgentInfo.exe	135
----------------------------	-----

E

Error Recovery Guide のインストール.....	47
-----------------------------------	----

S

SCAModuleCreatorCollectLog.exe.....	137
SCAModuleCreator の保守情報の採取.....	137
Scanner Central Admin Agent のアップデート	135
Scanner Central Admin Agent の設定 （Scanner Central Admin Server の設定）.....	53
Scanner Central Admin Agent の設定 （SNMP トラップ通知の設定）.....	125
Scanner Central Admin Agent の設定 （メール送信の設定）.....	112
Scanner Central Admin Agent の保守	135
Scanner Central Admin Console からのログイン	48
Scanner Central Admin Server の設定	53
Scanner Central Admin Server の動作環境の設定	51
Scanner Central Admin Server のバージョンアップに 伴うデータ移行手順.....	164
Scanner Central Admin Server の保守	132

Scanner Central Admin Server を利用した運用.....	19, 40
Scanner Central Admin の主な機能	16
Scanner Central Admin の概要	14
Scanner Central Admin のシステム構成	18
Scanner Central Admin の導入	29
Scanner Central Admin の特長	15
Scanner Central Admin のバージョンアップ.....	163
Scanner Central Admin のバージョンアップ手順.....	163
Scanner Central Admin の保守	131
ScannerCentralAdminConsole.exe	123
Setup.exe	39
SMTP サーバの確認.....	111
SNMP トラップ通知の設定.....	125
SNMP マネージャーの確認.....	123
SNMP マネージャーの設定.....	123

あ

アップデート（Scanner Central Admin Agent）.....	135
アップデート（イメージスキャナ）.....	57, 59
アップデート（ネットワークスキャナ）.....	69
アップデート可能な種別（イメージスキャナ）.....	59
アップデート可能な種別（ネットワークスキャナ）.....	69
アップデートモジュールの作成.....	60
アップデートモジュールの適用.....	67
アップデートモジュールの登録.....	65
アンインストール手順	166

い

イベント一覧のエクスポート.....	81
イベント一覧の参照.....	80

イベントログファイルの形式.....	156	し	システム環境設定の更新.....	74
イメージスキャナのアップデート.....	57, 59		システム構成.....	18
インストール (Scanner Central Admin Agent).....	36		システムのアップデート.....	69
インストール (Scanner Central Admin Console).....	34		自動探索.....	101
インストール (Scanner Central Admin Server).....	31		集中管理可能なスキャナ台数.....	26
			証明書のインポート (HTTPS の場合).....	44
う		す		
運用形態.....	19	スキャナ一覧に表示する項目の編集.....	103	
運用形態ごとに必要なアプリケーション.....	30	スキャナ構成情報.....	84	
運用パターン例.....	106	スキャナ構成情報のインポート.....	100	
		スキャナ構成情報のエクスポート.....	100	
か		スキャナ構成情報の削除.....	98	
概要.....	14	スキャナ構成情報の追加.....	97	
監査ログの収集.....	82	スキャナ構成情報の編集.....	98	
監査ログの取り出し.....	82	スキャナ構成情報ファイルの形式 (インポートする場合).....	155	
監査ログのファイル形式.....	83	スキャナ構成情報ファイルの形式 (エクスポートする場合).....	146	
		スキャナ詳細情報の確認.....	104	
き		スキャナの各種状態の監視.....	78	
機能.....	16	スキャナの稼働状況の監視.....	78	
共有ジョブの設定.....	76	スキャナの監視.....	78	
		スキャナの管理.....	84	
く		スキャナの登録.....	56	
グループの編集.....	99	すべてのイベントを削除.....	81	
		た		
こ		退避・復元.....	159	
異なる Scanner Central Admin Server への移行手順...	158	退避 (Scanner Central Admin Server に関する情報)	132	
		て		
さ		適用状況の確認 (イメージスキャナ).....	68	
作業の流れ (Scanner Central Admin Server を 利用した運用).....	41			
作業の流れ (統合管理システムと連携した運用).....	122			
作業の流れ (メール通知を利用した運用).....	110			

適用状況の確認（ネットワークスキャナ）.....	77	保守.....	131
と		保守（Scanner Central Admin Agent）.....	135
統計情報のエクスポート.....	80	保守（Scanner Central Admin Server）.....	132
統計情報の参照.....	79	保守（ネットワークスキャナ）.....	138
統計情報ファイルの形式.....	157	保守情報の採取（SCAModuleCreator）.....	137
統合管理システムと連携した運用.....	20, 121	保守情報の採取（Scanner Central Admin Agent）.....	135
統合管理システムの確認.....	123	保守情報の採取（Scanner Central Admin Server）.....	134
統合管理システムの設定.....	123	本書の使い方.....	2
動作環境.....	21	本書をお読みにする前に.....	5
動作環境（SCAModuleCreator）.....	22	め	
動作環境（Scanner Central Admin Agent）.....	24	メール送信の設定.....	112
動作環境（Scanner Central Admin Console）.....	22	メール通知を利用した運用.....	20, 109
動作環境（Scanner Central Admin Server）.....	21	メッセージ一覧.....	140
導入.....	29		
特長.....	15		
ね			
ネットワーク条件.....	26		
ネットワークスキャナとイメージスキャナの機能比較.....	161		
ネットワークスキャナのアップデート.....	69		
ネットワークスキャナの保守.....	138		
は			
はじめに.....	3		
ふ			
ファイアウォールの設定.....	45		
復元（Scanner Central Admin Serverに関する情報）.....	133		
ほ			
ポート番号一覧.....	27		

TOP

目次

索引

はじめに

Scanner Central
Admin の概要

Scanner Central
Admin の導入

Scanner Central Admin
Server を利用した運用

メール通知を
利用した運用

統合管理システム
と連携した運用

Scanner Central
Admin の保守

Scanner Central Admin 4.6 ユーザーズガイド

P2WW-2816-03Z0

発行日 2015 年 11 月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

付録

用語集